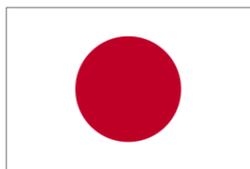




調査主体：一般社団法人 日本補聴器工業会  
後援：公益財団法人 テクノエイド協会  
協力：EHIMA 欧州補聴器工業会



# APAC Trak JapanTrak 2022 調査報告

1. はじめに
2. 市場概要
3. 補聴器所有者に関する分析
4. 補聴器非所有難聴者に関する分析
5. 付属データ





## JapanTrak（ジャパントラック）2022 の目的

一般社団法人日本補聴器工業会は公益財団法人テクノエイド協会の後援とEHIMA（欧州補聴器工業会）の協力を得て、我が国において一般の人々が聞こえの不自由さ（難聴）や補聴器についてどのように考えているか、補聴器の使用状況はどうなっているかなどについて大規模な実態調査を過去3回（2012年、2015年、2018年）の調査と同様に実施した。JapanTrak 2022の目的は、我が国における聞こえと補聴器を取り巻く現在の諸問題を抽出し、欧米諸国の一部同様なデータとの比較も行ないつつ、もって全難聴者の生活の質（QOL）の向上に寄与する対策を検討し提案することにある。





# 日本固有の調査結果 2022

- 補聴器所有率は**2018年**より若干上昇したが依然として欧米と比べると低い。
- 両耳補聴器装用率は**2018年**と同様に低い水準にあるが、両耳装用は片耳装用より満足度が高い。
- 補聴器の満足度
  - ネット購入した補聴器の満足度は最も低い満足度である（しかし購入した人数は**2018年**より上昇した）。
  - 認定補聴器技能者のフィッティングを受けた難聴者の満足度は、非技能者のフィッティングを受けた難聴者よりはるかに高い満足度であった。
- 補聴器の満足度は**2018年**より上昇している。
- **2018年**と比べると
  - 通信販売補聴器より対面販売による補聴器の満足度が高い。
  - 特に認定補聴器技能者のフィッティングを受けた補聴器の満足度が高い。満足度が高い理由は音質と言葉の聞き取りが大きく改善されているから。

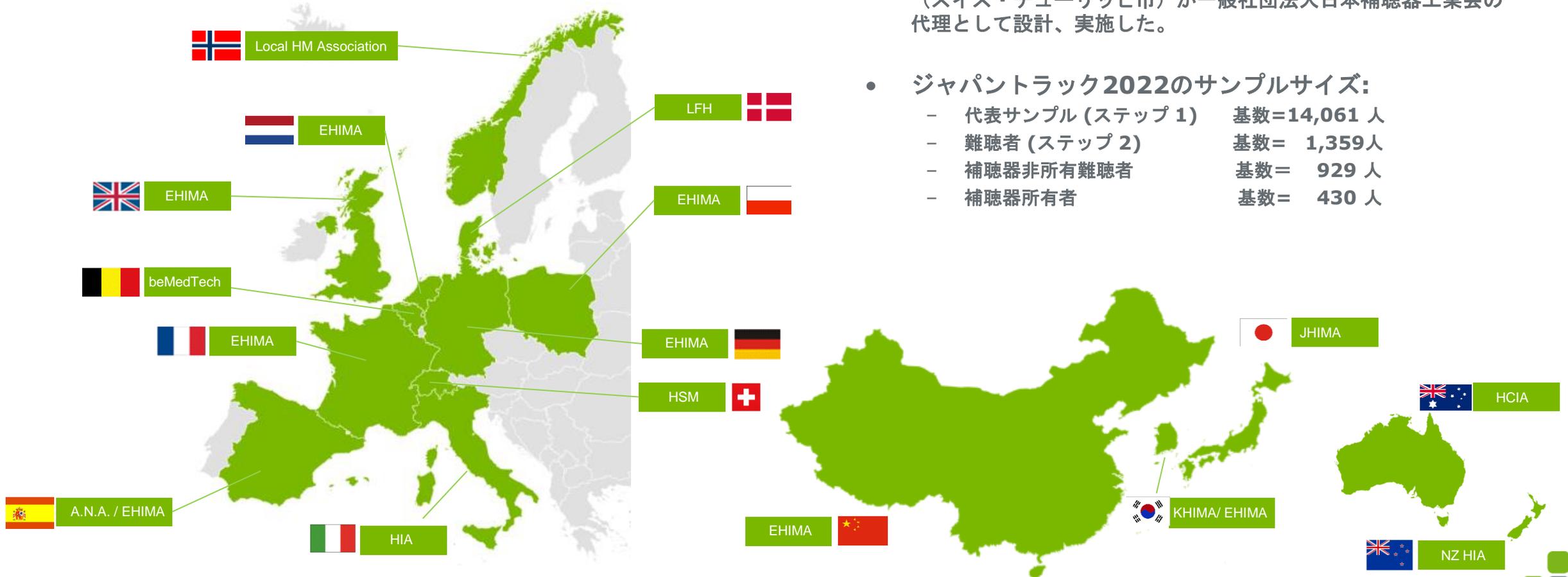
→ 認定補聴器技能者は補聴器のフィッティングに優れており、補聴器のパフォーマンスに影響を与えている。



# 【要約】

## 1. はじめに

JapanTrak2022はEuroTrak / APACTrak の一員である



- ジャパントラック 2022 (JapanTrak 2022) はアノバム社 (スイス・チューリッヒ市) が一般社団法人日本補聴器工業会の代理として設計、実施した。
- ジャパントラック2022のサンプルサイズ:
  - 代表サンプル (ステップ 1)    基数=14,061 人
  - 難聴者 (ステップ 2)            基数= 1,359人
  - 補聴器非所有難聴者            基数= 929 人
  - 補聴器所有者                    基数= 430 人



## 2. 市場概要

- 自己申告による難聴者率
  - 全体：10.0%、18歳以上：11.6% (2018: 11.3%, 18歳以上: 13.2%)
  - 聴力検査：51% (2018：53%) が過去5年間に聴力検査を受けたことがあり、ほとんどの検査は耳鼻科医あるいは、かかりつけ医師が病院内で定期健康診断の機会に実施した。
  
- 補聴器所有率（普及率）
  - 全体：15.2% (2018：14.4%)
  - 全人口の1.5% (2018：1.6%)
  - 補聴器所有者の両耳装用率：43% (2018：45%)
  
- 補聴器所有までの道のり
  - 難聴について耳鼻科医師あるいはかかりつけ医師に相談した難聴者は38%に過ぎない。
  - 耳鼻科医師あるいはかかりつけ医師から補聴器を勧められた難聴者は14%のみ（離脱割合：63% / 2018：66%）。
  - かかりつけ医師への相談で53% が特に行動する必要はないと言われた(2018:56%)。耳鼻科医への相談で63%が特に行動する必要はないと言われた(2018:67%)。
  - 95%の補聴器販売店が補聴器装用を勧めた(2018:88%)。
  
- 補聴器使用による潜在的な社会的費用の削減
  - 補聴器は仕事に良い影響をもたらすと考えられている。
  - 補聴器装用者はうつ病になるリスクが低い。
  - 難聴者が補聴器装用をすると睡眠の質が改善するようである。
  - 補聴器装用者は夕方になっても疲れることが少ない。

## 3. 補聴器所有者に関する分析

- 補聴器の所有、利用及びアクセサリーについて
  - 補聴器所有者の僅か8%しか 補聴器購入の助成を受けていない。
  - 補聴器所有されている難聴者の67% が2019年以降に購入されている。
  - 現在所有している補聴器の平均所有年数は 3.8 年である。
  - 補聴器を買い替えるまでの使用期間中央値は 4 年である。
  - 平均して1日 6.5 時間 補聴器を装用している。
  - RIC補聴器が最も多く購入されている。
  - 人工内耳：高重度難聴の32%が人工内耳の話を医師から聞いたことがある。
  - 補聴器装用者の13%が補聴器のアプリを使用しており、76%が満足している。
  - 補聴器の6%（補聴器装用者が知っている）にテレコイルが装備されている。
  
- 聴取環境の重要性と補聴器の満足度について
  - 補聴器所有者の67% が補聴器は期待通り、あるいは期待以上に役に立っていると回答した。
  - 補聴器の全体的満足度は50%（2018：38%）。
  - 1日の使用時間が長ければ長いほど補聴器の満足度は高くなる。
  - 最新の補聴器はこれまでの補聴器より満足度は高い。
  - 生活面において最も聞こえが重要と考えられている状況は、「家庭での会話」、「電話での会話」「TV鑑賞」と「談話」である。
  
- 補聴器から得られる良い影響
  - 様々な面で補聴器は大変に良い影響を与えており、特に「安心感」「会話のしやすさ」「自分自身の気持ち」において顕著である。
  - 補聴器所有者の97% が、補聴器により何がしかは生活の質（QOL）が向上していると述べている。
  - 補聴器所有者の77%が装用して以来、街中でより自信をもって行動できるようになった。

## 4. 補聴器非所有難聴者に関する分析

- 補聴器を所有/使用しない理由
  - 補聴器を持たない難聴者のうち、国の補聴器支給制度を知っている人はわずか8%。
  - 補聴器を使わない主な理由は、「わずらわしい」「難聴の程度が低い」「聴力が正常に回復しない」といったものである。
  - 補聴器を所有している人の12%は全く使用せず（0時間）、24%は1日1時間未満しか使用しない（0-1時間）。
  
- 社会からの拒絶感、購入の意向、購入のきっかけ
  - 補聴器所有者の75% が補聴器のせいで人からからかわれたり、仲間外れにされたりすることはないと考えている。補聴器非装用者の方が難聴をからかわれたり仲間外れにされたと考える人が多い。
  - 補聴器を入手する際に最も影響を与える要因は、難聴の悪化、耳鼻科医師の薦め、大事な人からの薦めである。補聴器の価格は非所有難聴者が購入を決断する際に最も関連性がある。

# 調査項目

## 1. はじめに

- ジャパントラック2022の調査関係者 並びに アンケート回答者の募集方法及び難聴者の抽出

## 2. 市場概要

- 難聴者率と補聴器所有率
- 聴力検査の有無と聴力検査を受けた場所
- 補聴器所有までの道のり：情報源と離脱する割合
  - \* 認定補聴器専門店、認定補聴器技能者、テクノエイド協会の認知度
- 補聴器使用による潜在的な社会的費用の削減：仕事上での優位性、うつ病、睡眠の質、併存疾患

## 3. 補聴器所有者の分析

- 補聴器の所有者、難聴の自覚から補聴器所有まで、補聴器の寿命（買い換え時期）及び使用状況について
- より早期に補聴器を使用すべきであったと考えた理由
- 推奨される補聴器購入場所（購入方法）⇒ 顧客推奨率（NPS：Net Promoter Score）
- 補聴器アプリ「テレコイル」の認知度
- 補聴器の満足度と影響因子
- 聞こえが重要となる状況
- 補聴器から得られる良い影響、安心・安全、生活の質（QOL）の向上

## 4. 補聴器非所有難聴者に関する分析

- 補聴器を使わない理由
- 補聴器の装用から見た難聴に対する社会の認識
- 購入の意向、購入に至る重要なきっかけ

## 5. 付属データ

- 人口動態：補聴器使用率と人口



---

# 1. はじめに



# ジャパントラック2022の調査関係者

## 調査関係者

- ジャパントラックはユーロトラックの日本版である。
- ジャパントラックプロジェクトの主体は一般社団法人日本補聴器工業会（日補工）であるが、公益財団法人テクノエイド協会の後援を得ている。
- アノバム社（スイス・チューリッヒ市）がジャパントラックのコンセプトを開発し、アンケートを作成し、調査会社と共同で調査を実施した。最終的にアノバム社が結果の分析と資料の作成を行った。
- 欧州補聴器工業会（EHIMA）は調査アンケートの実施とその内容を承認した。
- アノバム社と日補工はユーロトラックの調査アンケート内容をジャパントラックに採用した。また、アンケートの内容と結果の日本語訳は日補工が担当した。

## データの使用について

- 日補工及び会員各社は調査結果のデータ（表、グラフ、レポート）や調査の結論を自社の今後の研究や出版物等に使用出来る。それ以外の者は日補工の承認を得なければならない。
- 生データはアノバム社が所持することとする。但し、日補工又は会員各社が調査結果のデータ（表、グラフ、レポート）や調査の結論を使用する場合は、当該データの出所を以下の通り明記しなければならない。

“Source: Anovum – JapanTrak 2022”

- 日補工及び会員各社は生データを使ったさらなる分析をアノバム社に有料で依頼することができる。

# アンケート回答者の募集方法及び難聴者の抽出

(ウェイトバック集計 - 回収されたサンプルを母集団 (当調査の場合 - 国勢調査) の構成にあわせて集計する方法)

## ステップ 1 : 選別インタビュー

目的 : 難聴者率と補聴器所有率の調査

方法:

1. 全人口を反映する厳格な割り当てサンプルの抽出 (年齢・性別のバランス、地域の分散)
2. 数万人を超える調査名簿から選出
3. 選別アンケート: 自己申告による難聴の程度、補聴器使用状況と人口動態
4. 結果: 人口調査に基づいた 基数 : 14,061 人の代表サンプル

## ステップ 2 : 対象者インタビュー

目的 : 補聴器満足度と補聴器非所有者に対する詳細な調査

方法 :

1. アンケートの主体 : 補聴器所有者と補聴器非所有難聴者
2. 選別インタビュー (ステップ1)に応じたアンケート回答者を抽出
3. 結果サンプル : 基数 430人の補聴器所有者、基数 929人の補聴器非所有難聴者



---

## 2. 市場概要



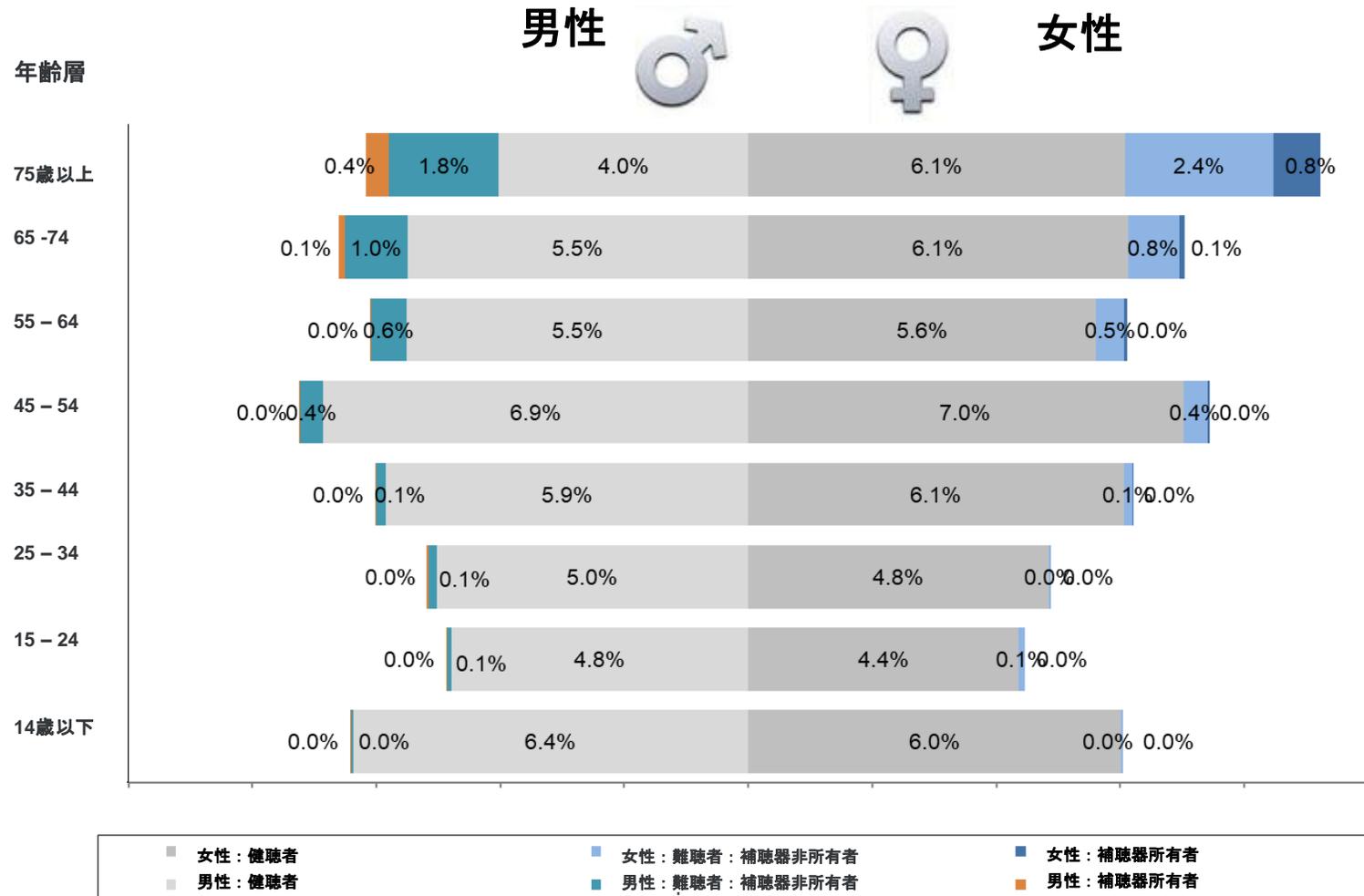


---

## 難聴者率と補聴器所有率



# 性別 / 年齢別の難聴者及び補聴器所有者



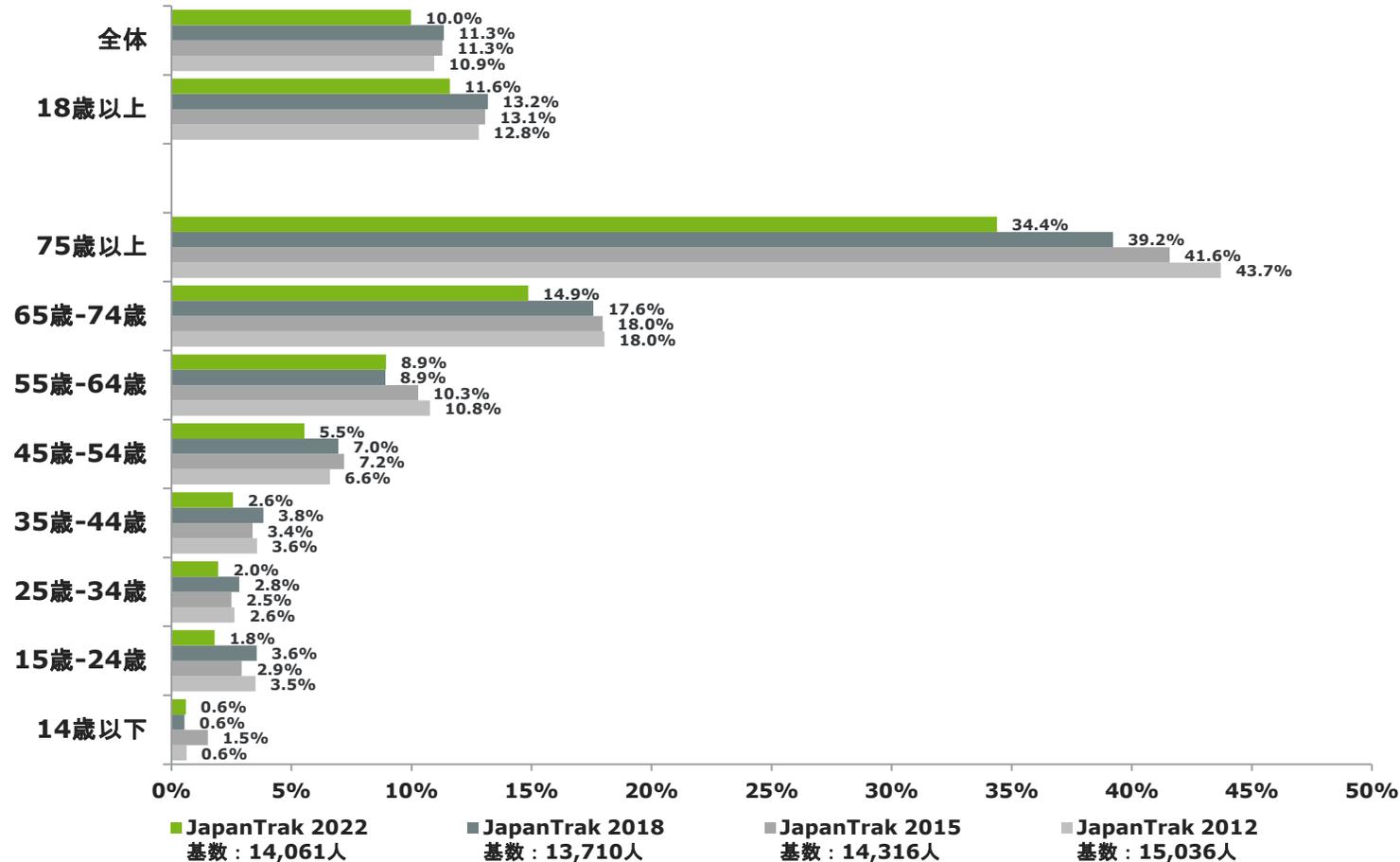
基数：14,061人



# 難聴者率

(難聴またはおそらく難聴だと思っている人の割合)

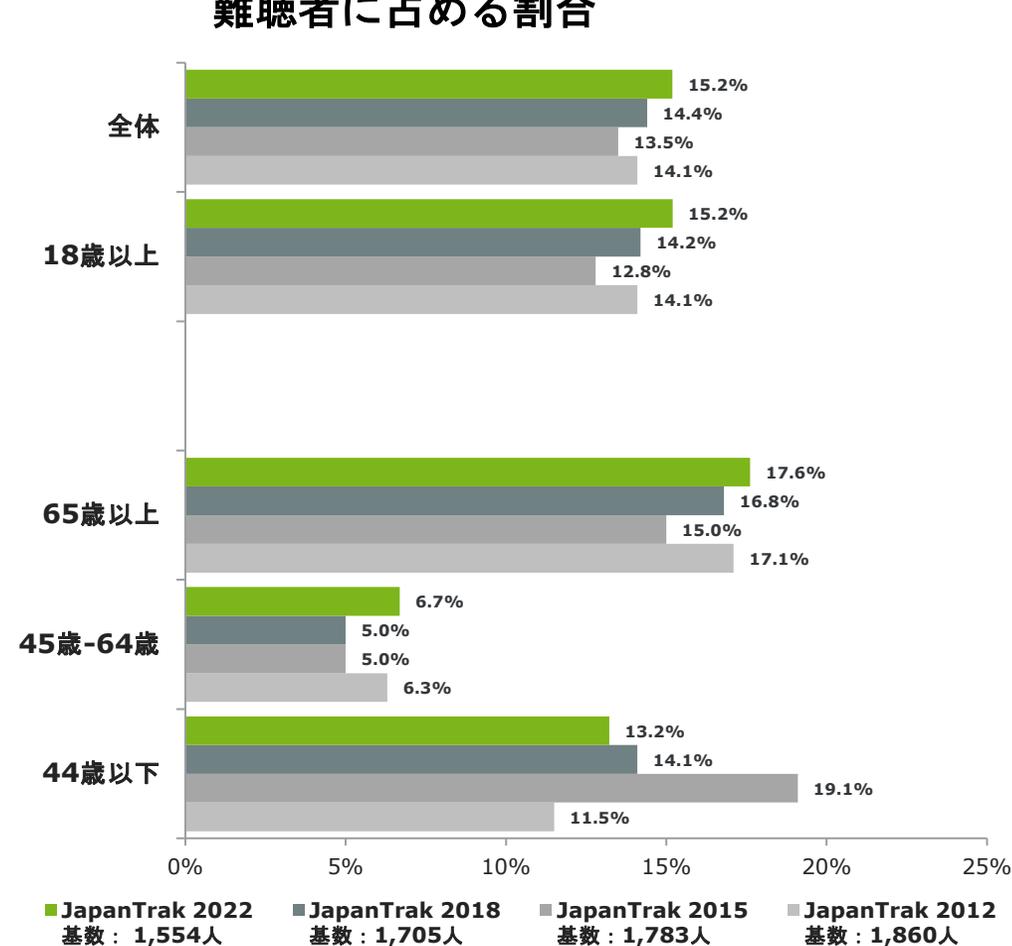
難聴者率 (%)





# 補聴器所有率： 難聴者の約15% が補聴器を所有、そのうち43%が両耳装用

難聴者に占める割合



■ 両耳装用 ■ 片耳装用



■ 両耳装用 ■ 片耳装用

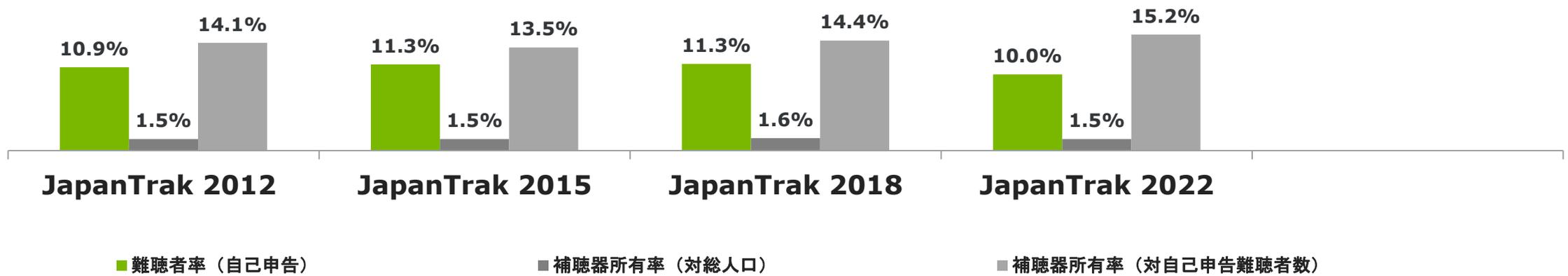


JapanTrak 2018  
補聴器所有者  
(基数:224人 - ステップ1)

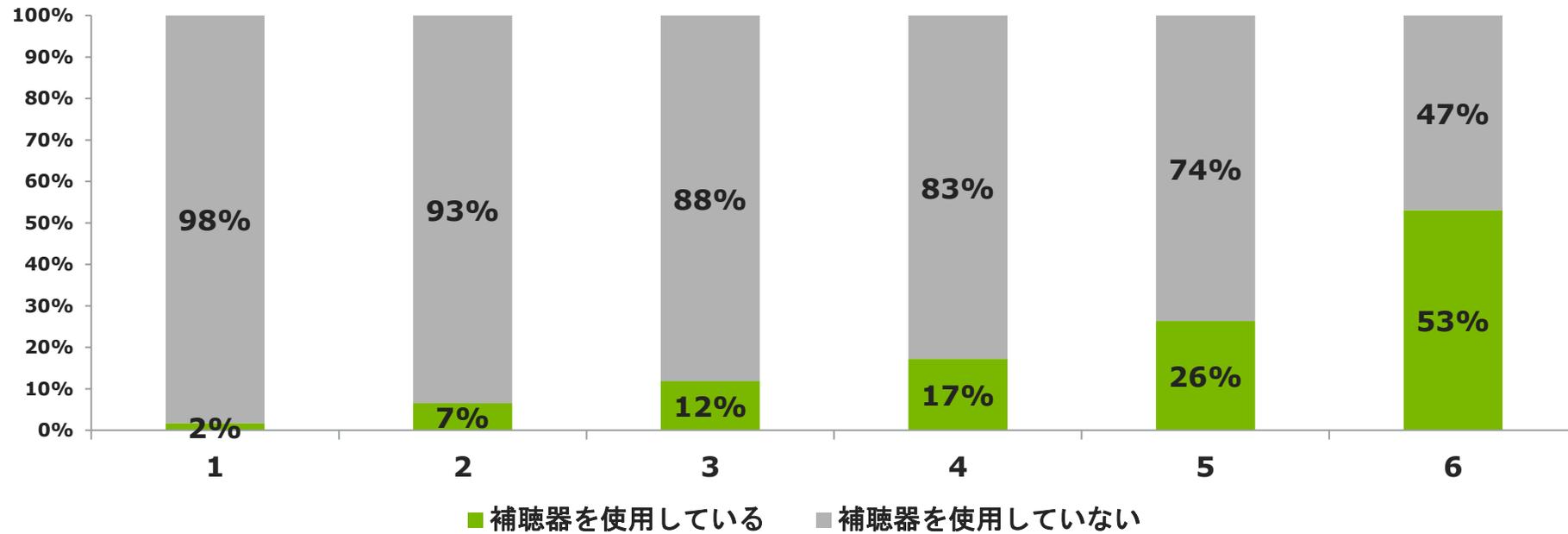
JapanTrak 2022  
補聴器所有者  
(基数:224人 - ステップ1)



# 難聴者率と補聴器所有率



# 難聴度が高いほど補聴器使用率が高い



補聴器非所有者：基数：929人  
補聴器所有者：基数：430人

## 難聴度別に分類された6グループ

\* 6グループの構成: 因子分析を行い、1つの因子「難聴の程度」を導出した。この因子には以下の質問が含まれている  
(聞こえに関する以下のアンケート結果を集計し6つの聴力別のグループに分けた)

- ・ 難聴のある耳の数 (片耳又は両耳)
- ・ 自己申告での難聴度 (軽度から重度)
- ・ 6 APHAB-ECに似たテストのスコア (1から5のスケール)
- ・ 補聴器を使用しない時の騒音下での会話困難度

→回答者を同サイズの6グループに分類した (1グループ=サンプル中の全難聴者数の16.67%)

# 難聴

## 難聴耳及び程度：補聴器所有者と補聴器非所有者の比較

	補聴器非所有者 基数：929人	補聴器所有者 基数：430人	補聴器所有率 (%)
難聴耳 (自己申告)			
片耳難聴	39%	28%	13%
両耳難聴	61%	72%	20%
難聴程度			
軽度	46%	27%	11%
中等度	50%	55%	18%
高度	2%	16%	48%*
重度	2%	2%	

人数は非加重、パーセンテージは加重

\* 基数が過小なため高度と重度難聴者の補聴器所有者数を合算して算出。



---

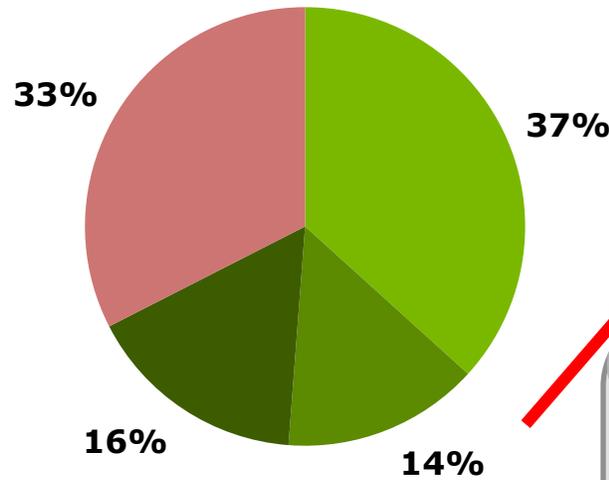
## 聴力検査の有無と聴力検査を受けた場所



# 聴力検査:51%(2018:53%)の人が5年以内に聴力検査を受けたことがあり、そのほとんどは医師により実施されている

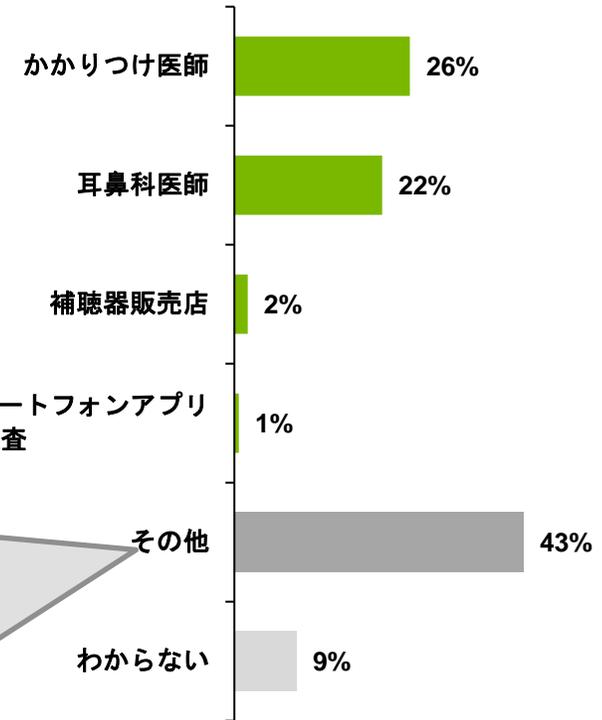
## 聴力検査を受けたことはありますか？

- はい、1年以内に受けました。
- はい、5年以内に受けました
- はい、5年以上前に受けました
- いいえ、受けたことはありません

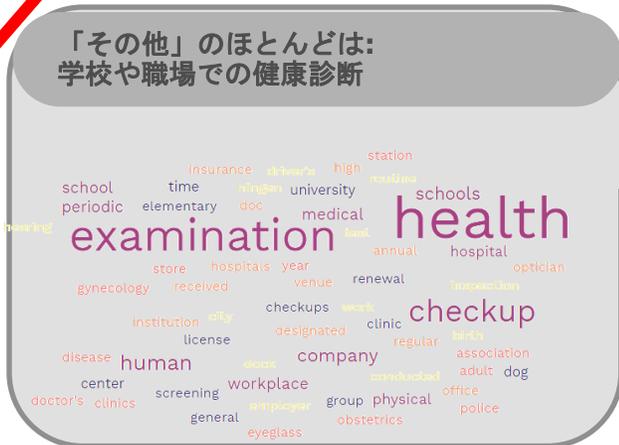


基数：8,661人

## どこで聴力検査を受けましたか？（5年以内）



基数：4,472人





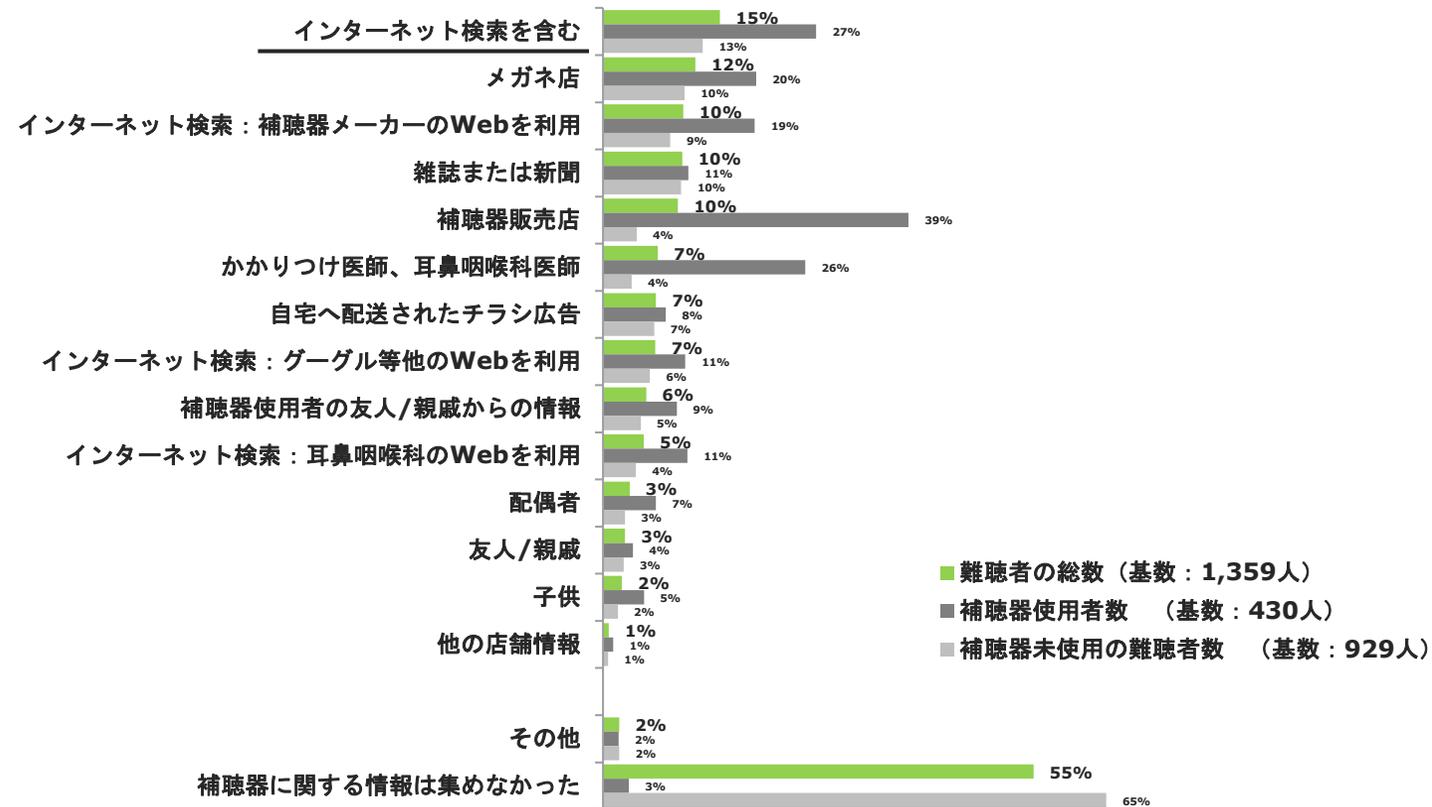
---

## 補聴器所有までの道のり：情報源と離脱する割合



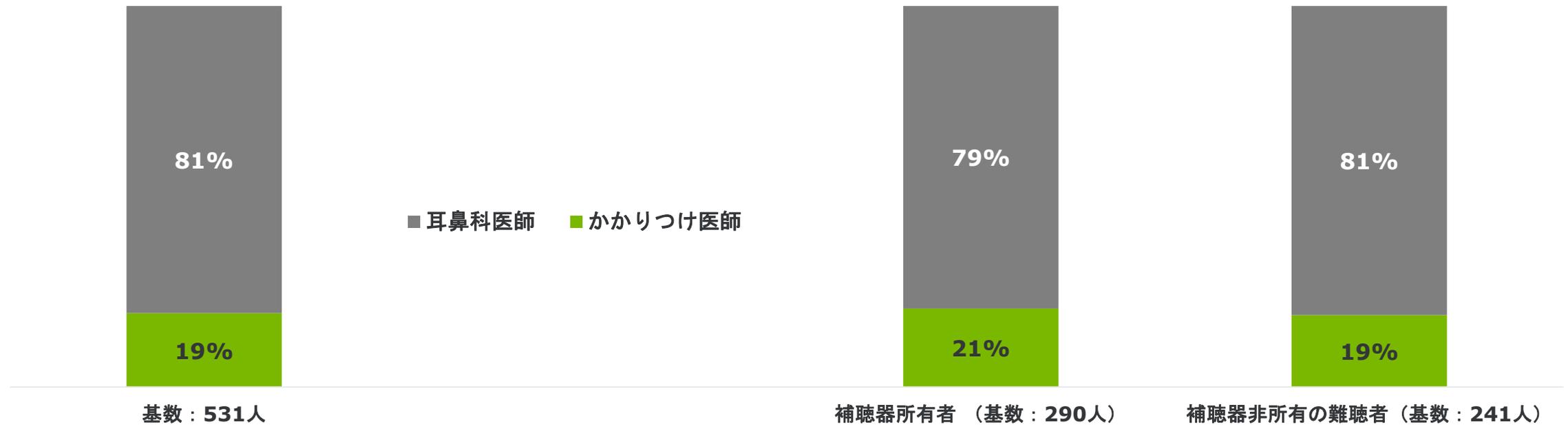
# 補聴器販売店、医師及びメガネ店が補聴器の情報を得るための主な入口であるが、インターネット検索も重要な情報源であり、特に補聴器非所有者にとっては最も重要な情報源である

## あなたは補聴器に関する情報をどこから得ましたか？

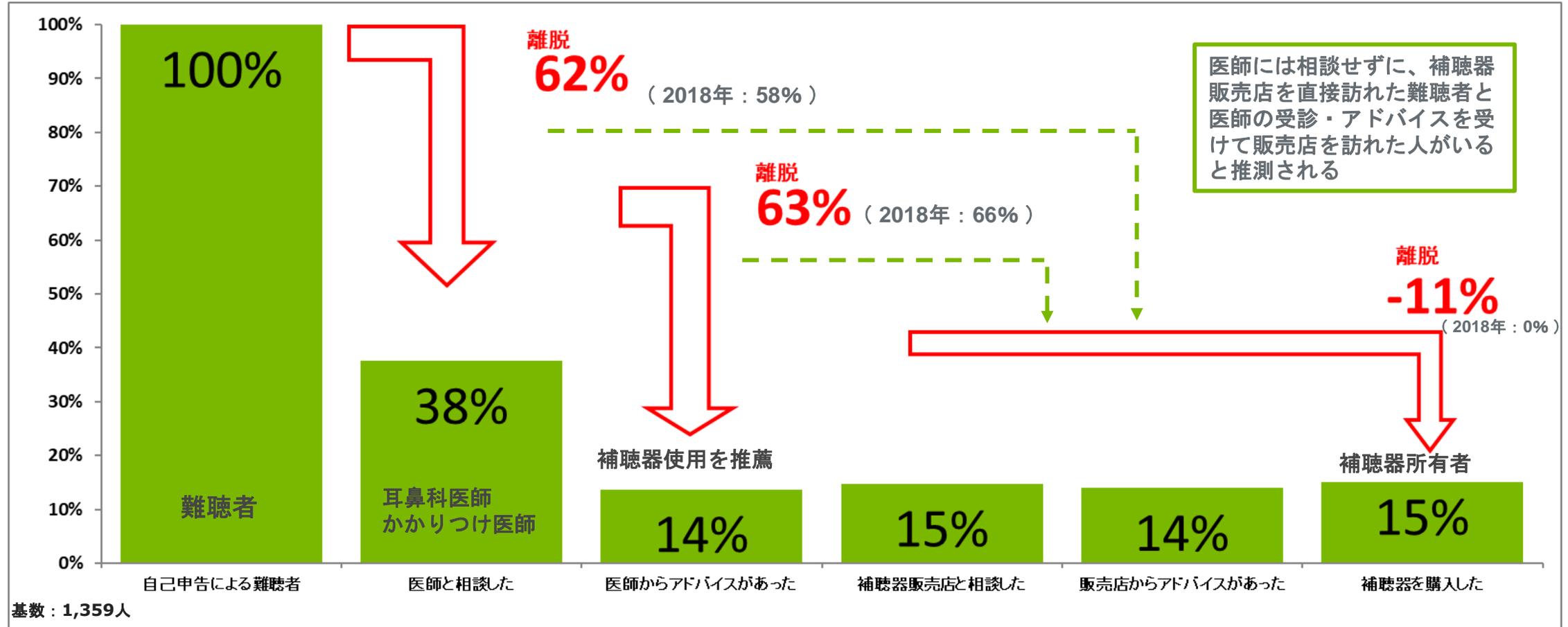


# 難聴について最初に相談した医師は、耳鼻科医師が81%、 かかりつけ医師が19%であった

あなたが初めに難聴について相談したのは耳鼻科医師でしたか、  
あるいは、かかりつけ医師でしたか？



# 補聴器所有までのルート：全体像



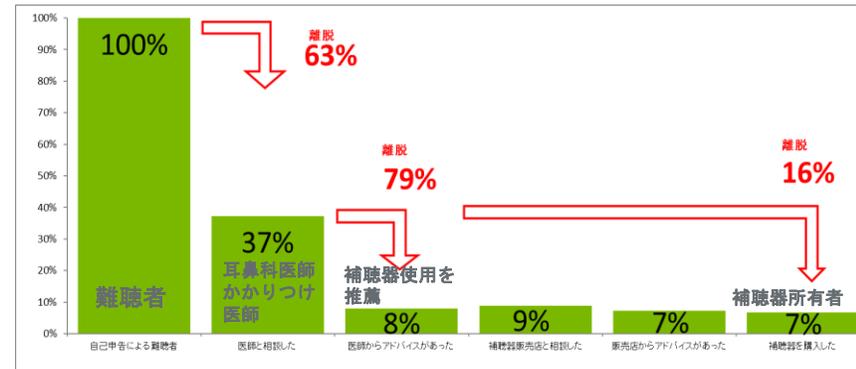
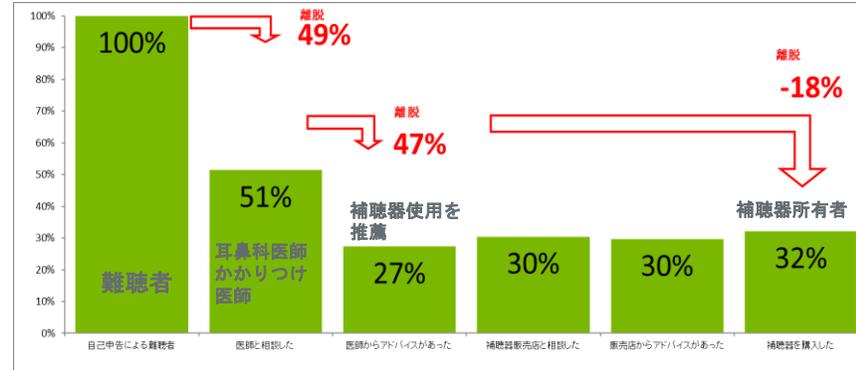
# 難聴度が低いグループで離脱が非常に多い

## 難聴度の高い上位50%のグループ\*

### <アンケートの難聴度の定義>

- 軽度** : 静かな場所でも小さな声が聞き取れなかったり、間違えたりする
- 中等度** : 日常生活で普通の大きさの会話を、正しく聞き取れないことが、しばしばある。大きい会話でも、正しく聞き取れないことが、しばしばある
- 高度** : 耳もとで大きな声を出してもらわないと聞き取れない
- 重度** : 耳もとで大きな声を出してもらってもほとんど聞こえない

## 難聴度の低い下位50%のグループ\*



基数 : 1,359人

\* 6グループの構成: この分析は“難聴レベル”を一つの要因とし、全て同一なものとして行われた。その中には以下の質問も含まれている:  
 (聞こえに関する以下のアンケート結果を集計し6つの聴力別のグループに分けた)  
 障害のある耳の数 (片耳又は両耳)  
 ・ 申告された聴力損失のレベル (軽度から重度まで)  
 ・ 6 APHAB-EC テストのスコア (Scaled 1-5の質問による)  
 ・ 補聴器を使用しない時の騒音下での会話困難度  
 → 回答者を同数の6グループに分類した (1グループ=サンプル中の全難聴者数の16.67%)

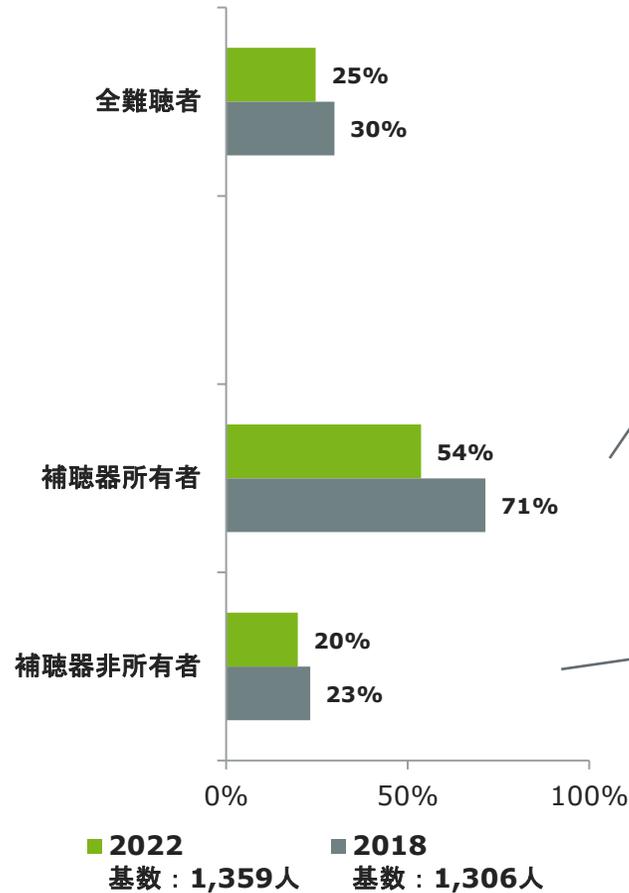
- ・ 補聴器販売店には特定の条件を付けず一般的な流れを訪ねました



# 補聴器所有への道のり：かかりつけ医師

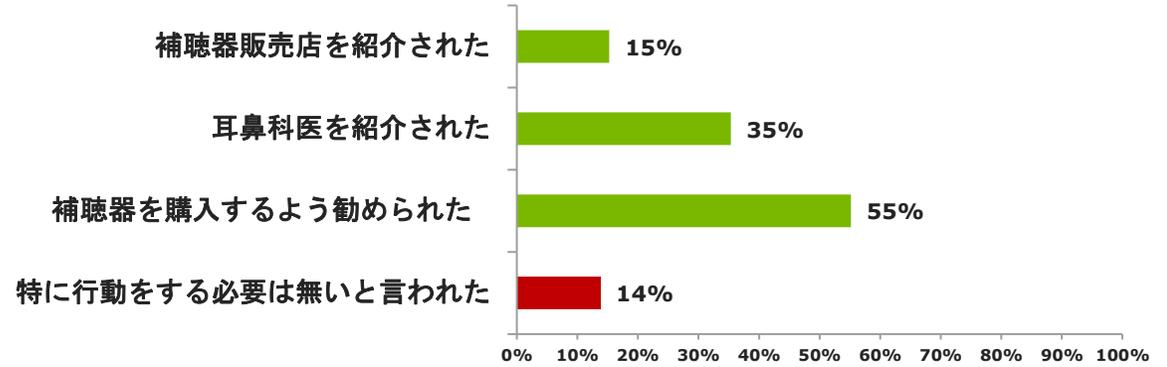
あなたはかかりつけ医師と難聴について相談したことはありますか？

かかりつけ医師と相談した割合

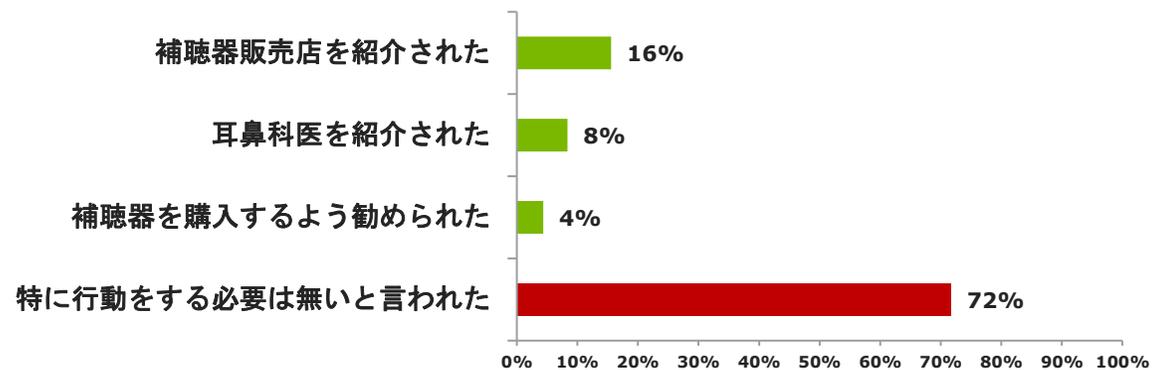


かかりつけ医師の処方又は対応

補聴器所有者数：211人



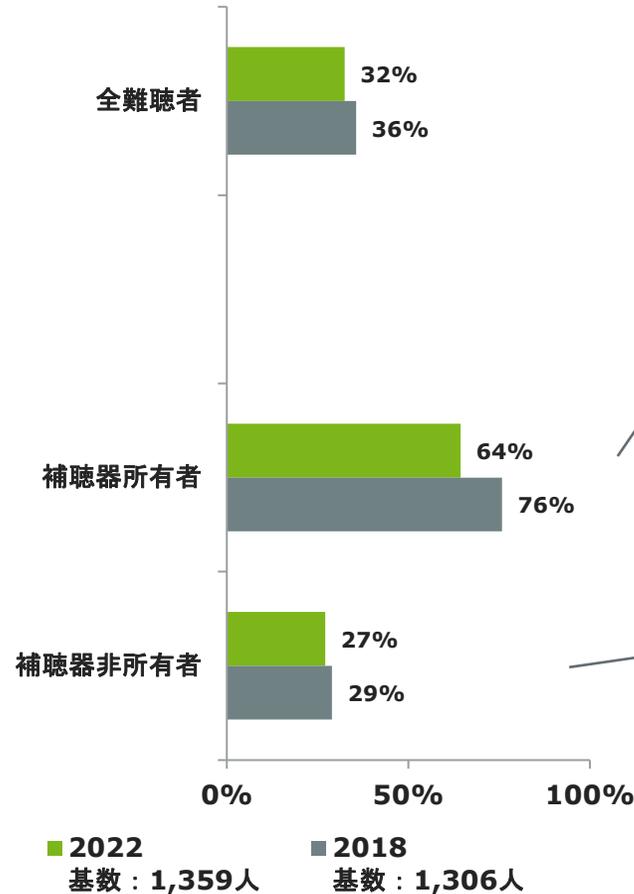
補聴器非所有難聴者数：154人



# 補聴器所有への道のり：耳鼻科医師

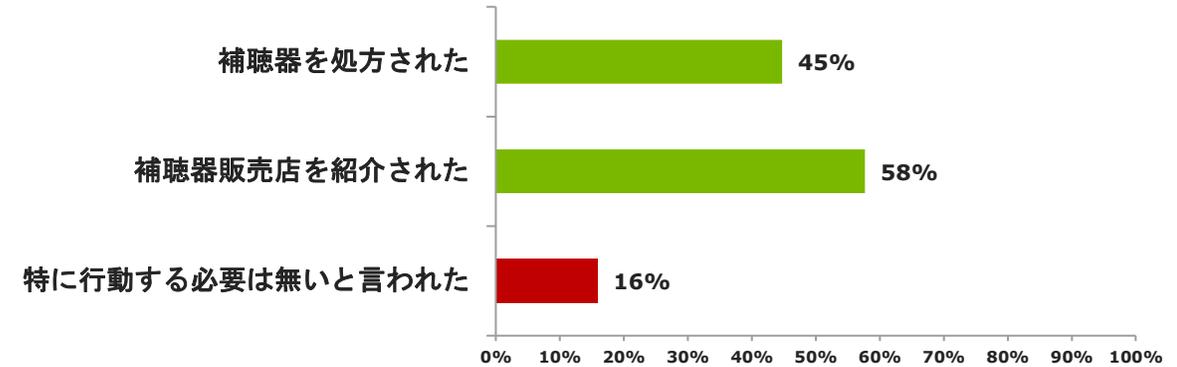
あなたは耳鼻科医師と難聴について相談したことはありますか？

耳鼻科医師と相談した割合

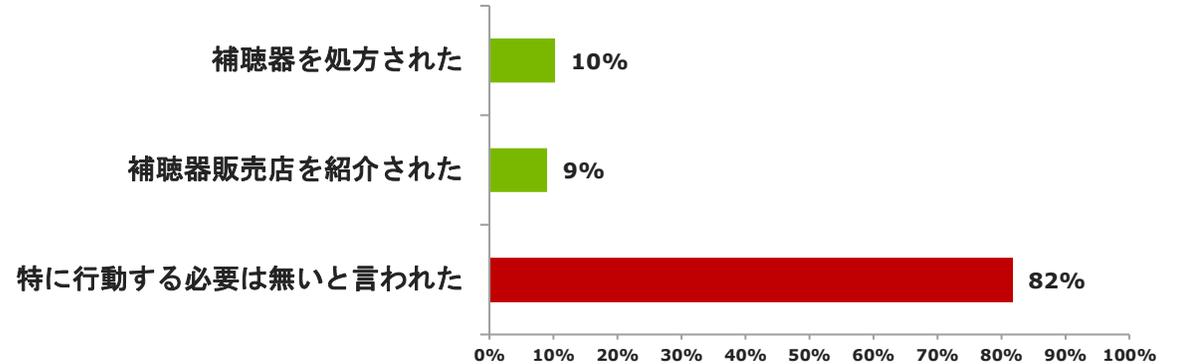


耳鼻科医師の処方又は対応

補聴器所有者数：264人



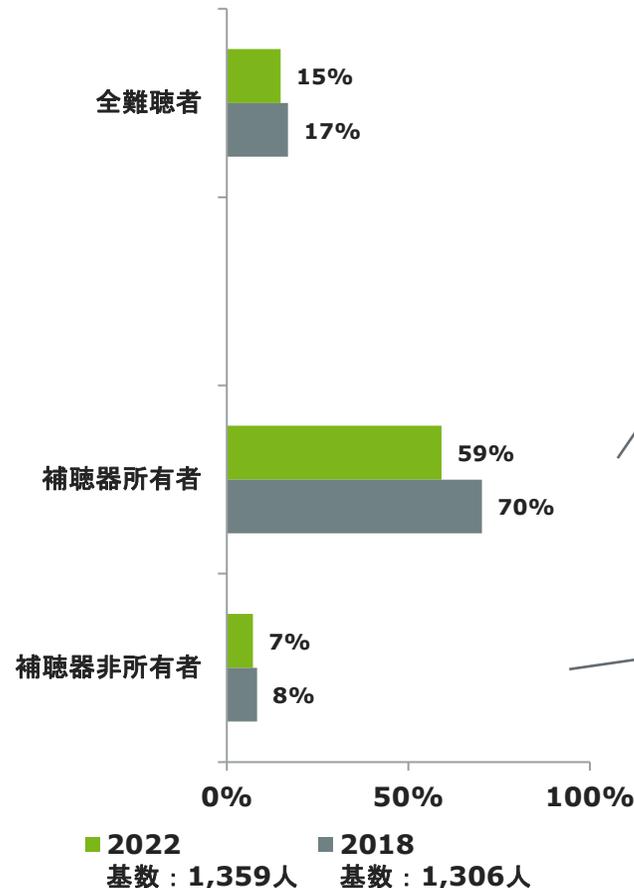
補聴器非所有難聴者数：228人



# 補聴器所有への道のり：補聴器販売店

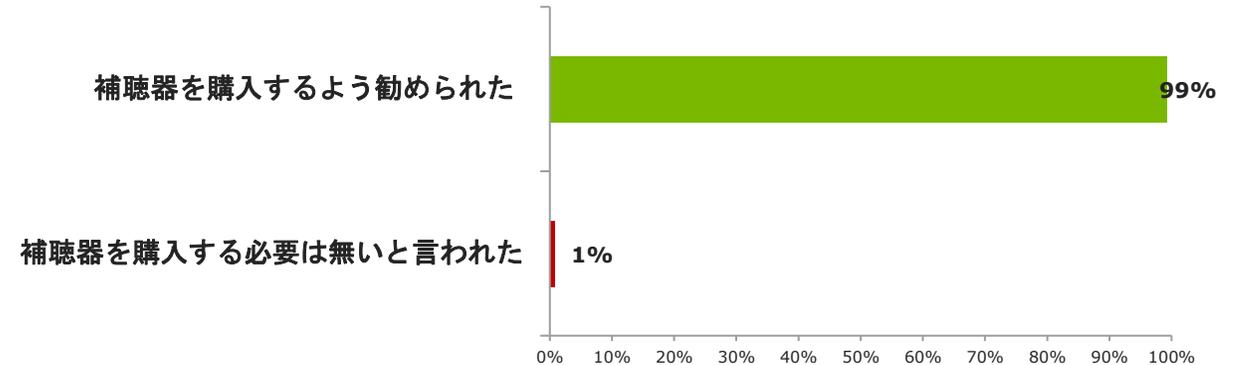
あなたは補聴器販売店と難聴について相談したことはありますか？

## 補聴器販売店と相談した割合

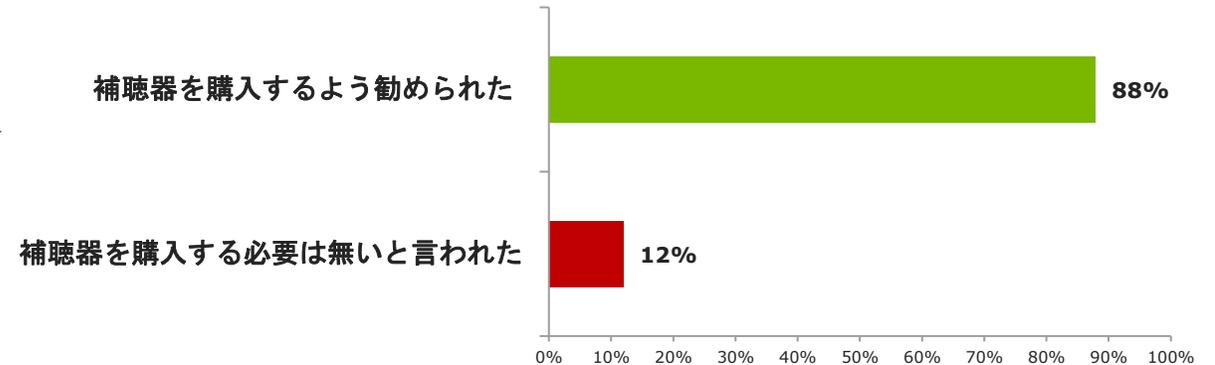


## 補聴器販売店の対応

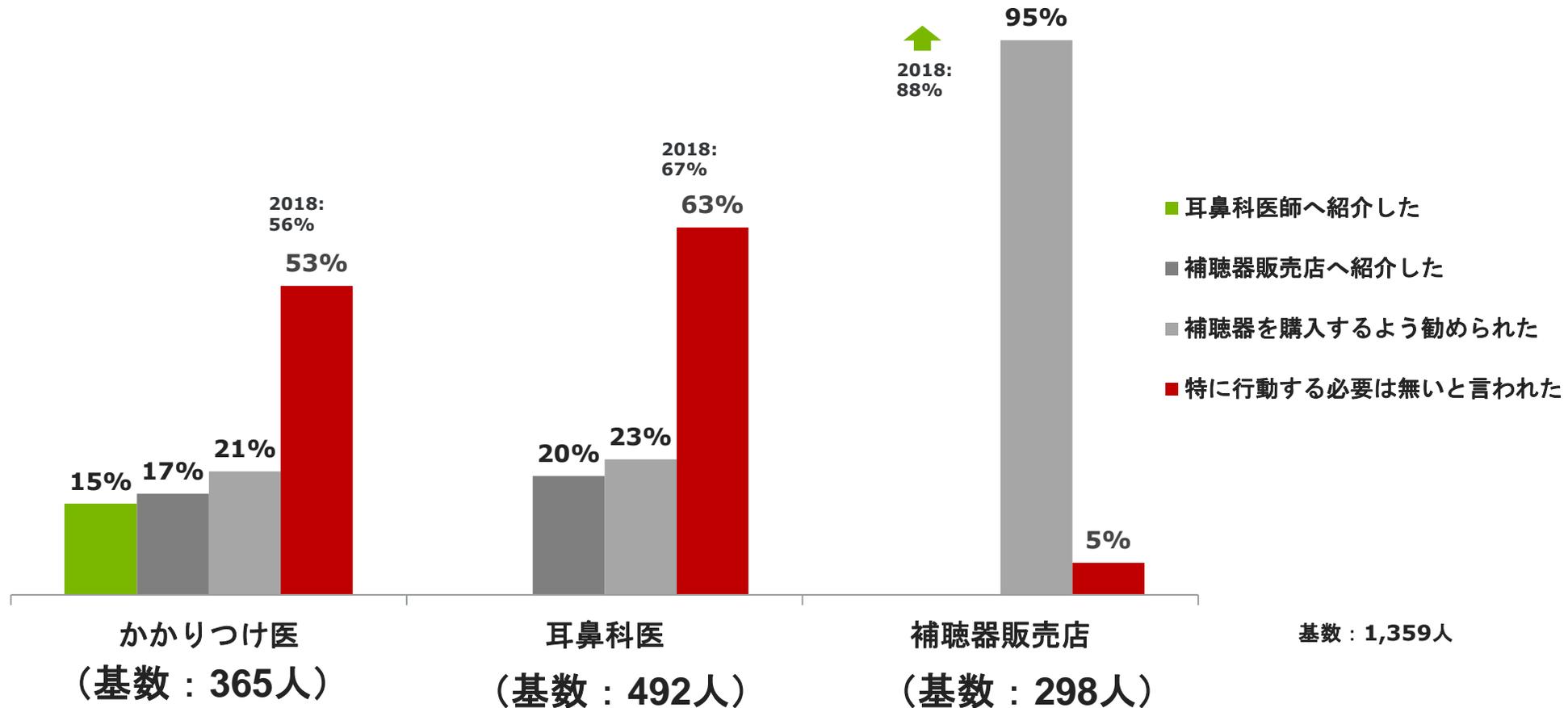
補聴器所有者 基数：253人



補聴器非所有難聴者 基数：45人

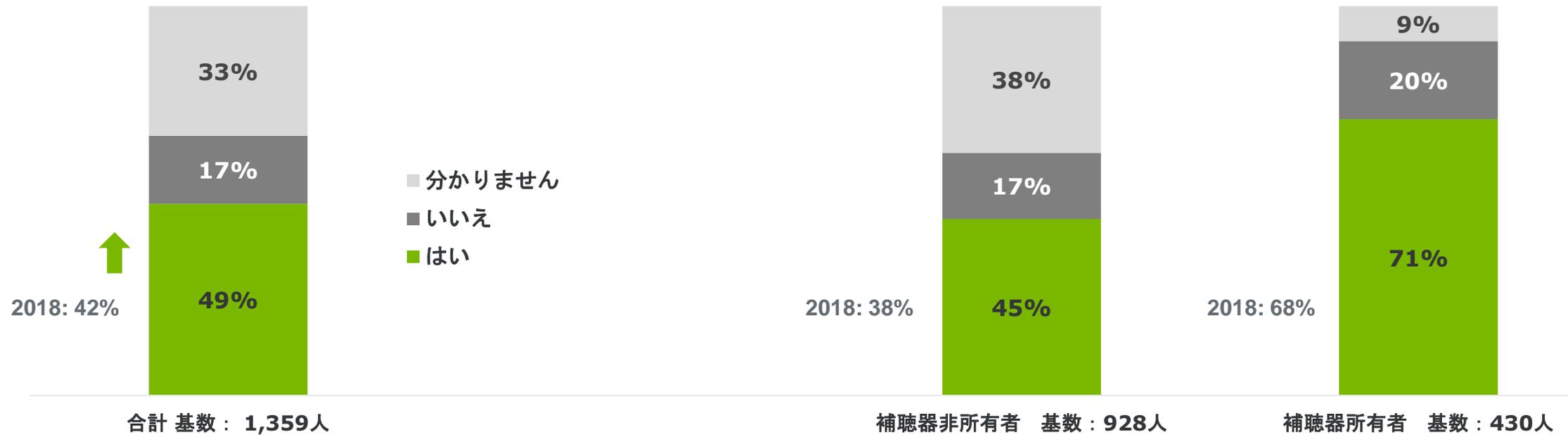


# 補聴器所有への専門家の対応・推薦



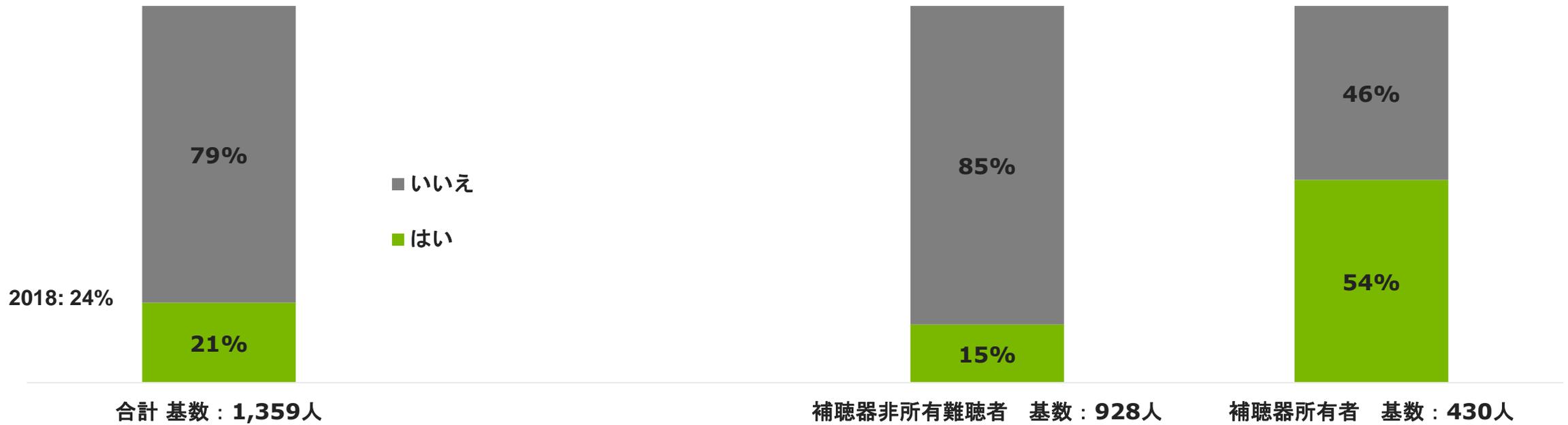
# 補聴器販売店の認識度はやや上昇した

あなたのお住いの近くに補聴器販売店はありますか？



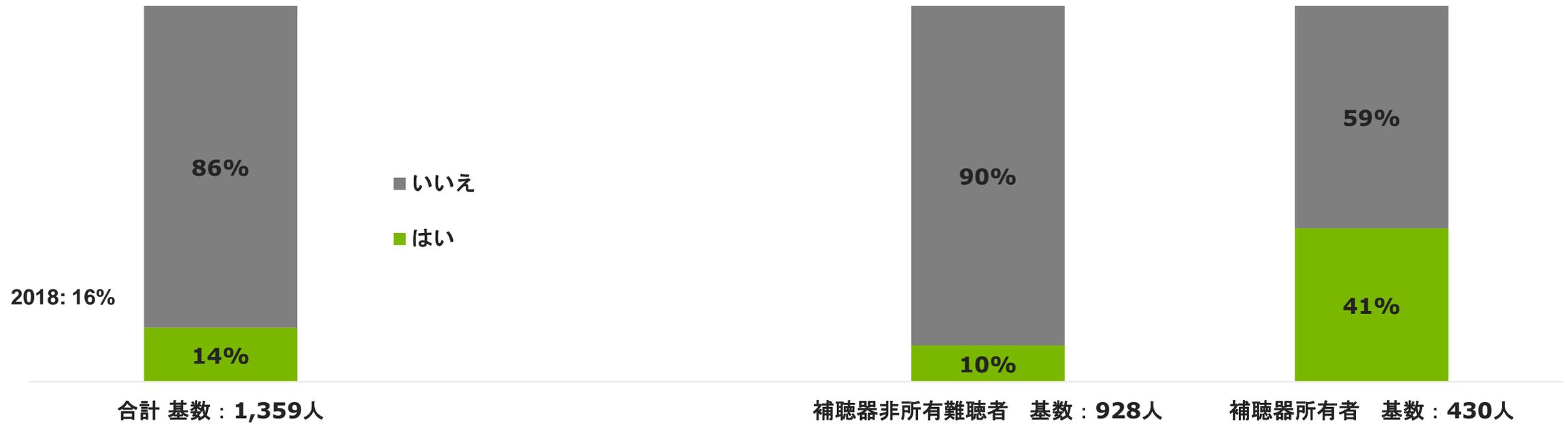
# 21%の難聴者が「認定補聴器専門店」という名称を知っている

あなたは「認定補聴器専門店」という名称をご存知ですか？



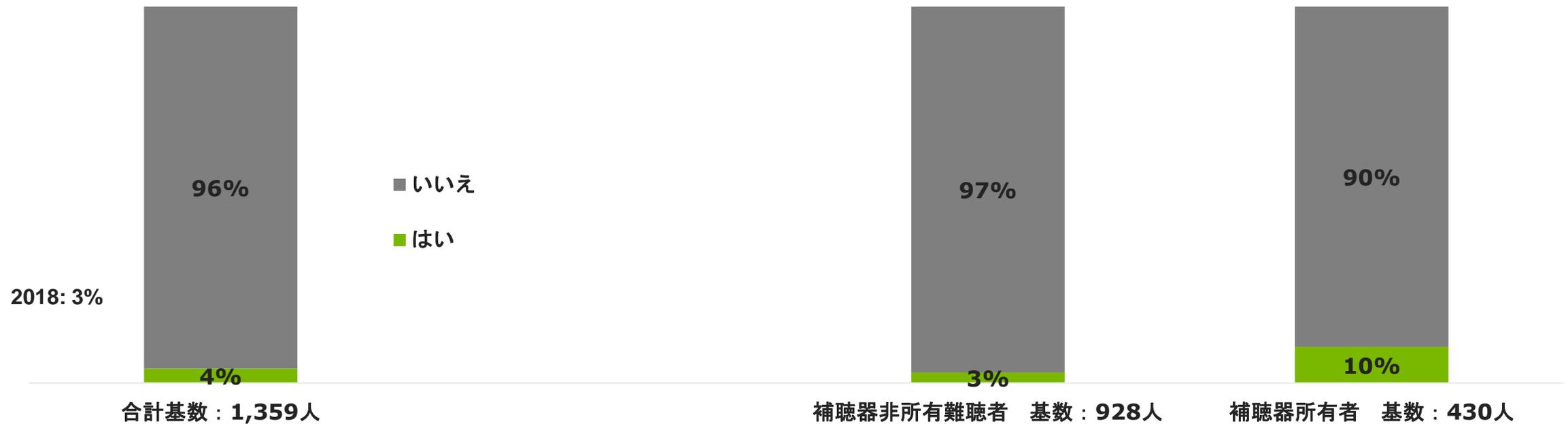
# 14%の難聴者が「認定補聴器技能者」という名称を知っている

あなたは「認定補聴器技能者」という名称をご存知ですか？



# 4%の難聴者が「公益財団法人テクノエイド協会」という名称を知っている

あなたは「公益財団法人テクノエイド協会」という名称をご存知ですか？





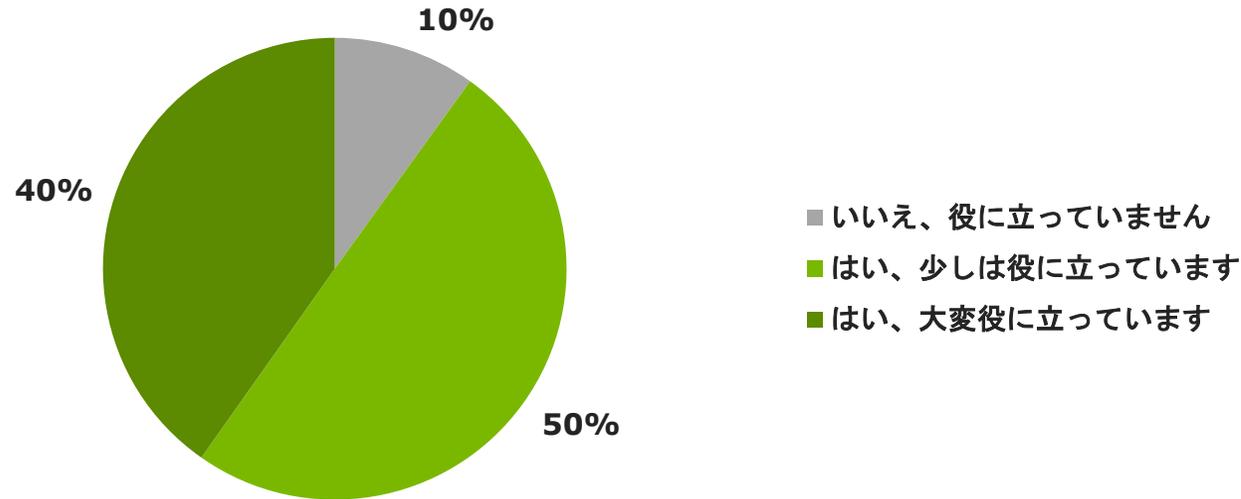
---

## 補聴器使用による潜在的な社会的費用の削減： 仕事上での優位性・うつ病・睡眠の質、併存疾患



# 仕事上での優位性： 仕事を持っている補聴器所有者の90%は補聴器が仕事上で役に立っていると言っている

補聴器はあなたの仕事上でどのように役立っていますか？



基数：77人



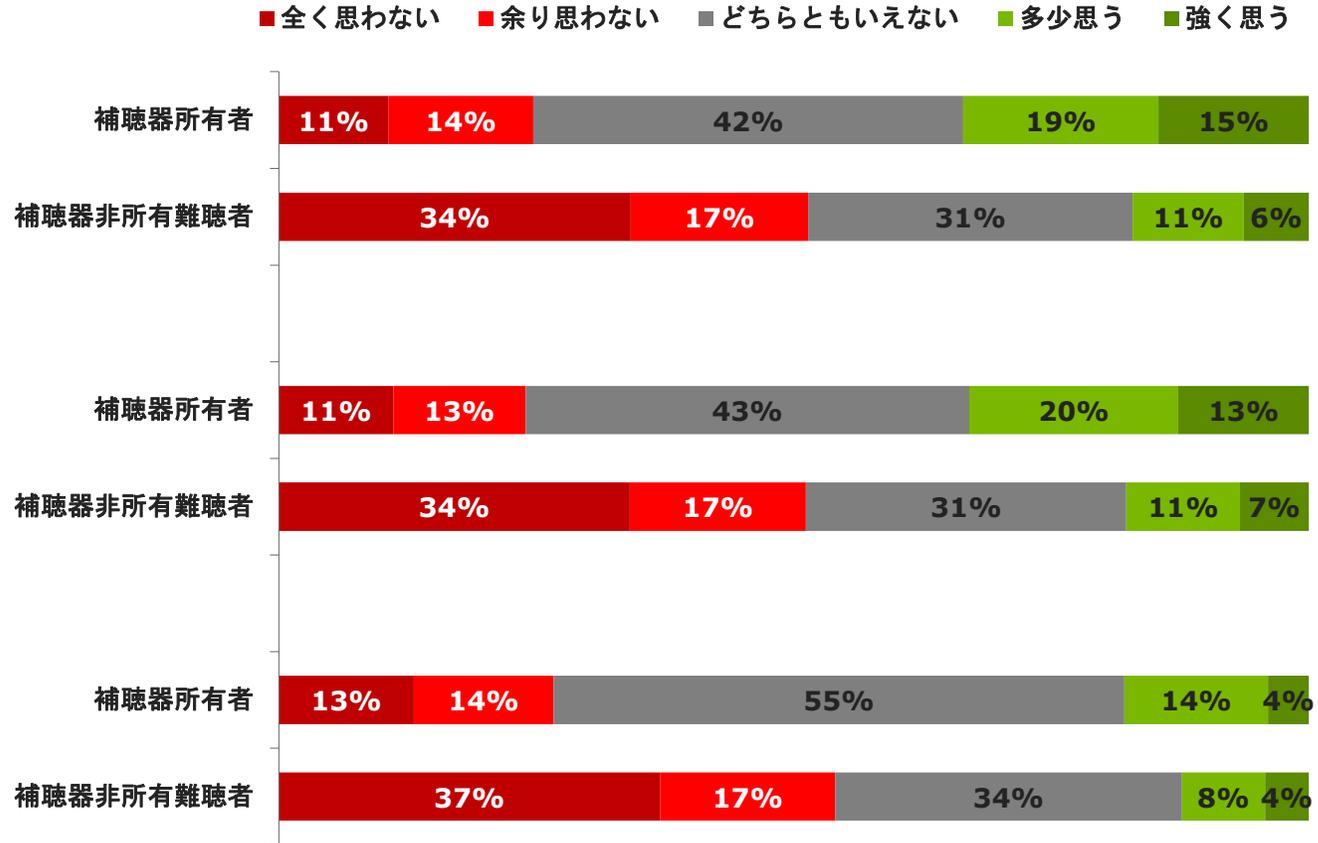
# 仕事上での優位性：

補聴器所有者は補聴器が難聴者にとって、出世・適切な仕事・高い報酬を得るために役立っていると認識している

私は難聴の対策をとっていない人達が仕事上で出世しない傾向があると思う

私は難聴の対策をとっていない人達が仕事上で能力に合った仕事を得ていない傾向があると思う

私は難聴の対策をとっていない人達の報酬が低い傾向にあると思う



基数: 補聴器非所有者 : 794人・補聴器所有者 : 377人





# その他の健康問題（1）：

補聴器所有者は補聴器非所有難聴者（難聴度の高い上位50%のグループ\*）と比べてうつ病になるリスクが低い（PHQ-2スクリーニング）

## うつ病の症状

（PHQ-2スクリーニング）：

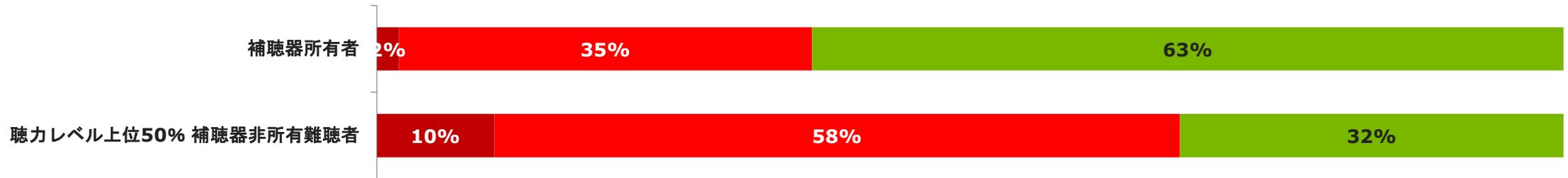
過去2週間以内に：

【興味が無くなった・楽しまなくなった】

【気分が落ち込んだ・憂鬱になった・絶望的な気持ちになった】

## うつ病になるリスク

■ とても高い ■ 中間 ■ とても低い



基数: 補聴器所有者：344人・聴力レベル上位50% 補聴器非所有難聴者：159人

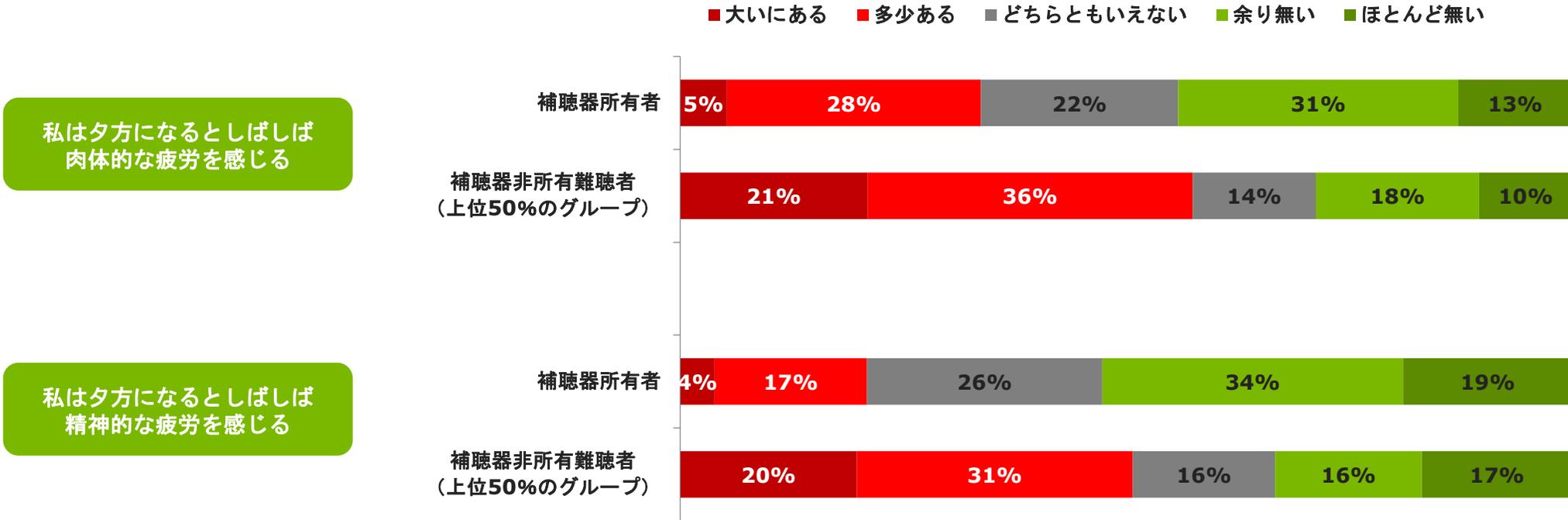
\* 6グループの構成：この分析は“難聴レベル”を一つの要因とし、全て同一なものとして行われた。その中には以下の質問も含まれている：  
 （聞こえに関する以下のアンケート結果を集計し6つの聴力別のグループに分けた）  
 ・ 障害している耳の数（片耳又は両耳）  
 ・ 申告された聴力損失のレベル（軽度から重度まで）  
 ・ 6 APHAB-ECテストのスコア（Scaled 1-5の質問による）  
 ・ 補聴器を使用しない時の騒音下での会話困難度  
 →回答者を同数の6グループに分類した（1グループ=サンプル中の全難聴者数の16.67%）

今回尺度を変更した。  
 2018の回答（症状があった）：補聴器所有者 12%、補聴器非所有難聴者 32%



## その他の健康問題（2）：

補聴器所有者は難聴度の高い上位50%のグループ\*の補聴器非所有者に比べて夕方の疲労感が低減している



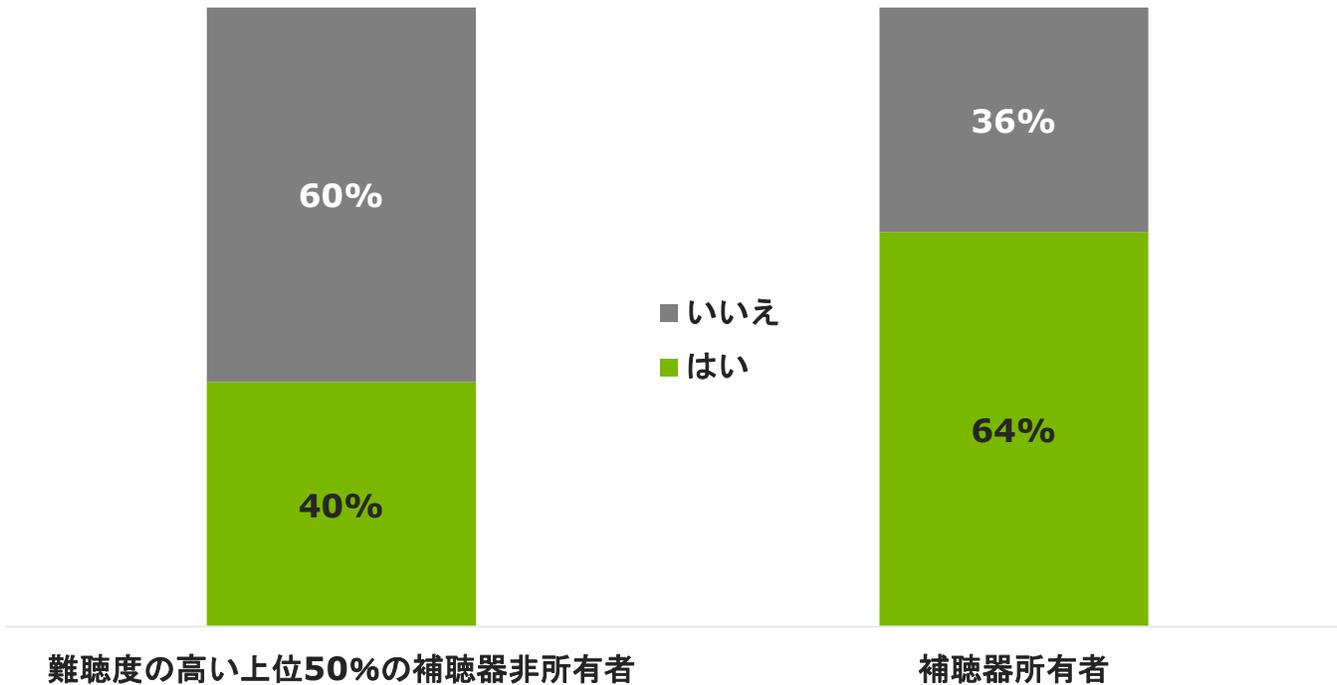
基数: 補聴器所有者:336人・聴力レベル上位50% 補聴器非所有難聴者:154人

\* 6グループの構成：この分析は“難聴レベル”を一つの要因とし、全て同一なものとして行われた。その中には以下の質問も含まれている：  
 (聞こえに関する以下のアンケート結果を集計し6つの聴力別のグループに分けた)  
 ・ 障害のある耳の数 (片耳又は両耳)  
 ・ 申告された聴力損失のレベル (軽度から重度まで)  
 ・ 6 APHAB-ECテストのスコア (Scaled 1-5の質問による)  
 ・ 補聴器を使用しない時の騒音下での会話困難度  
 → 回答者を同数の6グループに分類した (1グループ=サンプル中の全難聴者数の16.67%)



## その他の健康問題（3）： 難聴者が補聴器を使用すると睡眠の質が向上すると推定される

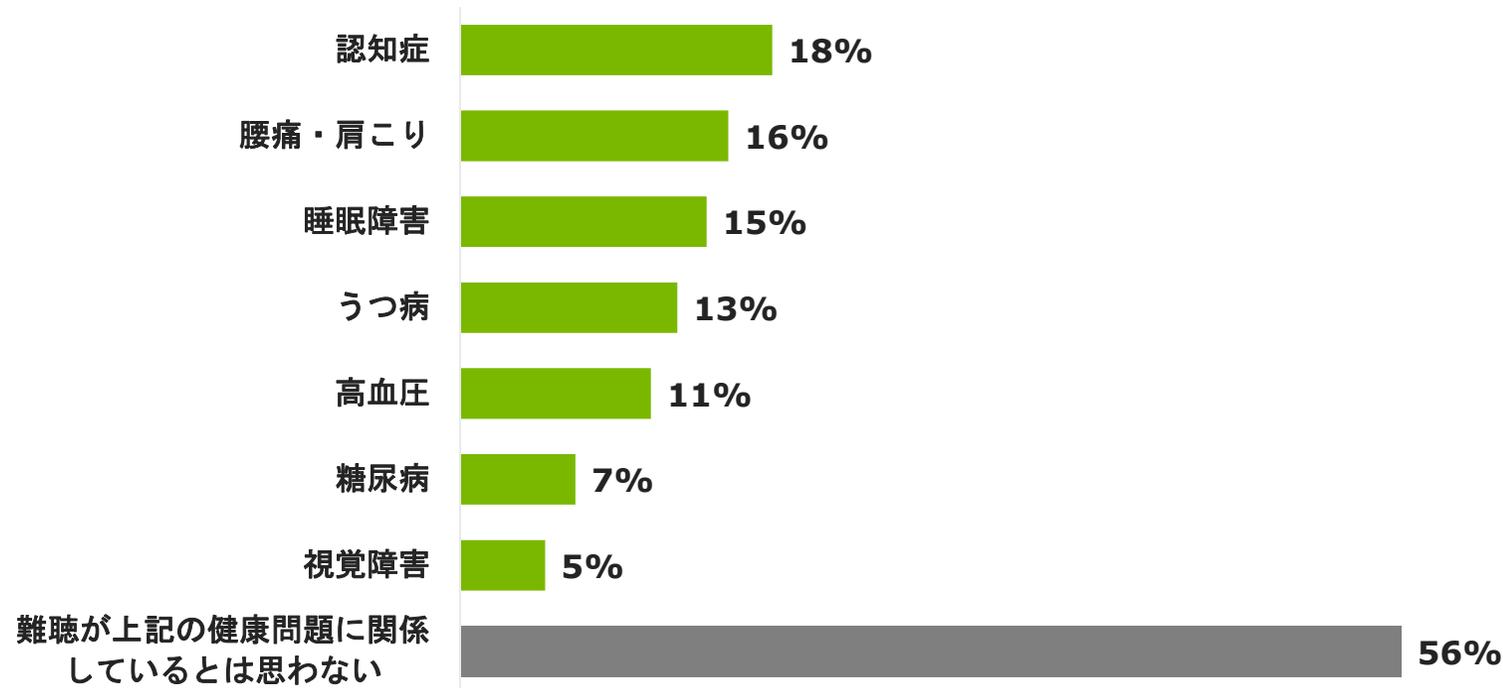
あなたは普段の睡眠の質に満足されていますか？



基数: 難聴度の高い上位50%の補聴器非所有者:159人 ・ 補聴器所有者:344人

# 難聴者の13%~18%が「認知症」「腰痛や肩こり」「睡眠障害」「うつ病」が難聴と関係していると思っている

あなたが難聴と関連していると思う以下の健康問題をすべて選択してください。



基数：1,359人



---

## 3. 補聴器所有者の分析





---

## 補聴器所有、補聴器入手以前の難聴の自覚、 補聴器の寿命と使用状況



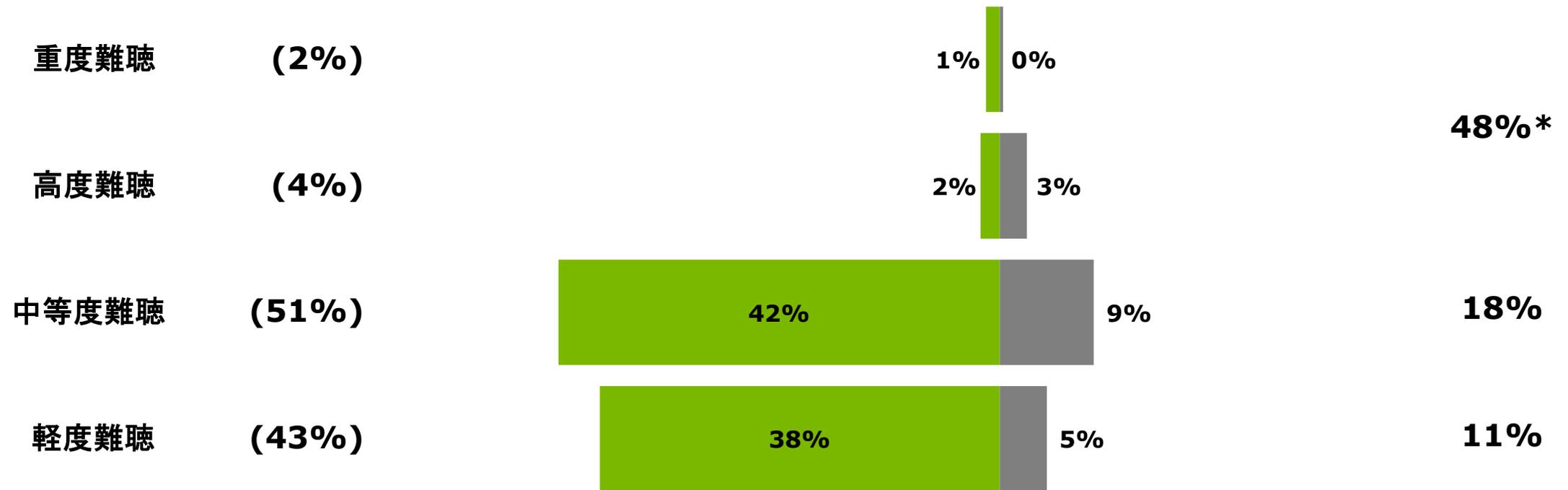


# 難聴度が軽度・中等度の補聴器所有率は低い

自己申告による  
難聴度

(% 難聴者の比率\*)

補聴器所有率 %



■ 補聴器非装用者 ■ 補聴器装用者

基数：1,359人

四捨五入の関係で合計が100%にならない場合がある

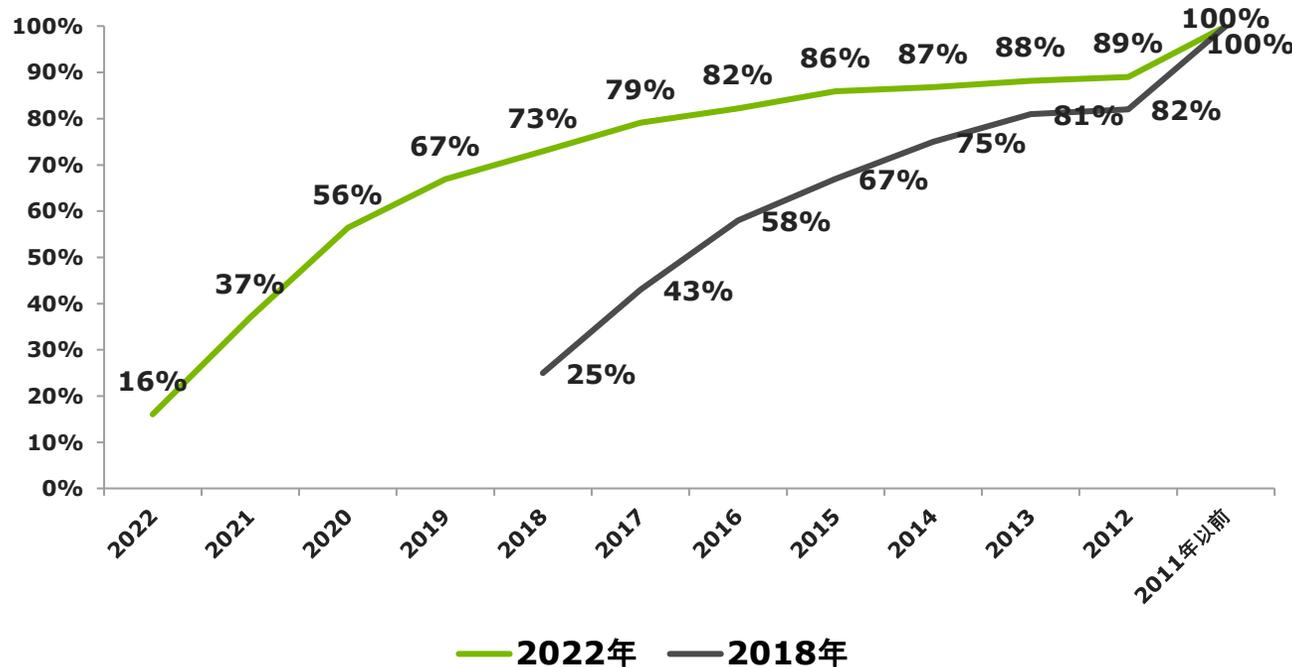
\* 基数が過小なため重度と高度難聴者を合算して算出している





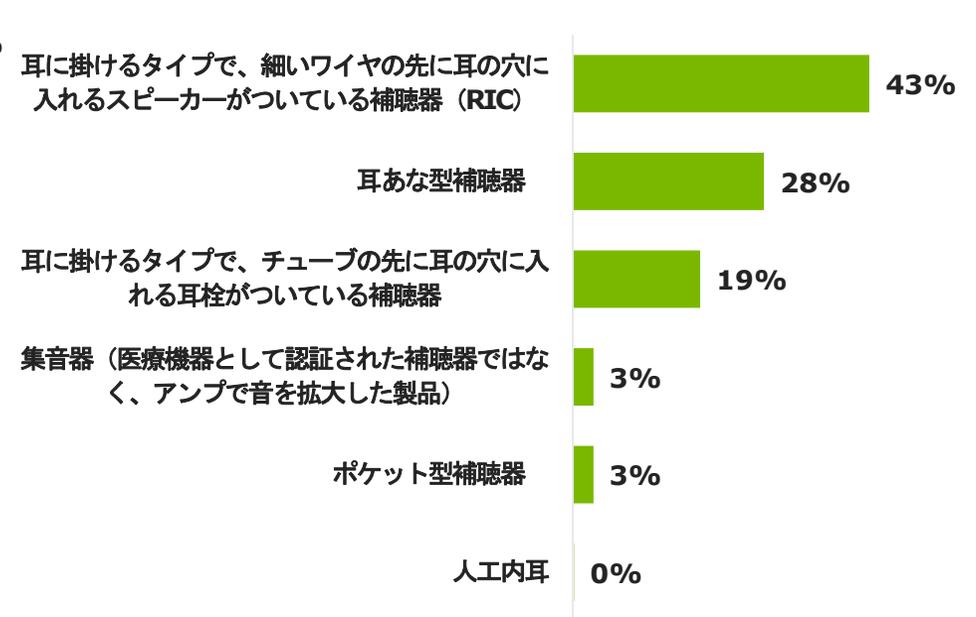
# 現在所有されている補聴器の67%は2019年以降に購入されたものである RICは補聴器の中で最もよく購入されているタイプである

購入時期



現在所有されている補聴器の年数 (平均)  
 2022: 3.8 年  
 2018: 3.5 年

補聴器のタイプ



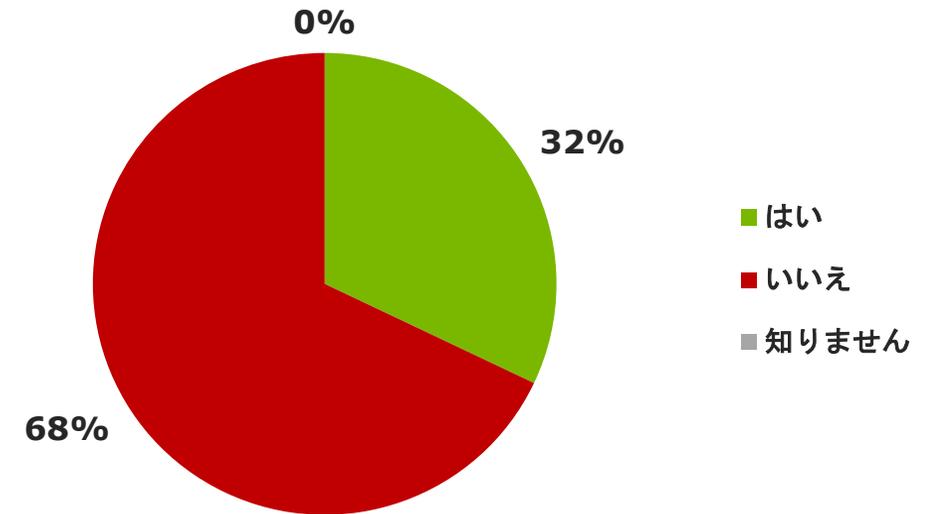
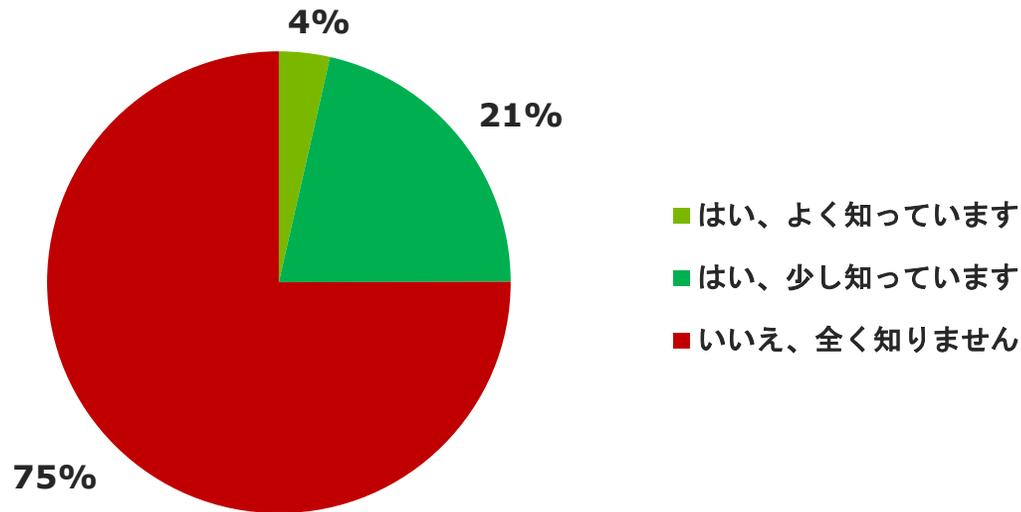
補聴器所有者 基数 : 430人



# 日本人の75%が人工内耳のことを知らない 高度/重度難聴の補聴器所有者の1/3は医師から人工内耳について説明を受けたことがある

あなたは人工内耳を知っていますか？

人工内耳について医師から説明を受けたことがありますか？

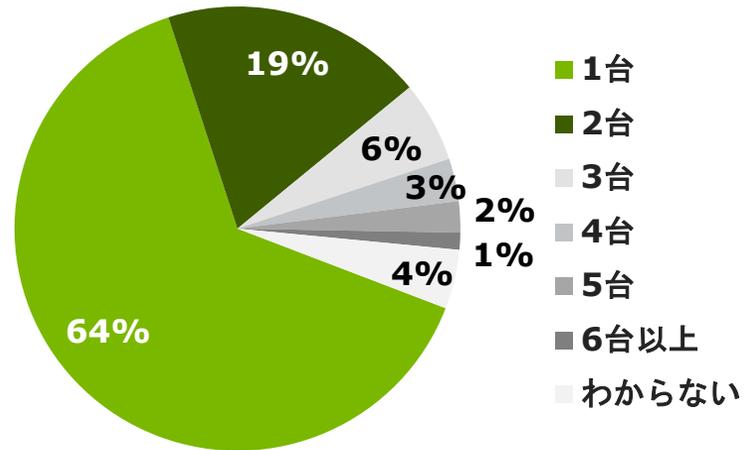


基数：4,140人

基数：26人（高度/重度難聴と自己申告した補聴器所有者）

# 64%が初回補聴器所有者、19%が2台目の補聴器所有者

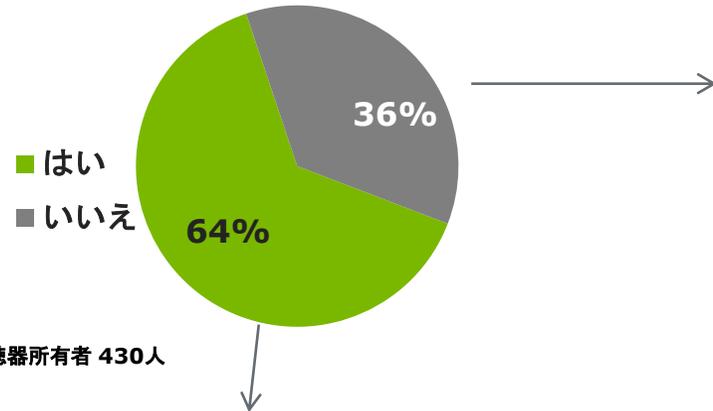
現在、所有の補聴器は何台目ですか？（両耳装用は1台として計算する）



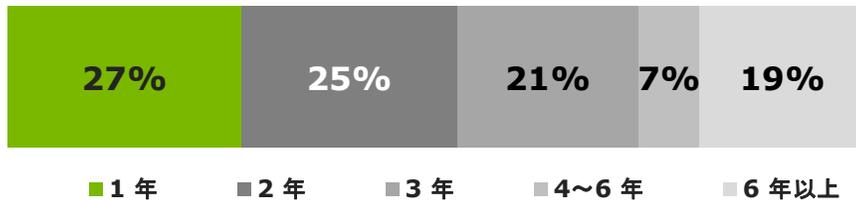


# 補聴器は4年間使用してから買い替えられている 難聴に気づいてから補聴器を購入するまでに平均2~3年が経過している

ご使用中の補聴器は初めて購入された補聴器ですか？

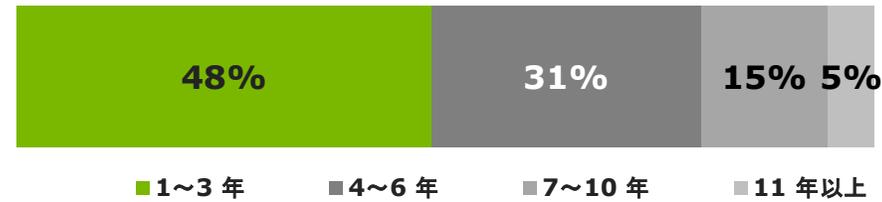


補聴器所有者（初めての補聴器）：  
あなたが初めて補聴器を購入した時のことを思い出してください。  
あなたは難聴に気づいてから補聴器を購入するまでに何年間かかりましたか？



基数：249人

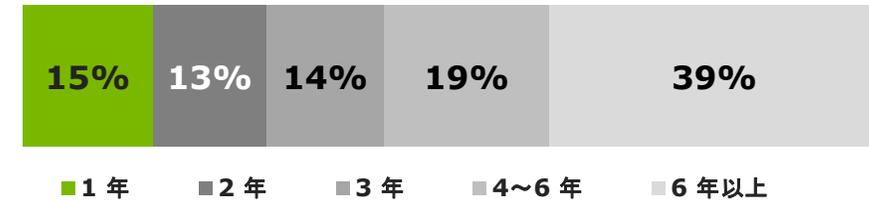
以前お持ちの補聴器は何年間所有されておりましたか？



基数：117人

買い替えるまでのおおよその期間  
2022: 4年 (中央値)  
2018: 5年 (中央値)

補聴器非所有者：  
あなたは難聴に気づいてから何年間たちましたか？

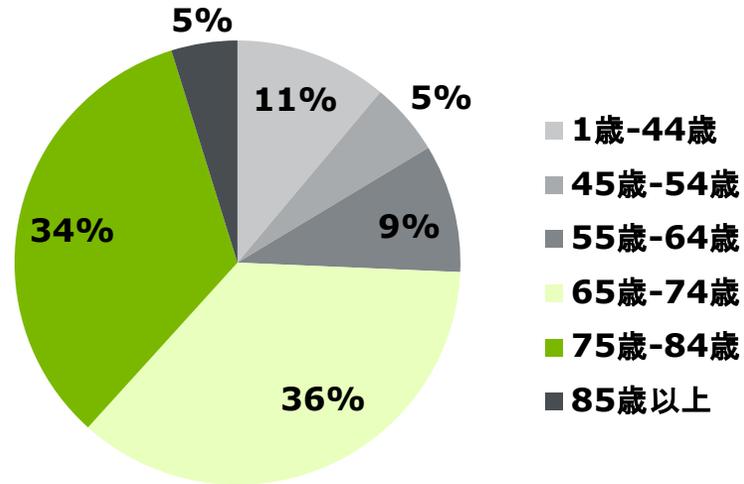


基数：645人



# 補聴器が必要であると感じたのは、おおよそ72歳になった時である

あなたが補聴器を必要であると感じたのは何歳の時でしたか？

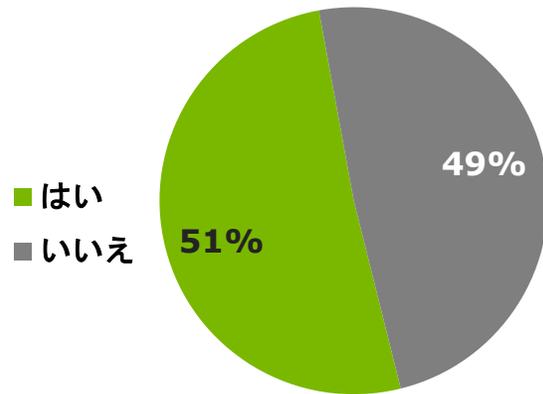


中央値: 72 歳 (2018年:70 歳)

基数 : 430人

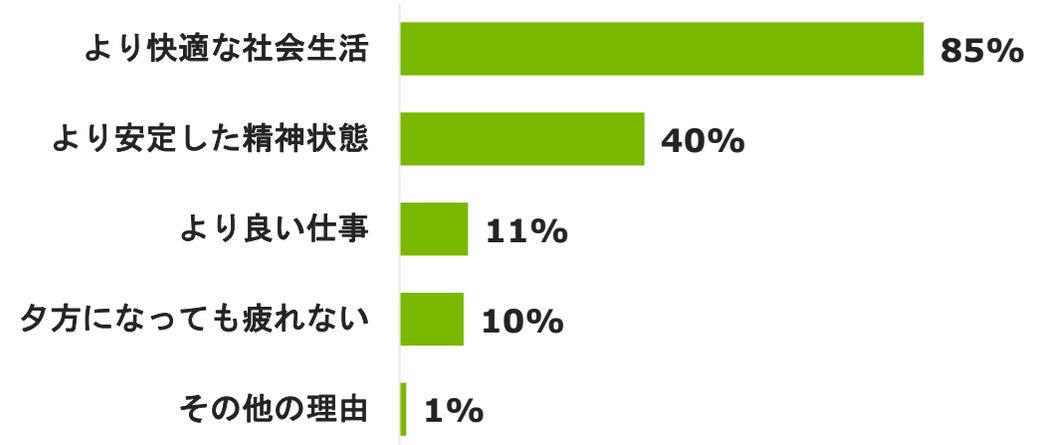
# 全補聴器所有者の内、51%がもっと早く補聴器を使用していればよかったと思っている！ その最大の理由は、より快適な社会生活が送れたのではないかと考えているから

補聴器を初めて入手した時のことを思い出してください。補聴器をもっと早く使用すべきだったと思いますか？



補聴器所有者 基数：430人

「はい」と答えた人へ  
補聴器をもっと早く使用していたら得られたと思うことは以下のどれですか？（複数回答可）

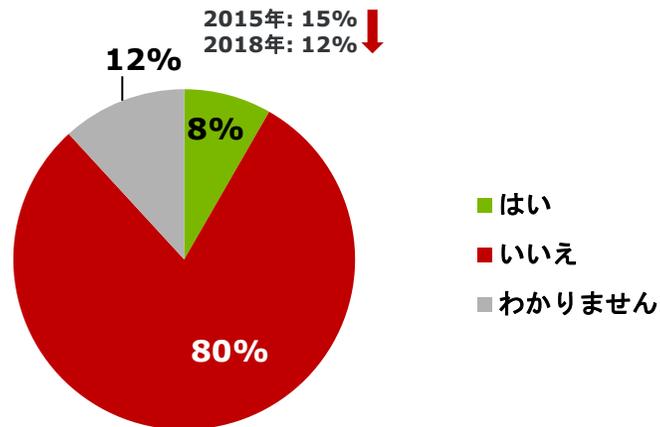


基数：215人



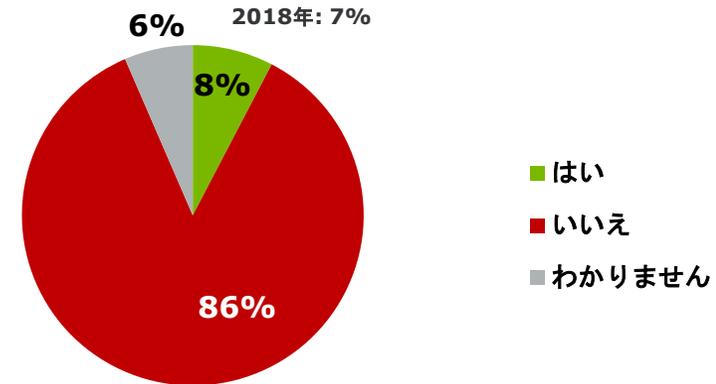
# 補聴器所有者のうち8%が障害者総合支援法又は自治体独自の支援制度に基づく公的支給補助を受けている 補聴器非所有者は8%のみがこれらの制度の存在を知っている

補聴器所有者：  
購入に際し何らかの公的補助を受けましたか？



補聴器所有者 基数：430人

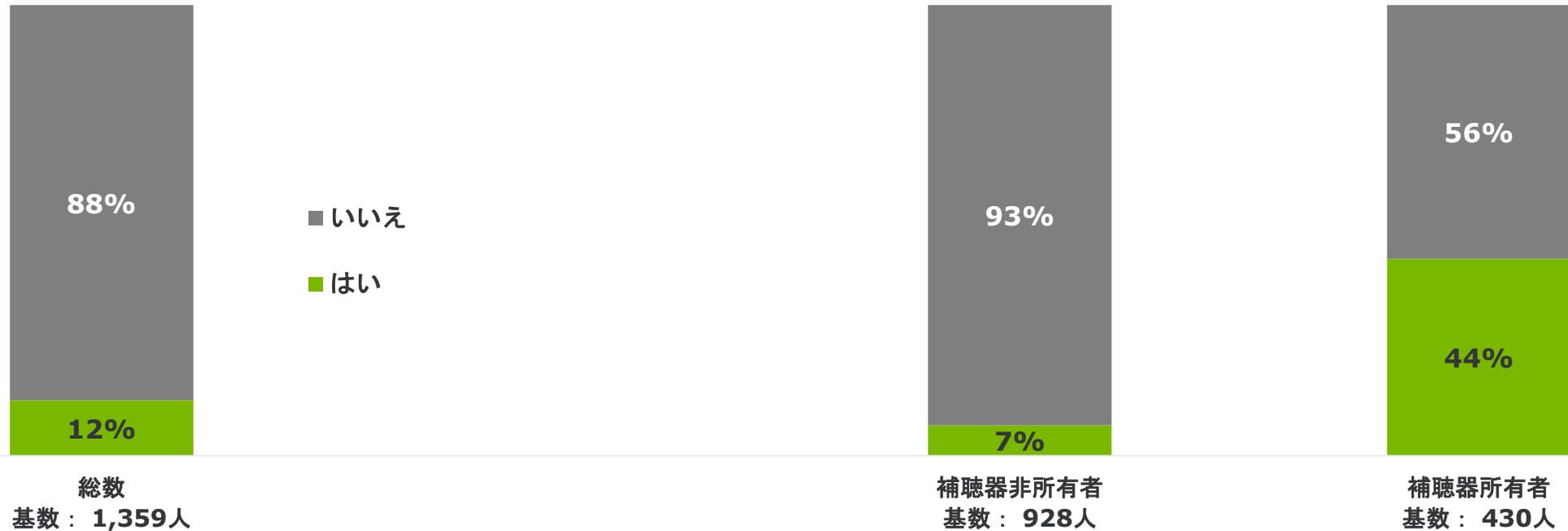
補聴器非所有者：  
購入に際し何らかの公的補助を受けられる制度があることを知っていますか？



補聴器非所有者 基数：929人

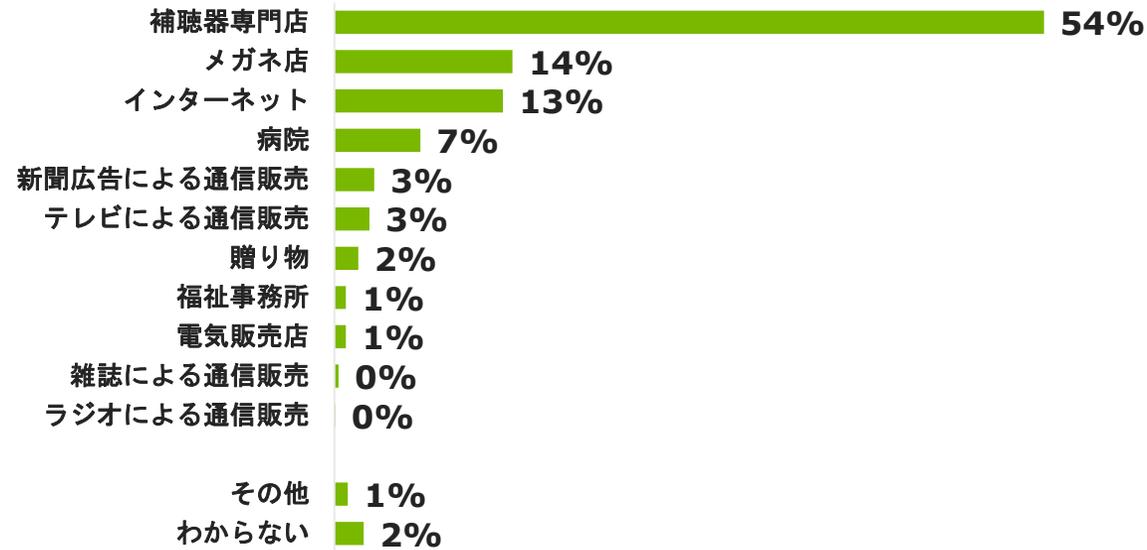
# 一般的に補聴器には消費税がかからないことを知らない

あなたは補聴器には消費税がかからないことを知っていますか？



# 補聴器の多くは補聴器専門店で購入されており、次いでメガネ店で購入されている

補聴器所有者：  
あなたのご使用中の補聴器はどこで購入されましたか？



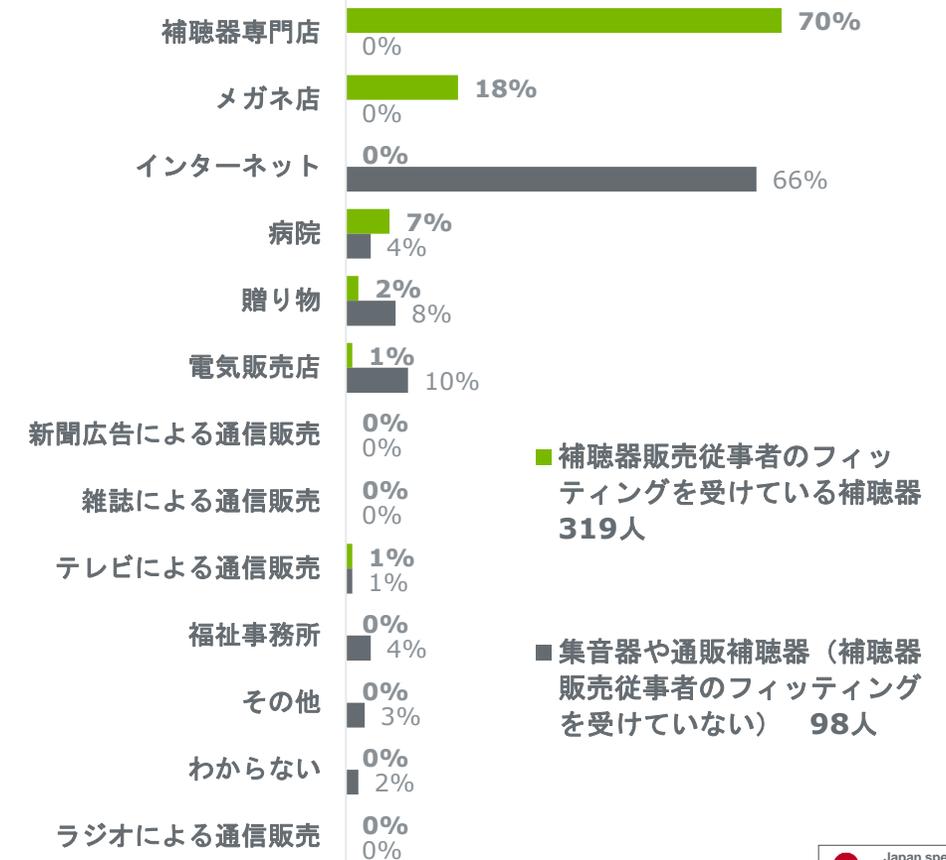
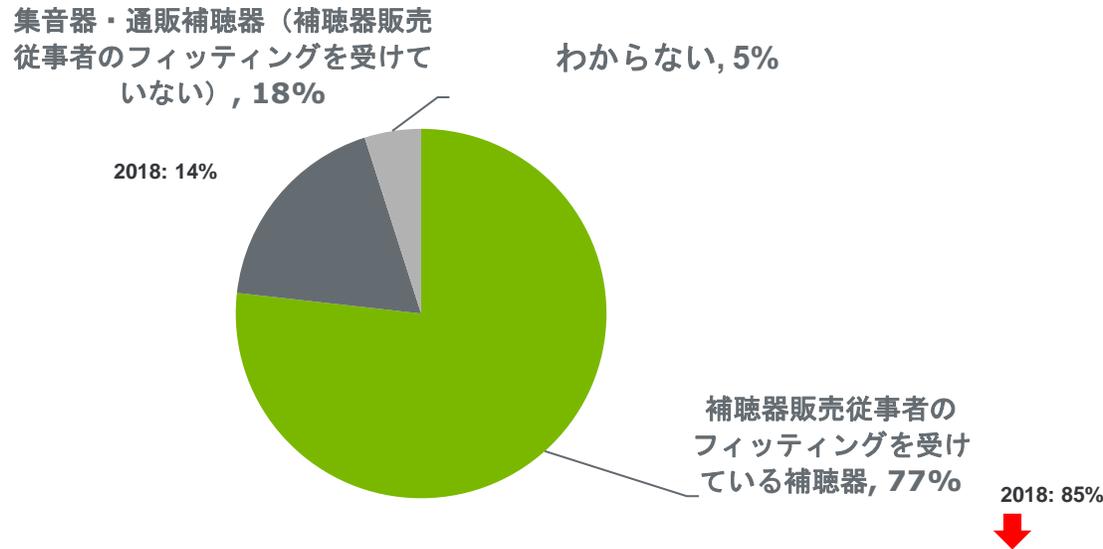
補聴器所有者 基数：430人



# 補聴器の多くは補聴器専門店で購入されており、 集音器や通販補聴器はオンラインで購入されている

あなたの補聴器は以下のどちらに該当しますか？ 基数：430人

あなたのご使用中の補聴器はどこで購入されましたか？



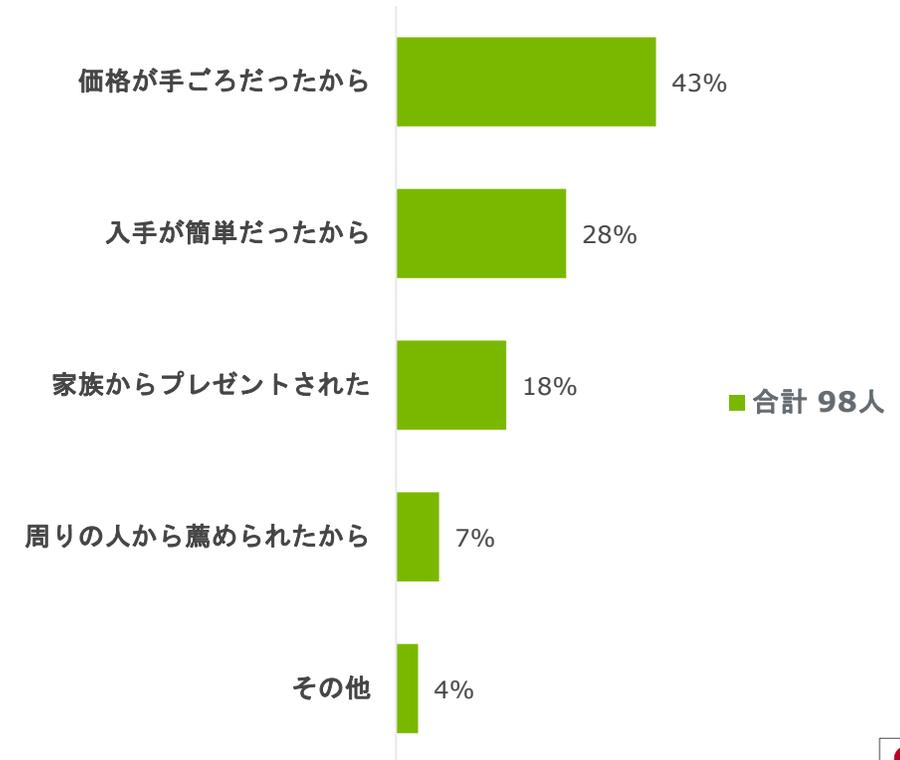
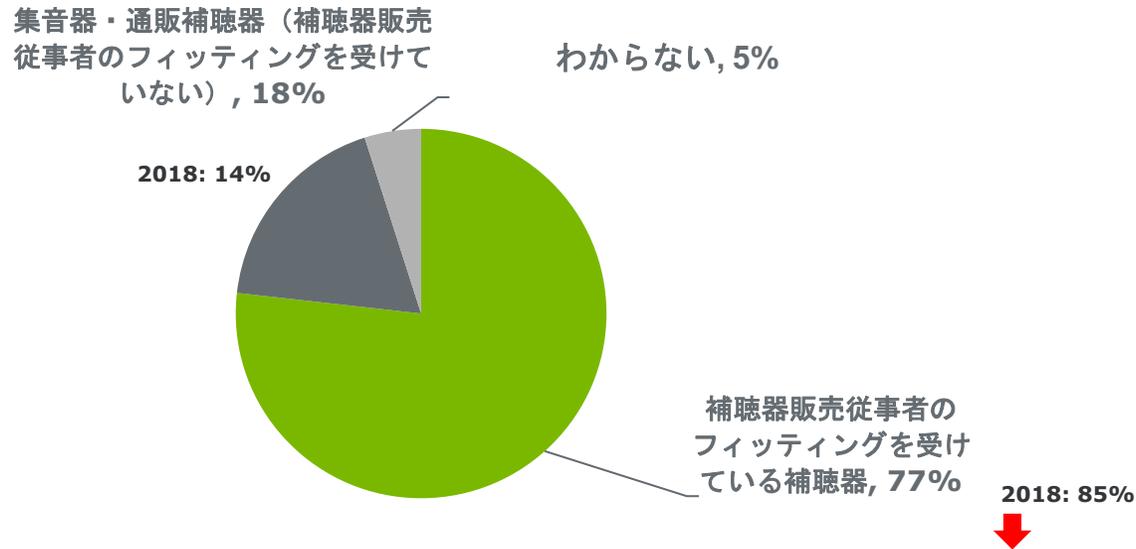
■ 補聴器販売従事者のフィッティングを受けている補聴器 319人

■ 集音器や通販補聴器（補聴器販売従事者のフィッティングを受けていない） 98人

# 集音器/通販補聴器を所有している難聴者は 価格や入手が容易だったからと考えている

あなたの補聴器は以下のどちらに該当しますか？ 基数：430人

補聴器販売従事者のフィッティングを受けている補聴器ではなく  
集音器/通販補聴器を購入したのはなぜですか？

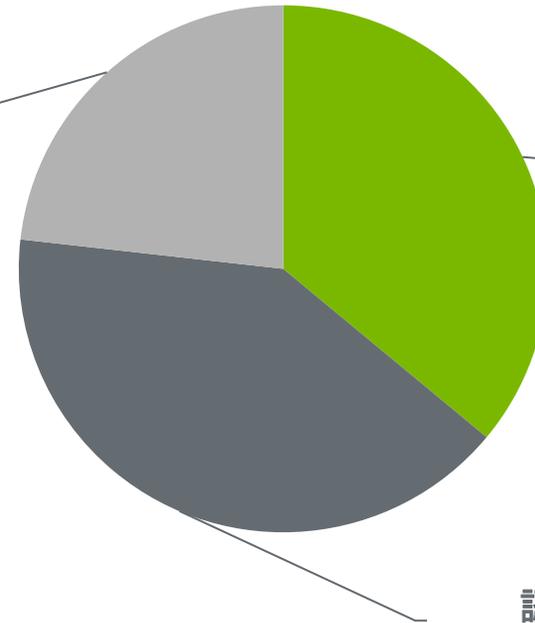


# 補聴器の分類

分類するための2つの質問:

- あなたが補聴器を購入した時に対応した人は「認定補聴器技能者」でしたか？
- あなたの補聴器は以下のどちらに該当しますか？
  - 補聴器販売従事者のフィッティングを受けている補聴器
  - 集音器や通販補聴器（補聴器販売従事者のフィッティングを受けていない）

その他（集音器・通販補聴器、不明など） : 23%  
2018:15%



認定補聴器技能者に対応してもらった補聴器 : 36%  
2018:43%

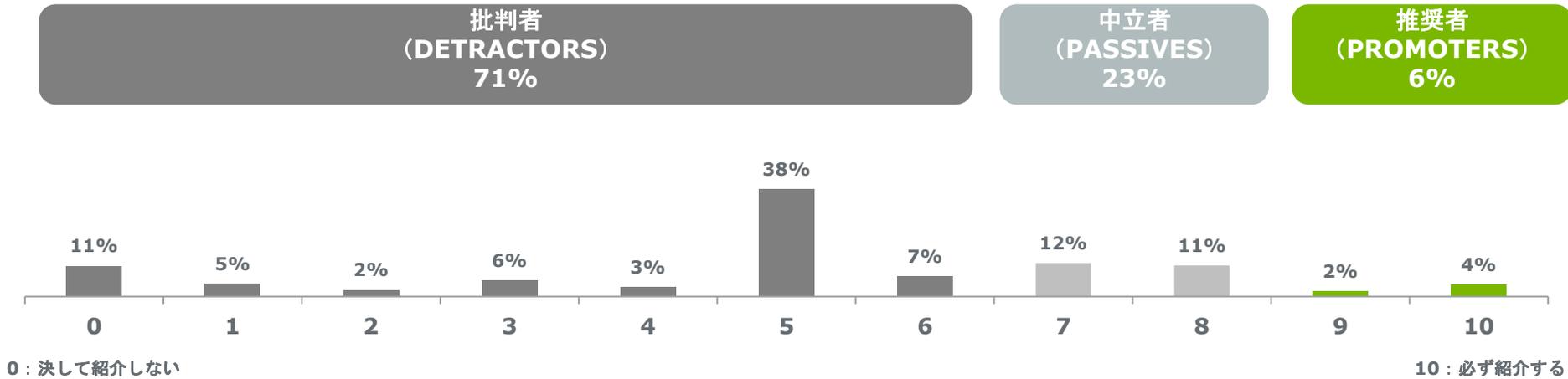
認定補聴器技能者以外（あるいは不明）に対応してもらった補聴器 : 41%  
2018:43%

補聴器所有者 430人



# 購入した補聴器の販売店を友人・知人に紹介する気持ちは顧客推奨率 -65と低い

あなたは今回購入した補聴器販売店を友人・知人に紹介したいですか？  
「必ず紹介する」から「決して紹介しない」までのどれでしょうか？ (11段階)



$$\begin{aligned}
 \text{NPS (顧客推奨率)} &= \text{PROMOTERS (推奨者)} - \text{DETRACTORS (批判者)} = -65 \text{ (顧客推奨率)}
 \end{aligned}$$

補聴器所有者 基数 : 430人



# 購入した補聴器の販売店を友人・知人に紹介する気持ちは低い

あなたは今回購入した補聴器販売店を友人・知人に紹介したいですか？

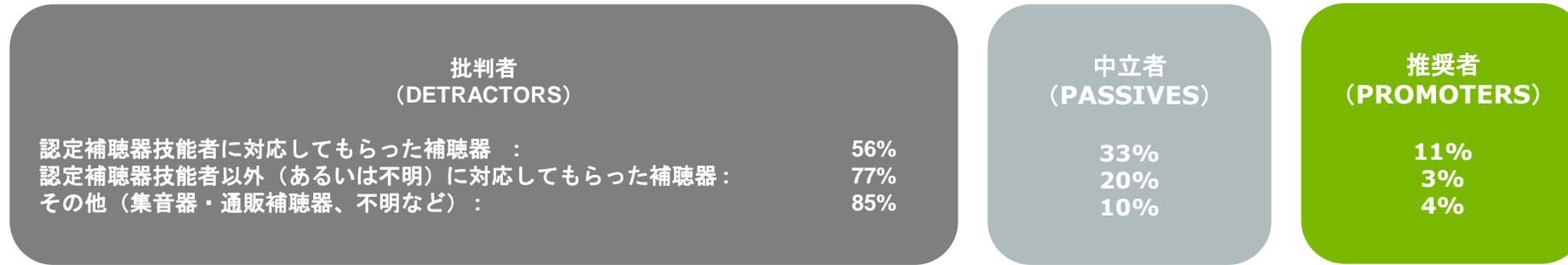


顧客推奨率 (NPS) = 推奨者 (PROMOTERS) - 批判者 (DETRACTORS)

補聴器専門店:	-55
メガネ店:	-74
通信販売:	-85

# 購入した補聴器の販売店を友人・知人に紹介する気持ちは低い

あなたは今回購入した補聴器販売店を友人・知人に紹介したいですか？

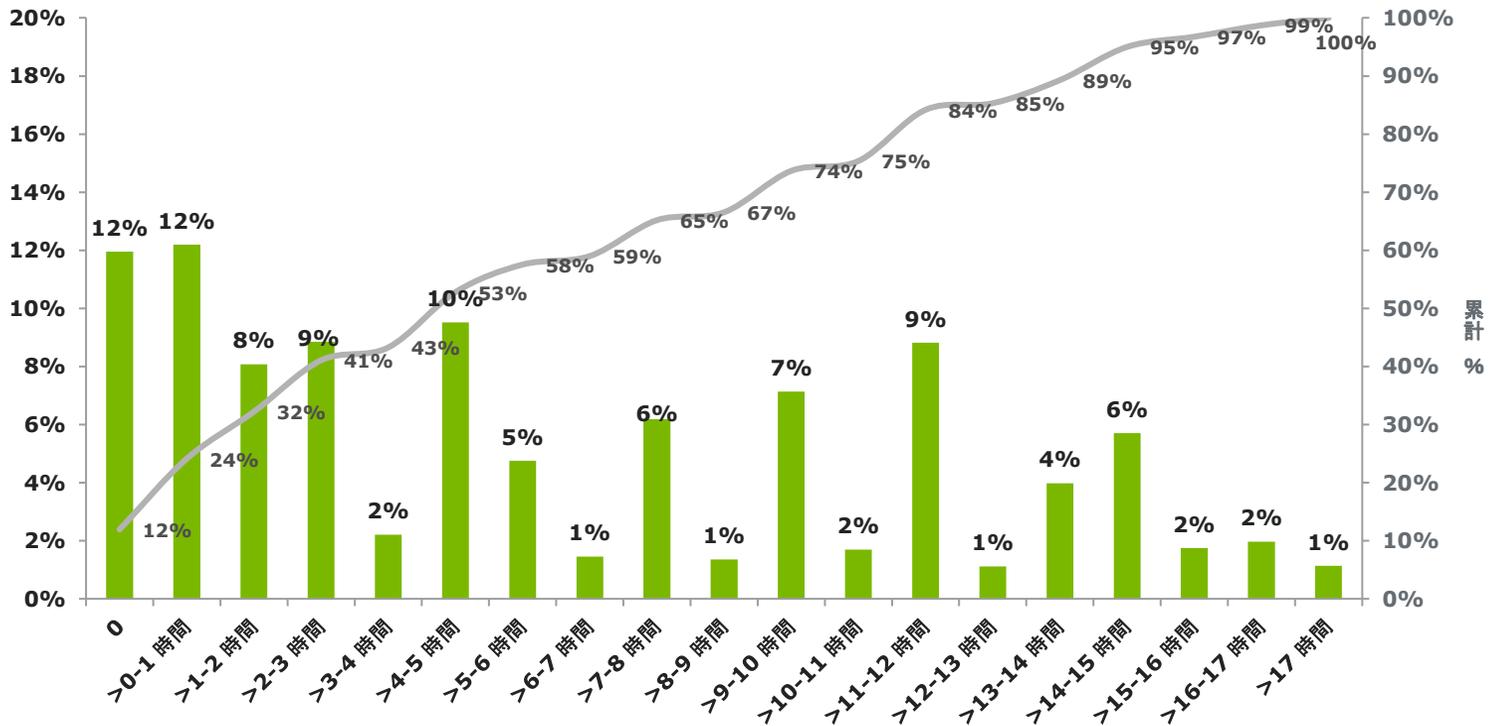


顧客推奨率 (NPS) = 推奨者 (PROMOTERS) - 批判者 (DETRACTORS)

認定補聴器技能者に対応してもらった補聴器 :	-45
認定補聴器技能者以外 (あるいは不明) に対応してもらった補聴器 :	-74
その他 (集音器・通販補聴器、不明など) :	-81

# 補聴器は一日平均6.5時間使用されている

1日当りの累計で何時間補聴器をつけていますか？



補聴器所有者 430人

1日の平均補聴器使用時間：  
2022：6.5 時間  
2018：7.6 時間

タンスの肥やし (0 時間)：  
2022: 12%  
2018: 7%

1日の平均補聴器使用時間：  
認定補聴器技能者に対応してもらった補聴器： 8.2 時間/日  
認定補聴器技能者以外に対応してもらった補聴器： 6.5 時間/日  
その他（集音器・通販補聴器、不明など）： 3.6 時間/日

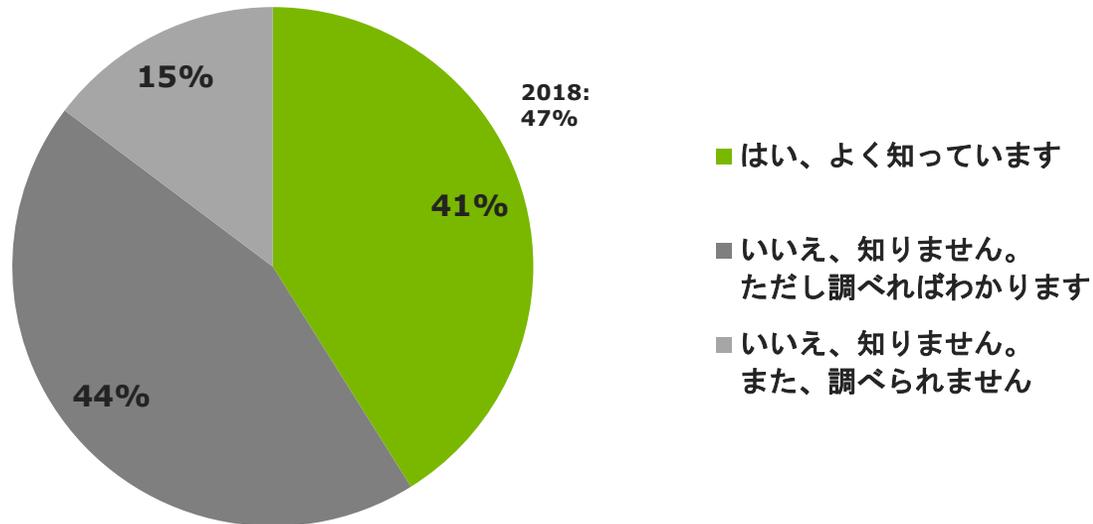
タンスの肥やし (0 時間)：  
認定補聴器技能者に対応してもらった補聴器： 2%  
認定補聴器技能者以外に対応してもらった補聴器： 7%  
その他（集音器・通販補聴器、不明など）： 36%

Japan specific question



# 補聴器所有者の41%が現在使用している補聴器のブランドを知っている

あなたは現在使用している補聴器のブランドを知っていますか？

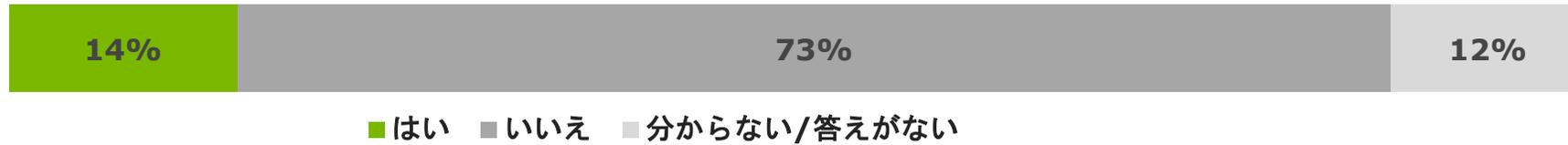


補聴器所有者 基数：430人



# 補聴器所有者の13% が補聴器のアプリを使用しており、 そのうち 76% の使用者が満足している

補聴器のアプリを補聴器販売店から勧められたことはありますか（補聴器所有者 基数：430人）



補聴器のアプリを使用していますか？（補聴器所有者 基数：430人）

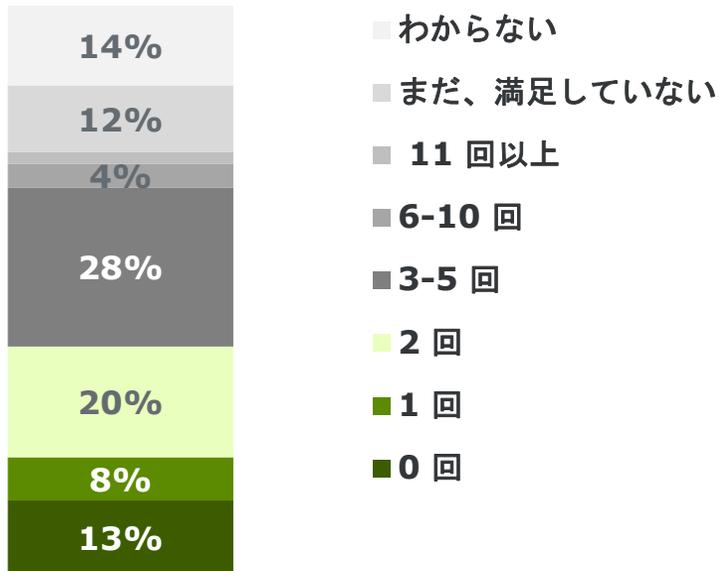


補聴器アプリ使用者 基数：55人  
使用中のアプリに満足されていますか？

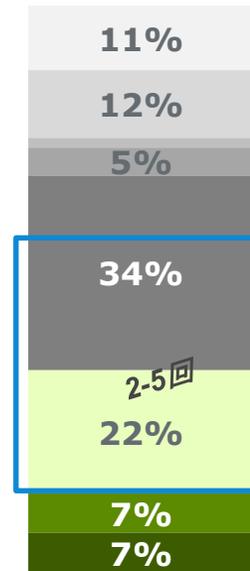


# 補聴器の調整は数回必要であった

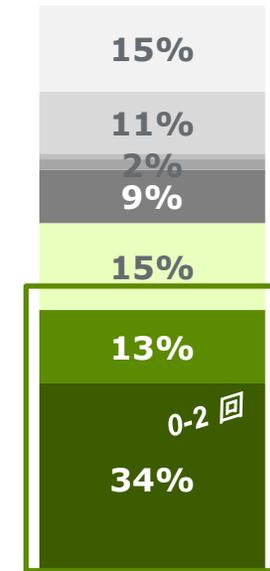
あなたが満足するまでに補聴器の調整を何回しましたか？



合計 基数：430人



補聴器販売従事者のフィッティングを受けている補聴器 基数：319人



集音器・通販補聴器 (補聴器販売従事者のフィッティングを受けていない) 基数：98人

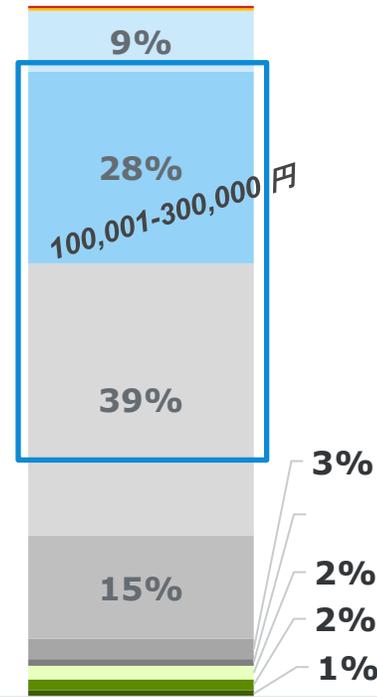
# 補聴器1台の価格はほとんどが10万円から30万円まで

補聴器を購入したときの価格はいくらでしたか？（1台当たりの価格）

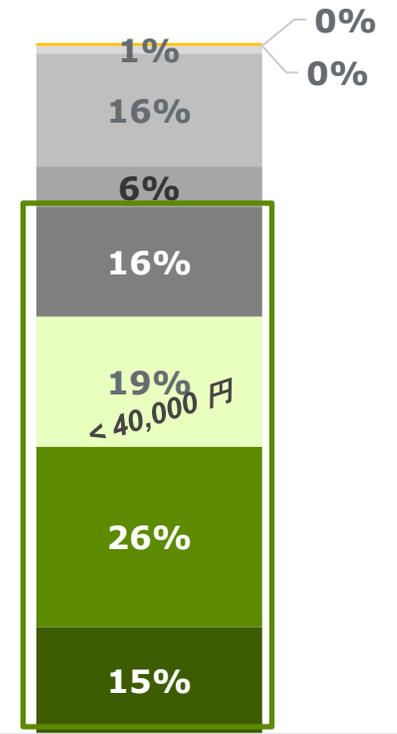


合計 基数：320人

- 500,000 円以上
- 400,001 - 500,000 円
- 300,001 - 400,000 円
- 200,001 - 300,000 円
- 100,001 - 200,000 円
- 50,001 - 100,000 円
- 40,001 - 50,000 円
- 30,001 - 40,000 円
- 20,001 - 30,000 円
- 10,001 - 20,000 円
- 10,000 円以下



認定補聴器技能者に  
対応してもらった補聴器 基数：243人

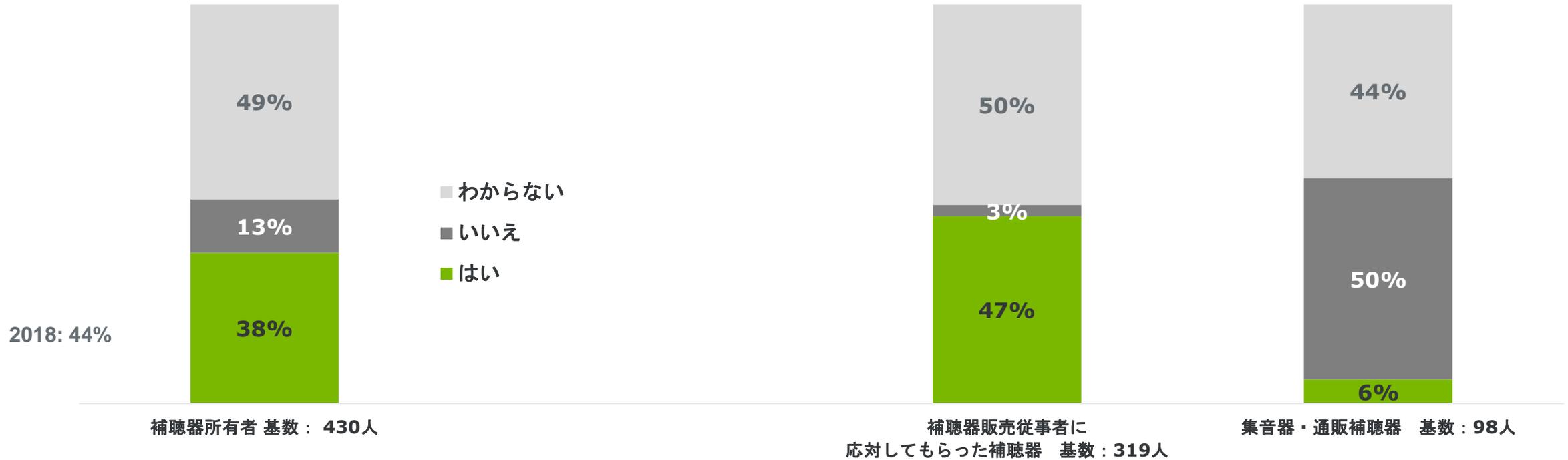


集音器・通販補聴器 基数：46人



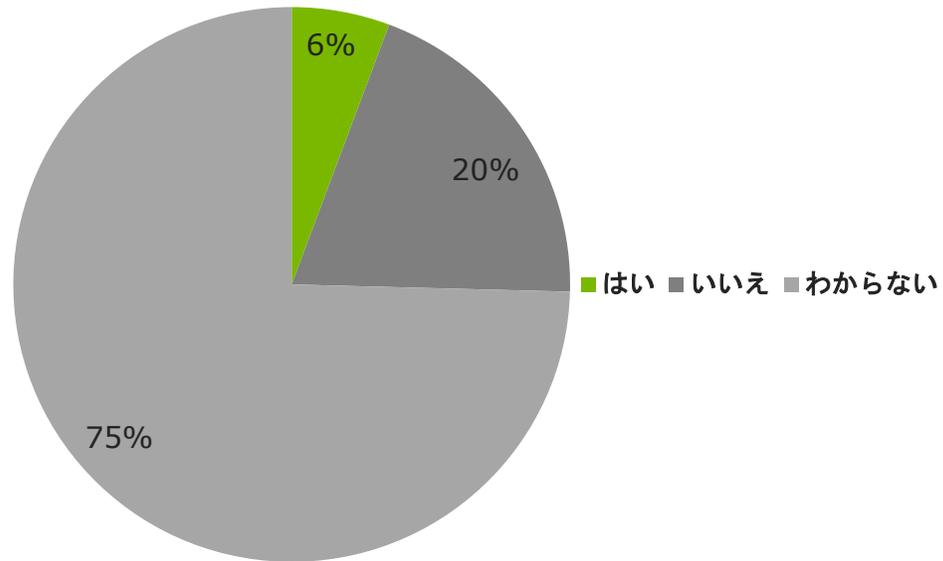
# 補聴器購入者の38%が「認定補聴器技能者」に補聴器の調整をしてもらったことを認識している

あなたが補聴器を購入した時に対応した人は「認定補聴器技能者」でしたか？



# ほとんどの人がテレコイルが何か知らない

あなたの補聴器にはテレコイルの機能が搭載されていますか？

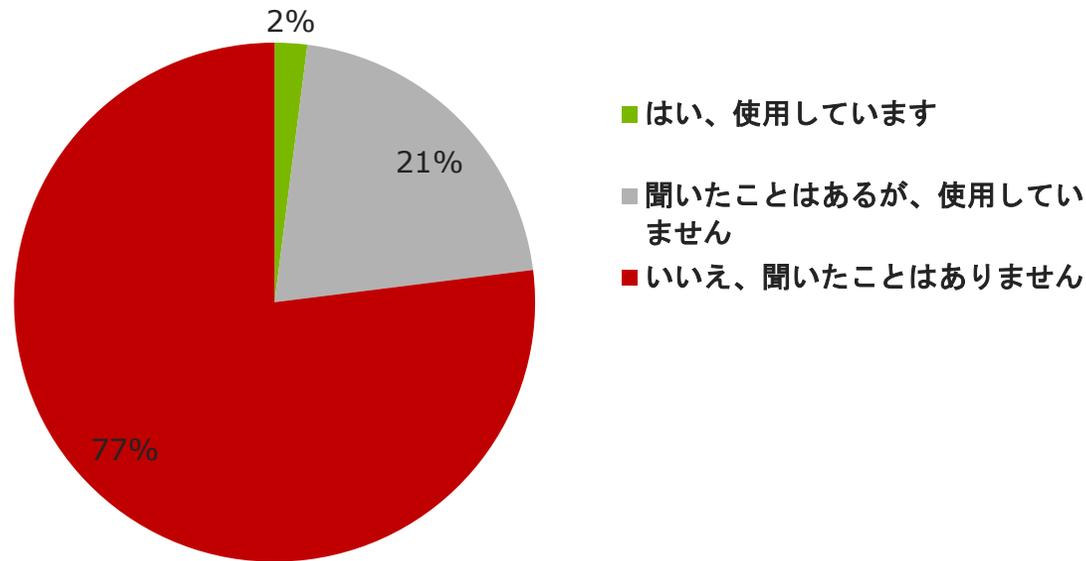


補聴器所有者 基数：430人

# 補聴器所有者の2%はリモート調整を使用、 21%が聞いたことがあります、77%は知らない

あなたの補聴器のリモート調整について聞いたことがありますか？

((リモート調整: 補聴器販売従事者が遠隔地から補聴器のフィッティングや微調整を行うことができるため（アプリを使ったビデオチャットでリアルタイムに）、補聴器の調整のために外出する必要がありません。))



補聴器所有者 基数：430人



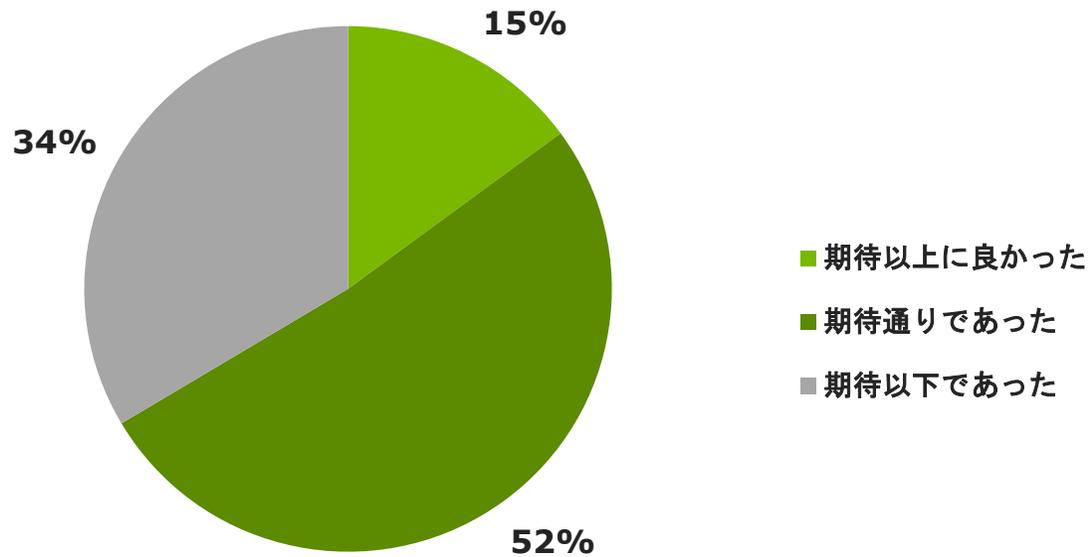
---

# 補聴器の満足度と影響因子



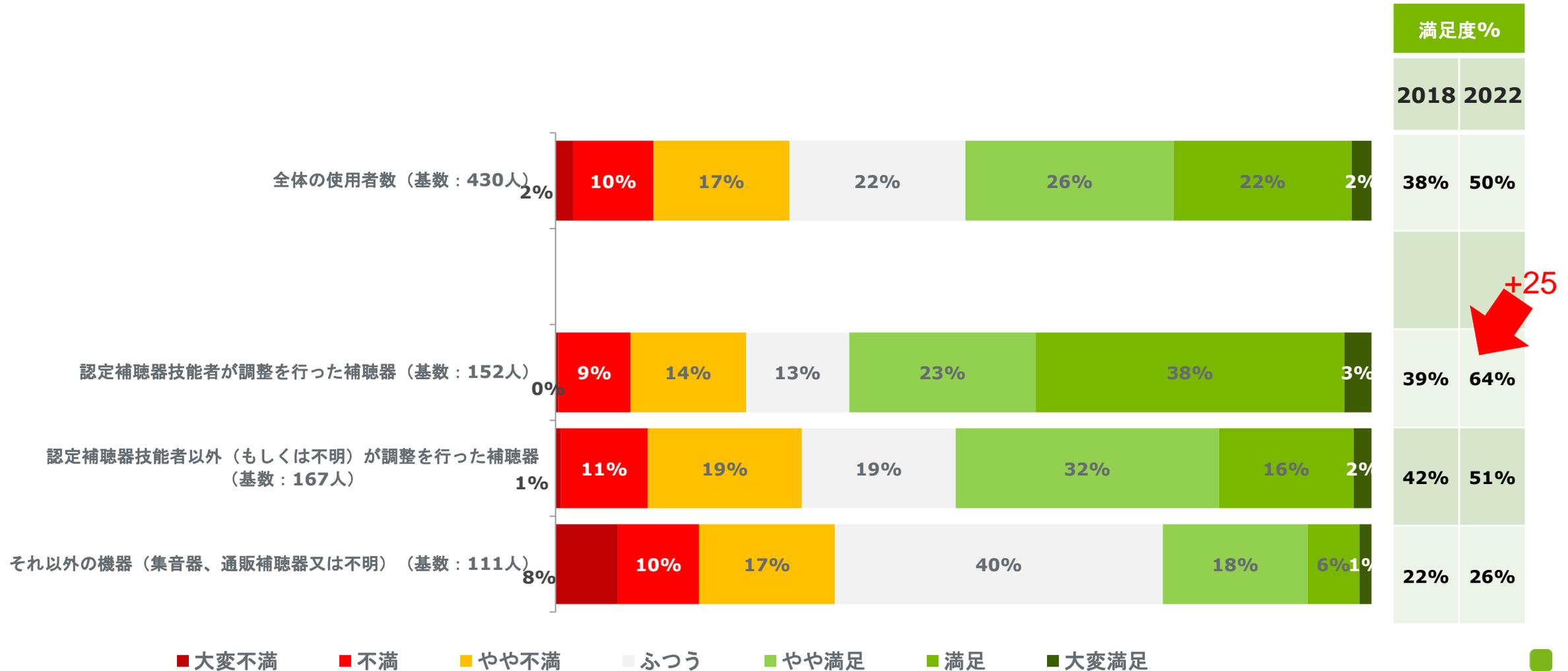
# 補聴器所有者の67%が、補聴器が期待していた通り、あるいは期待していた以上に良く動作しているとの印象を持っている

補聴器に対する期待は、補聴器の使用前、使用後ではいかがでしたか？



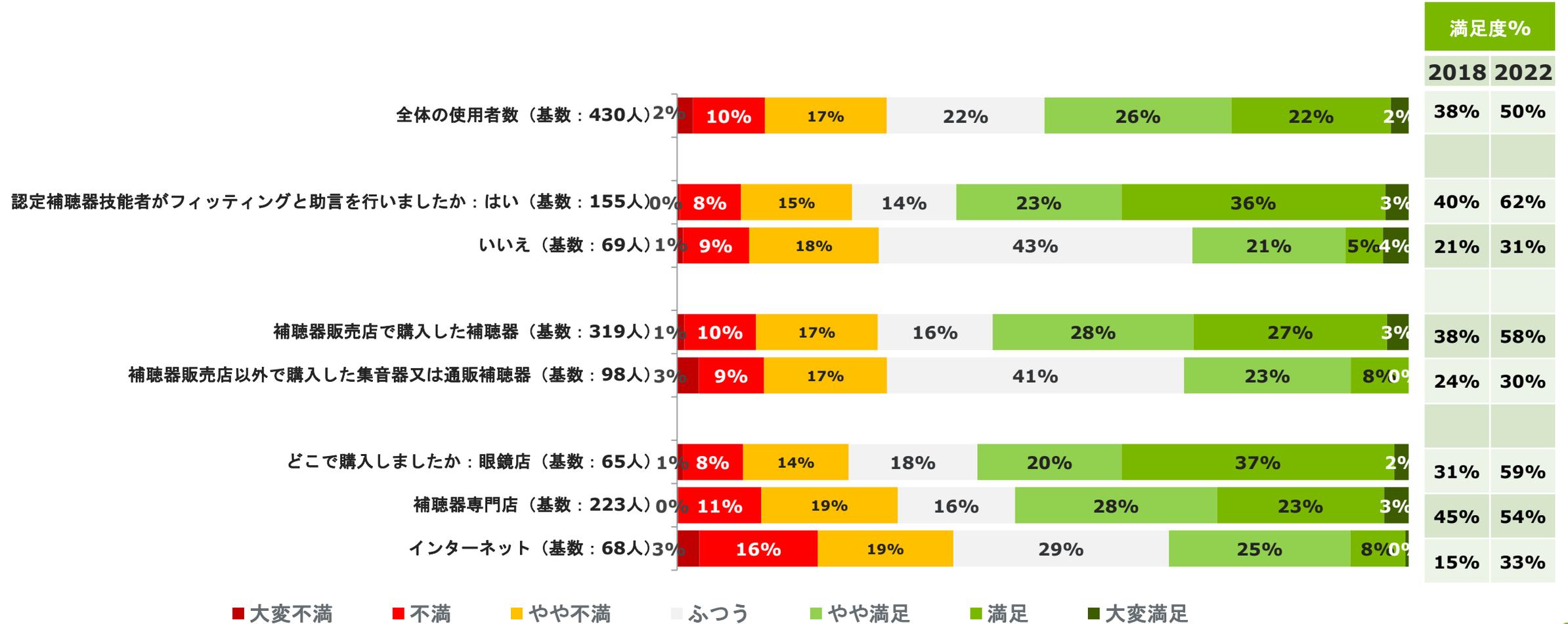
基数: 430人

# 補聴器の全体的満足度は50%



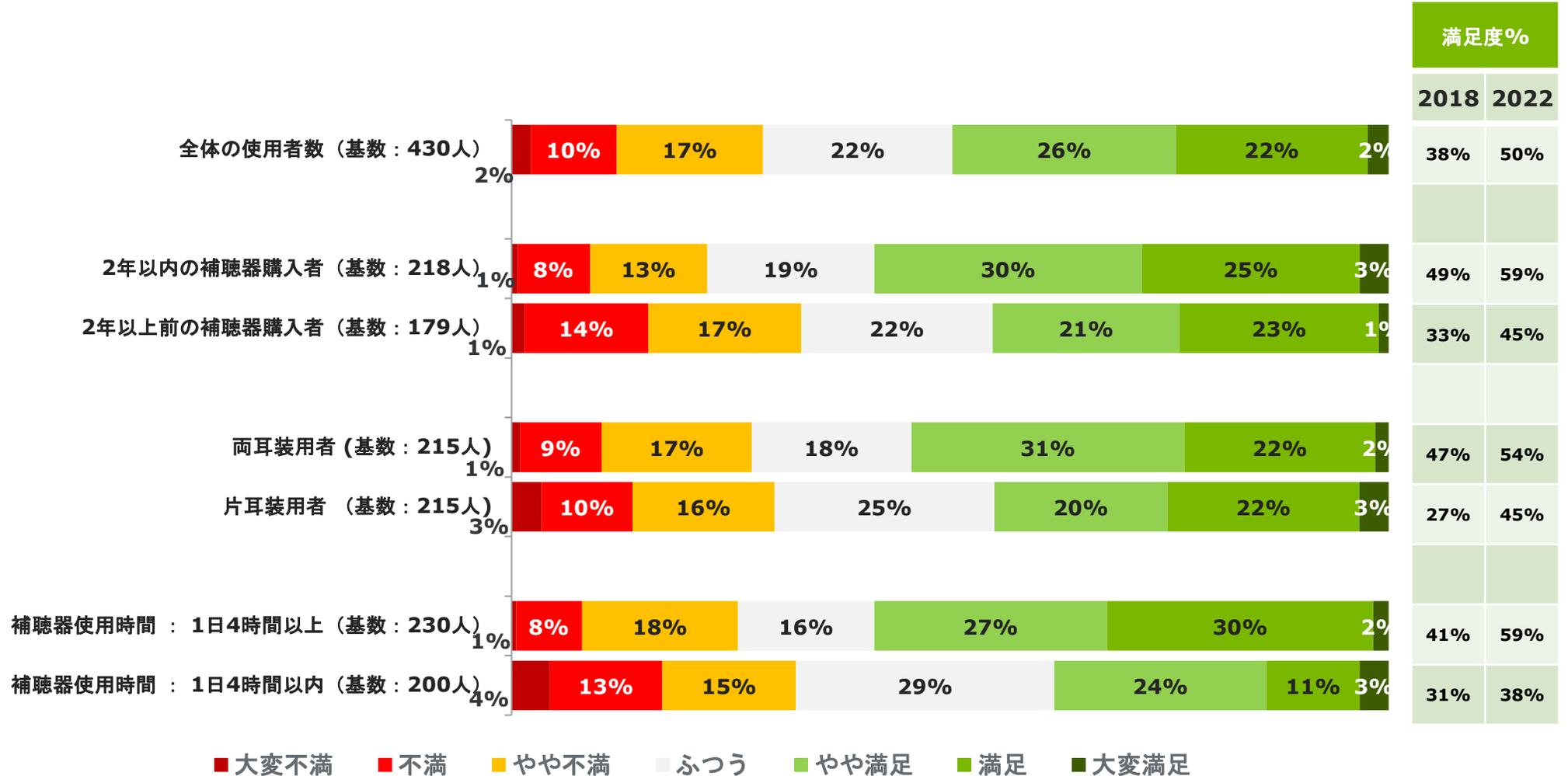


# 補聴器の全体的満足度は50%





# 補聴器の全体的満足度は50%

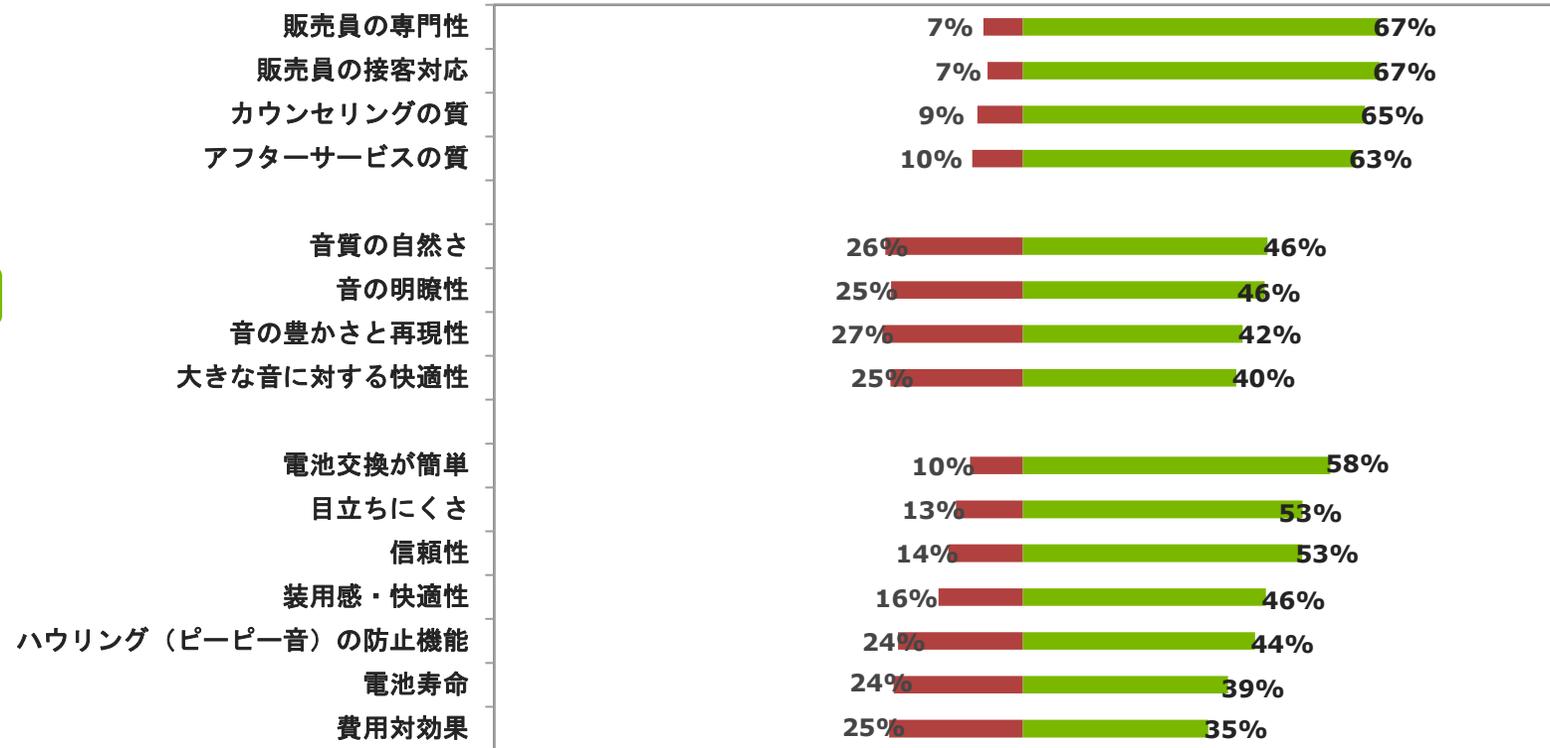


# 現在所有している補聴器の満足度（1）

補聴器販売  
従事者

音質  
信号処理

製品の特徴



増減率*
+6%
+5%
+5%
+4%
+15%
+12%
+10%
+6%
+15%
+5%
+3%
+5%
+4%
+10%
+1%

不満 = 大変不満 + 不満 + やや不満  
満足 = やや満足 + 満足 + 大変満足

■ 不満 ■ 満足

\* JapanTrak 2018と比較した満足度増減率%

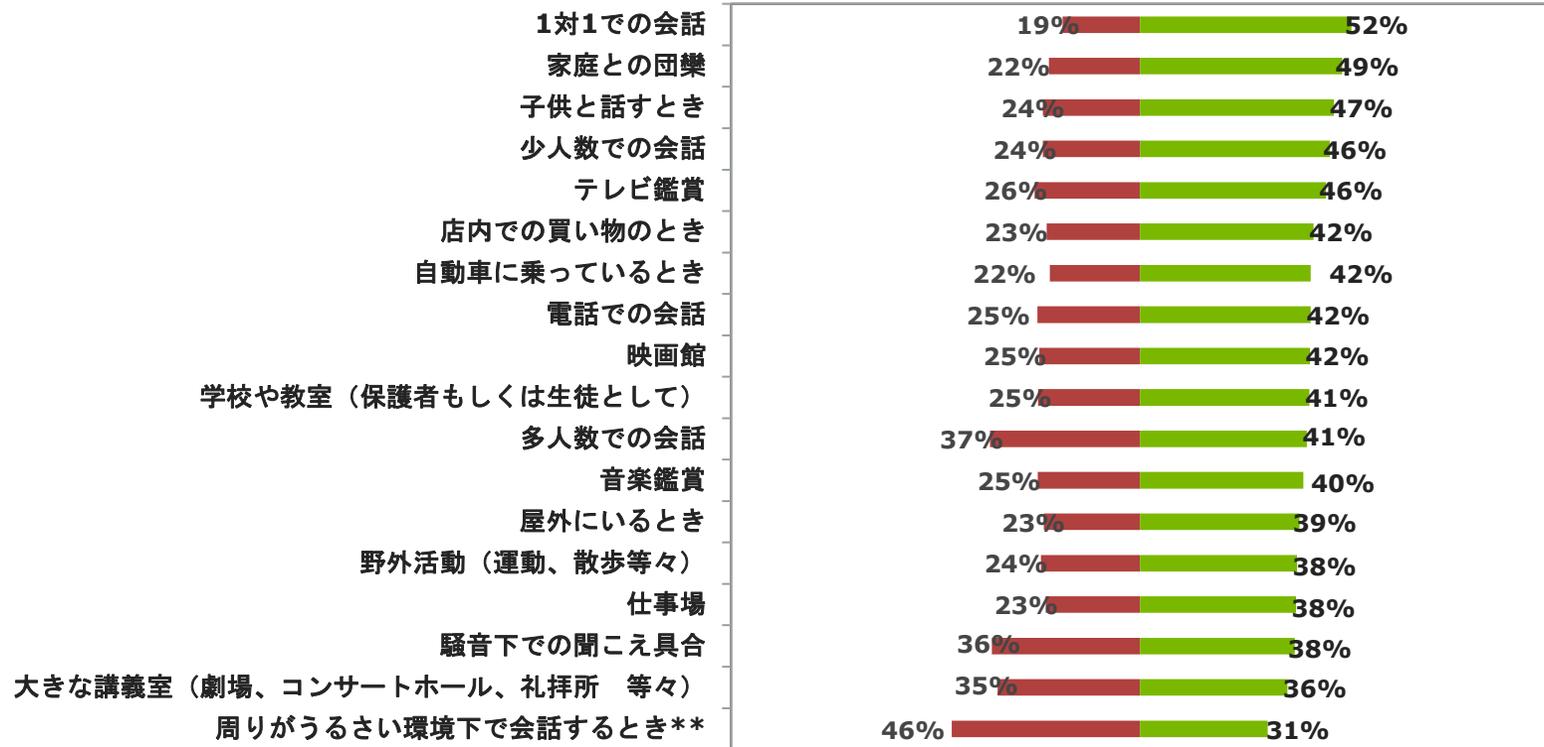
補聴器所有者（基数430人）





# 現在所有している補聴器の満足度（2）

聞き取りの状況



増減率*
+1%
+8%
+10%
+1%
-1%
-3%
+3%
+7%
-3%
+9%
+4%
+6%
-5%
+6%
-1%
+9%
+4%
+4%

不満 = 大変不満 + 不満 + やや不満  
 満足 = やや満足 + 満足 + 大変満足

■ 不満 ■ 満足

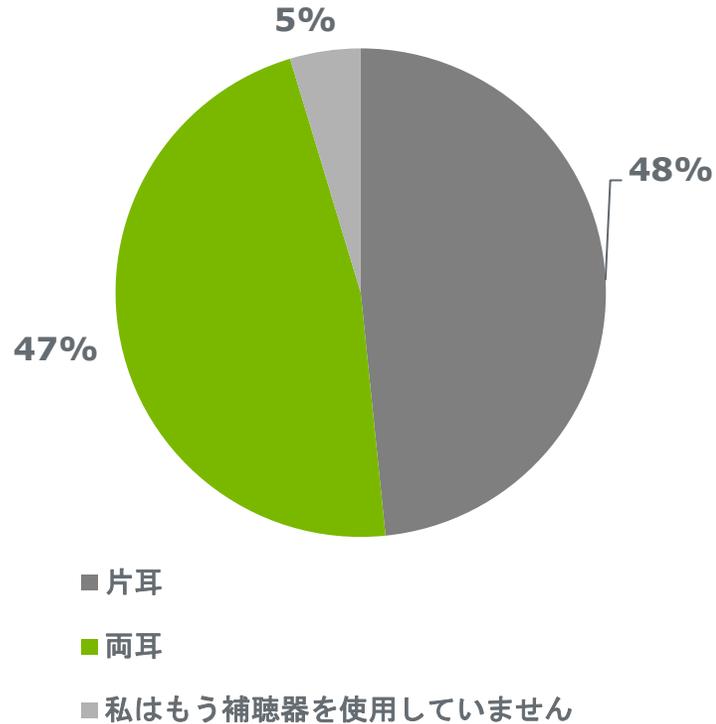
補聴器所有者（基数430人）

\* JapanTrak 2018と比較した満足度増減率%  
 \*\*日本固有の質問

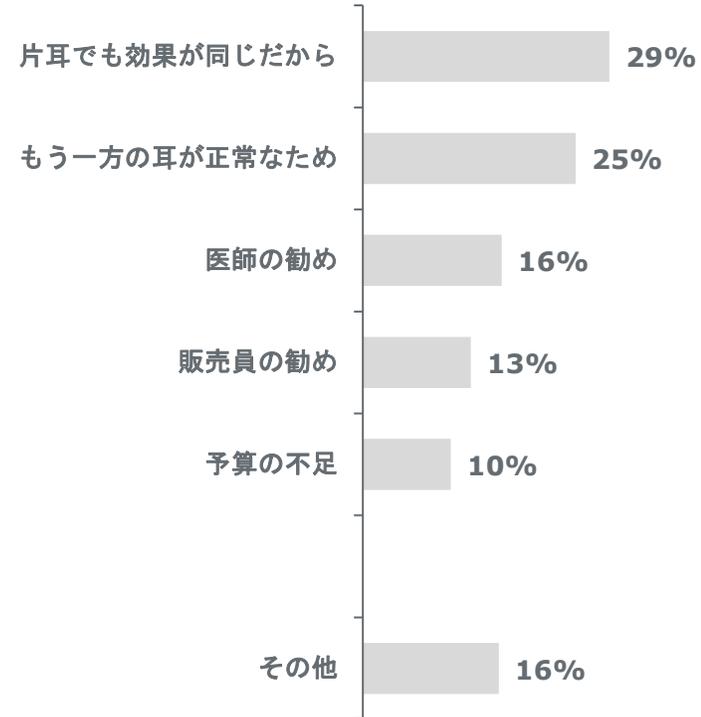


# 補聴器を片耳だけ装用している人の多くは両耳に補聴器を装用しても効果は同じだと思っている

あなたは補聴器を片耳だけに装用していますか？  
両方の耳に装用していますか？  
基数：430



片耳だけ補聴器を装用している理由をお答えください  
基数：211



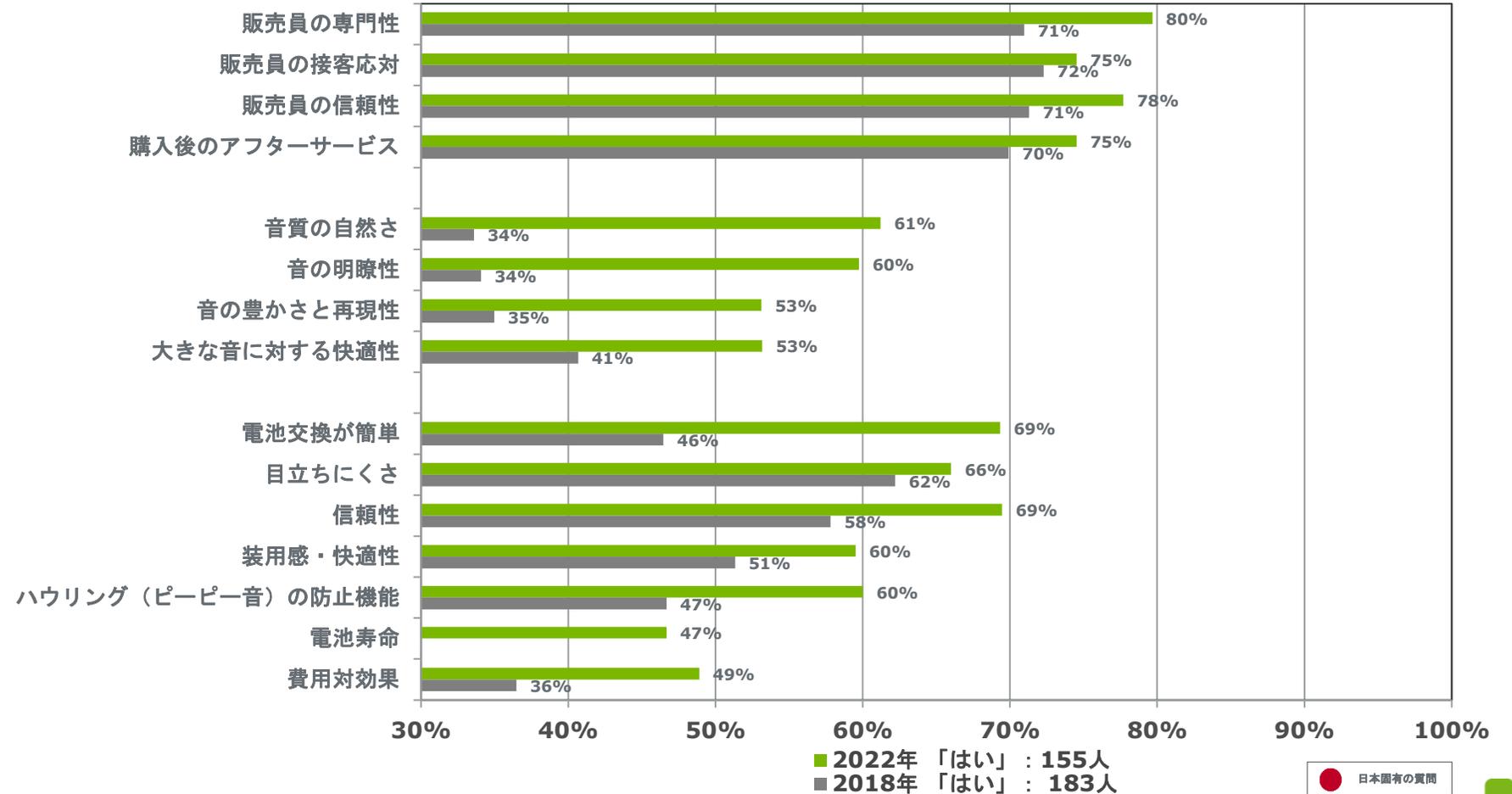
# 認定補聴器技能者がフィッティングを行った補聴器の2022年と2018年の満足度の比較（1）

あなたが補聴器を購入した時に対応した人は「認定補聴器技能者」でしたか？

補聴器販売従事者

音質  
信号処理

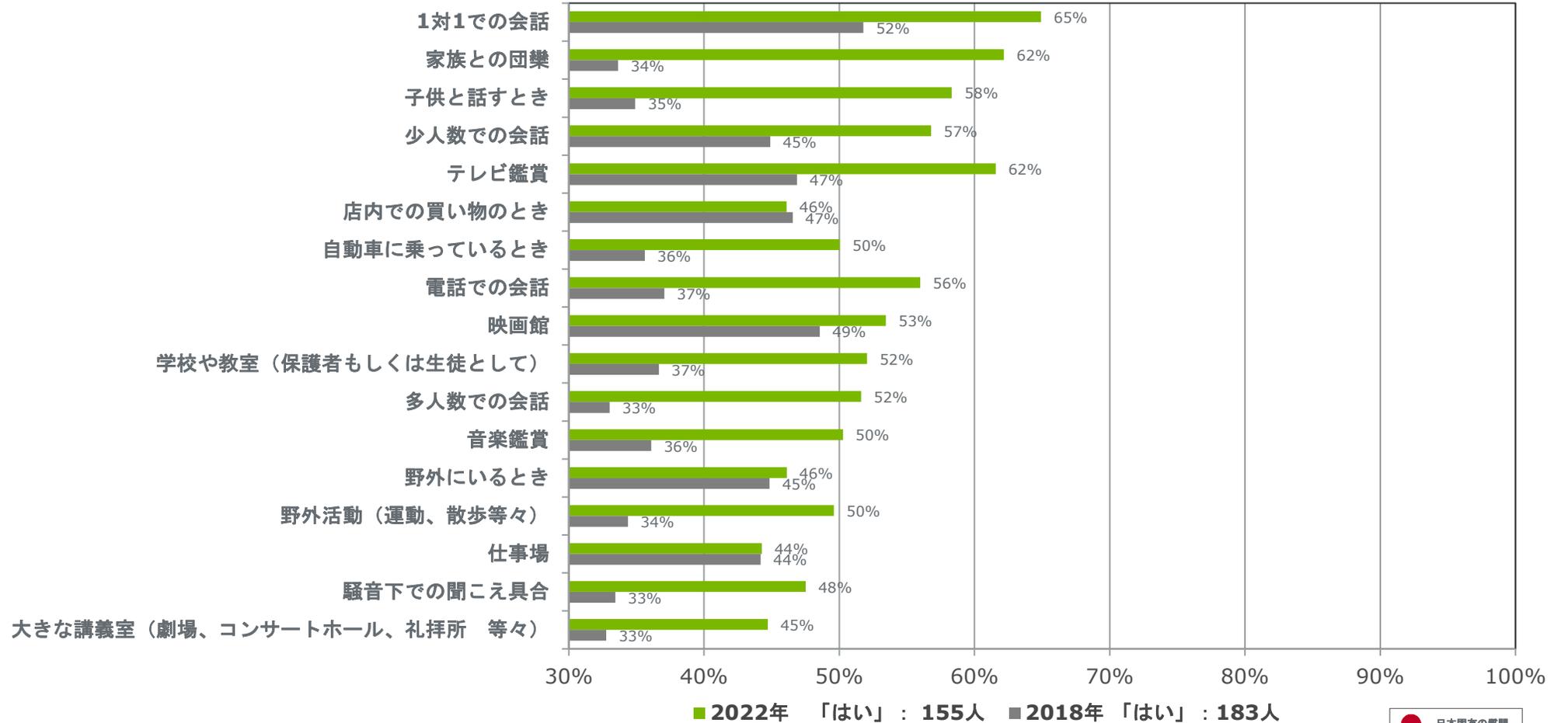
製品の特徴



# 認定補聴器技能者がフィッティングを行った補聴器の2022年と2018年の満足度の比較（2）

あなたが補聴器を購入した時に対応した人は「認定補聴器技能者」でしたか？

聞き取りの  
状況



● 日本固有の質問

# 現在所有されている補聴器の満足度に影響を与える因子： 音質/信号処理に関連する項目が最も重要な因子である

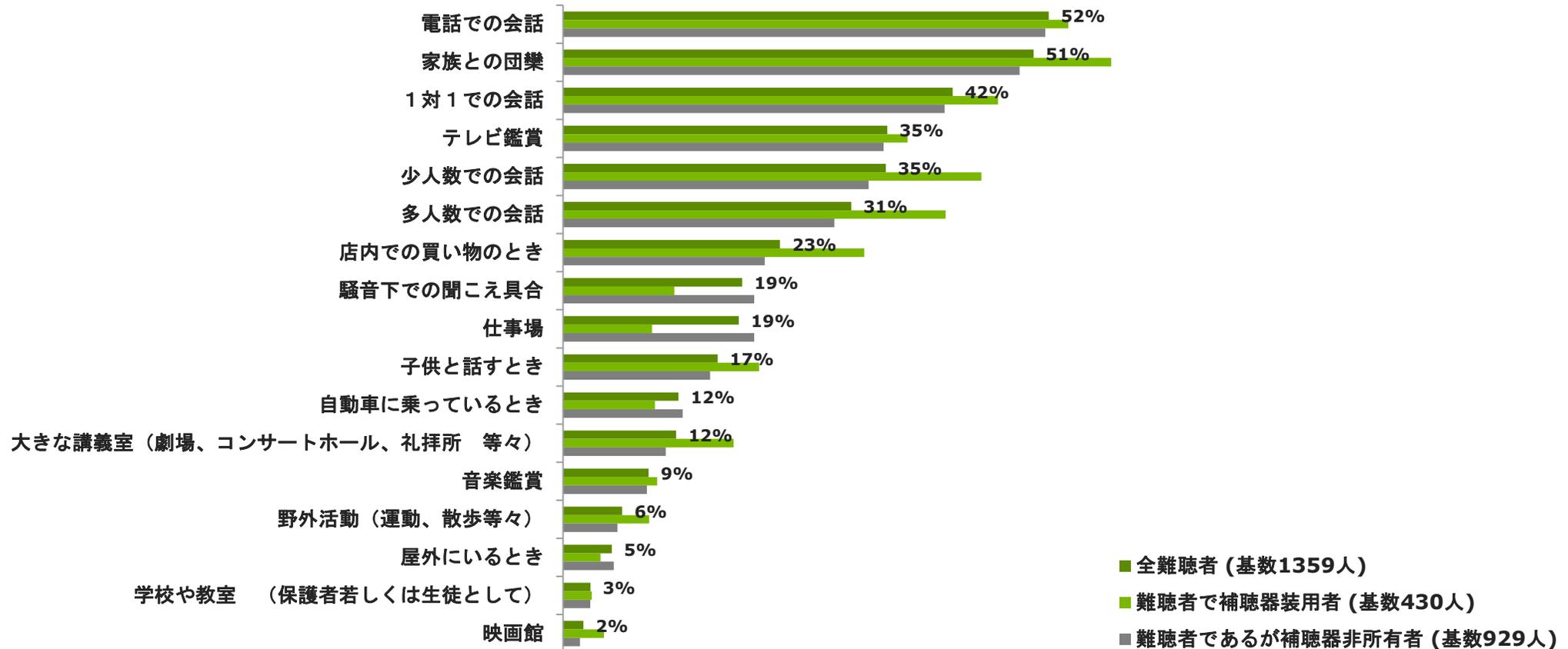
補聴器の全体的満足度に対する影響度\*

補聴器販売従事者	販売員の接客対応	0.53
	販売員の信頼性	0.50
	購入後のアフターサービス	0.49
	販売員の専門性	0.49
音質 信号処理	音の明瞭性	0.81
	音質の自然さ	0.79
	音の豊かさと再現性	0.79
	大きな音に対する快適性	0.71
製品の特色	信頼性	0.66
	装着感・快適性	0.63
	費用対効果	0.60
	ハウリング(ピーピー音)の防止機能	0.52
	目立ちにくさ	0.48
	電池交換が簡単	0.42
	電池寿命	0.35

\* 各因子の全体的満足度に対する影響度を相関係数で示している。0はその項目が全体的満足度に全く影響を与えていないことを示し、反対に1は全体的満足度に完全に影響を与えていることを示している。

# 聞こえが重要となる状況

より良い聞き取りを最も必要とする場面はどれですか？（5項目まで選択可）





---

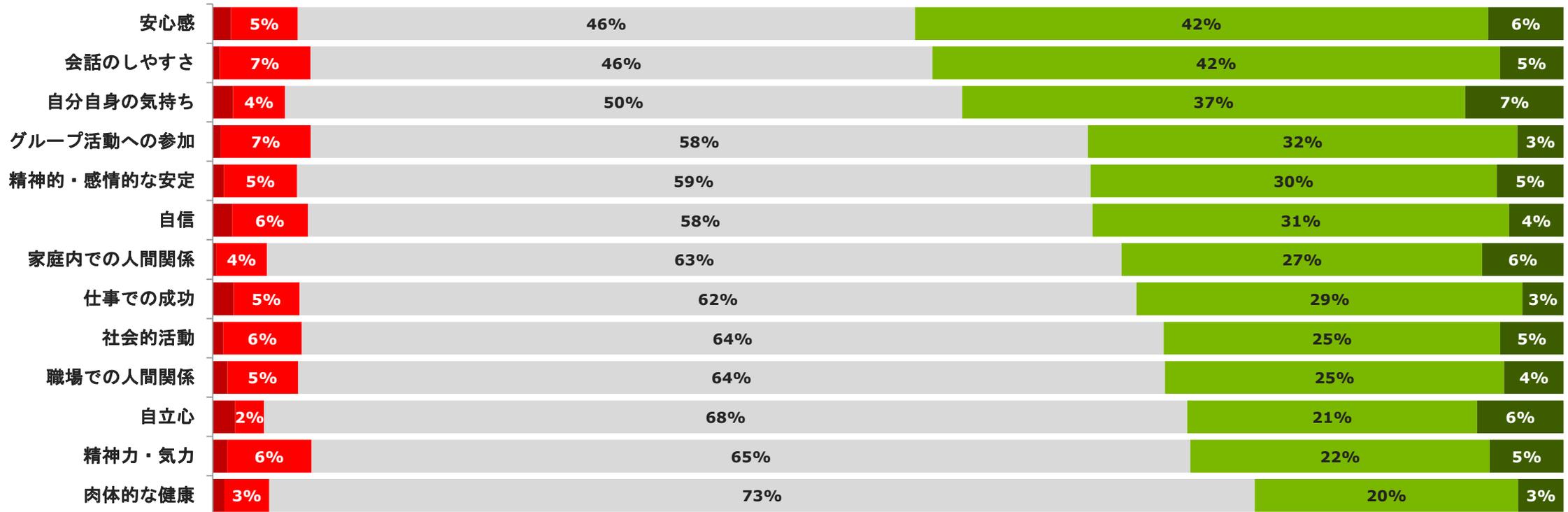
補聴器から得られる良い影響、安心・安全、生活の質（QOL）の向上





# 補聴器はさまざまな側面に対して大変良い影響を与えている。 特に、「安心感」「会話のしやすさ」「自分自身の気持ち」などに改善が見られる

あなたが補聴器を使い始めてから、補聴器のおかげで改善したと思う側面はどれですか？



■とても悪くなった ■悪くなった ■変わらない ■良くなった ■とても良くなった

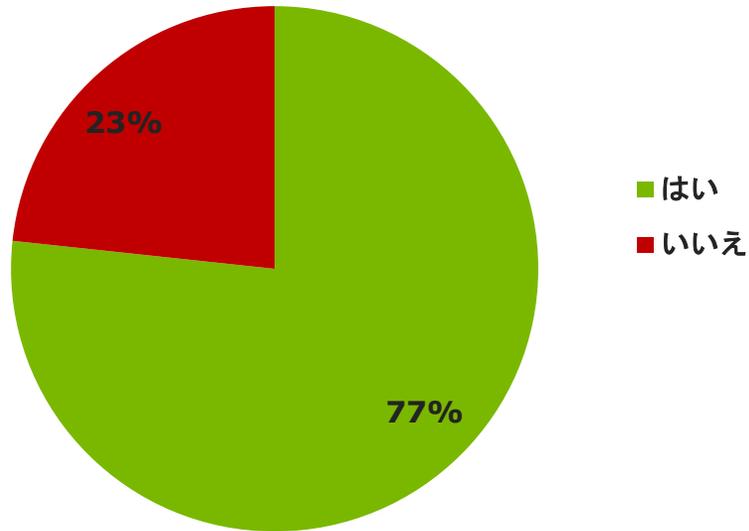
補聴器所有者 基数：430人





# 補聴器使用者の77%が、補聴器を使うようになってから街中を安心して歩けるようになった

あなたは補聴器を使用してから街に出かけることに自信を持つようになりましたか？  
例えば、信号機の音が聞こえたり、車が近づいてくるのが分かるようになったなど



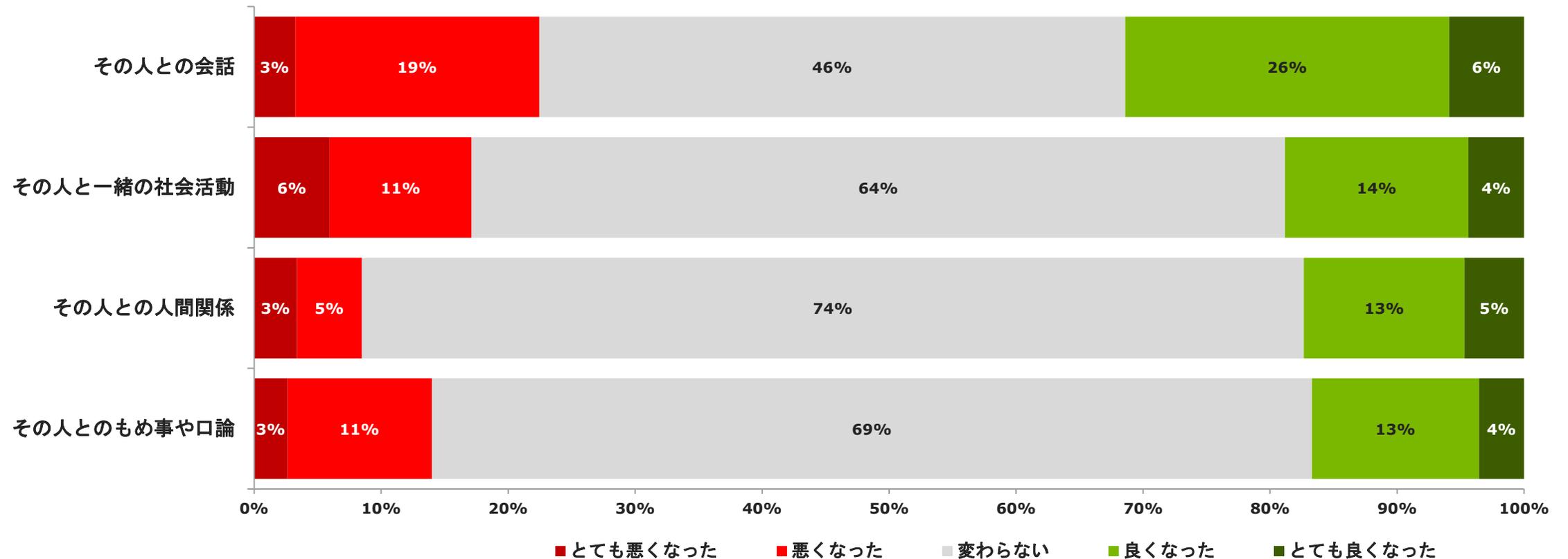
基数：430人





# 難聴の人が補聴器を使い始めたことで、家族や親類も助かっている

あなたの知っている方が補聴器を使い始めてから、以下の状況についてどう変わりましたか？

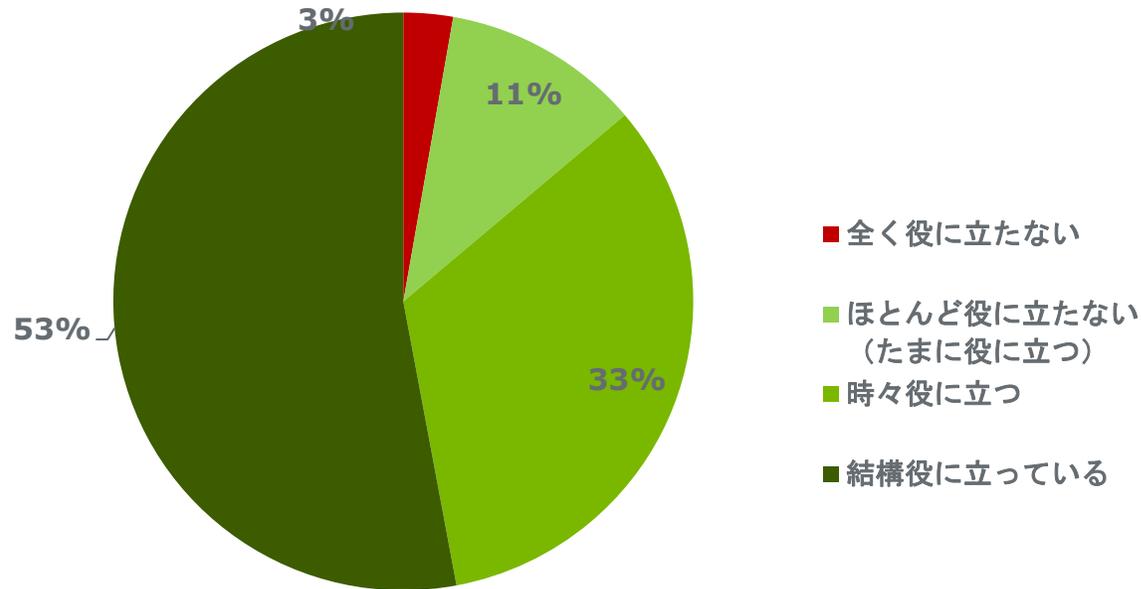


補聴器使用者の家族／親が補聴器を使用している場合など 基数：173人



# 補聴器所有者の97%が補聴器の使用により生活の質(QOL)が何がしか改善したと答えている

あなたの生活の質(QOL)の改善に補聴器はどの程度役に立っていますか？



基数：430人



---

## 4.補聴器非所有難聴者に関する分析





# 難聴度の高い上位50%の補聴器非所有者グループと補聴器所有者グループの個々の難聴の程度がほぼ同じなので、上位50%のグループから補聴器を使用しない理由を分析した

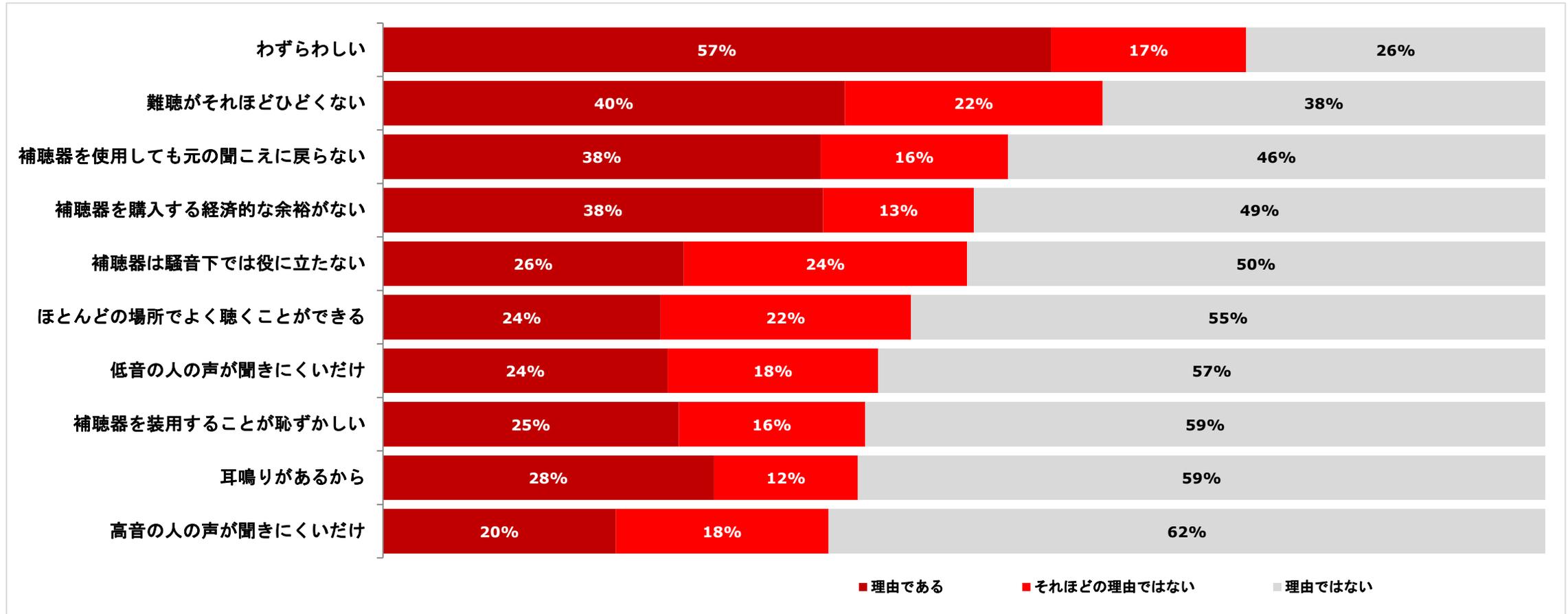
難聴の程度の特徴：補聴器所有者と補聴器非所有者の比較

	補聴器所有者 (基数：430人)	補聴器非所有者 難聴度の低い下位50%の難聴者 (基数：360人)	補聴器非所有者 難聴度の高い上位50%の難聴者 (基数：222人)
聴覚障害			
片耳難聴	28%	42%	30%
両耳難聴	72%	58%	70%
難聴程度		それぞれの難聴の程度が近似している	
軽度	27%	62%	22%
中等度	55%	36%	70%
高度	16%	2%	4%
重度	2%	0%	4%





# 補聴器を使わない理由のトップ10 (1/2)

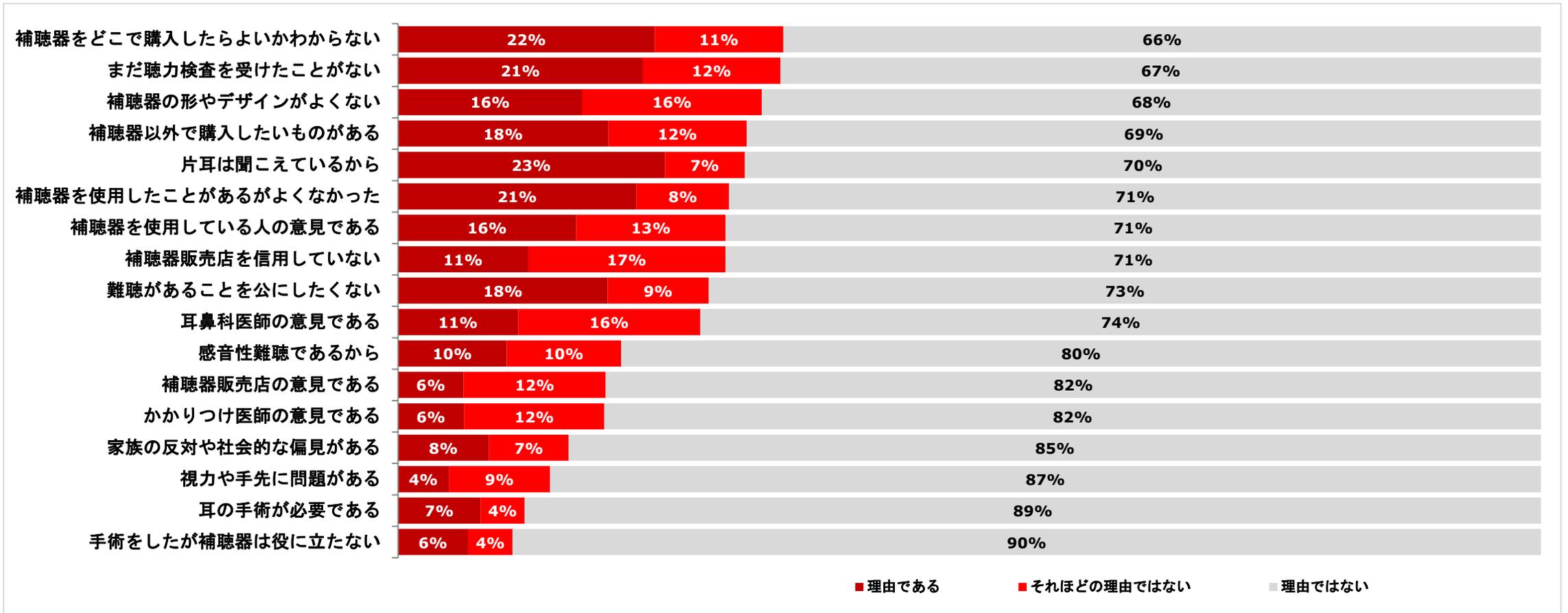


基数：難聴度の高い上位50%の補聴器非所有者=222人





# 補聴器を使わないトップ10以外の理由 (2/2)

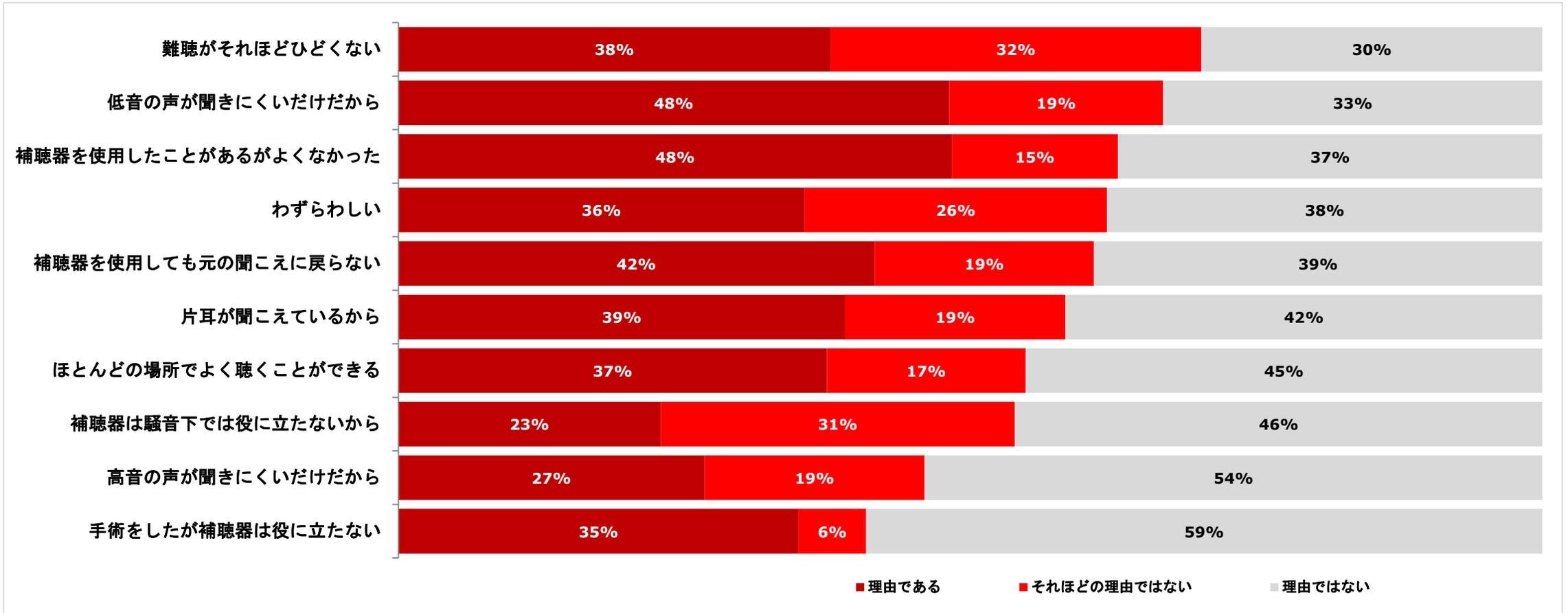


基数：難聴度の高い上位50%の補聴器非所有者=222人





# 補聴器を所有していても使わない理由のトップ10



補聴器を所有しているが使用していない：44人





---

## 補聴器の装用から見た難聴に対する社会の認識

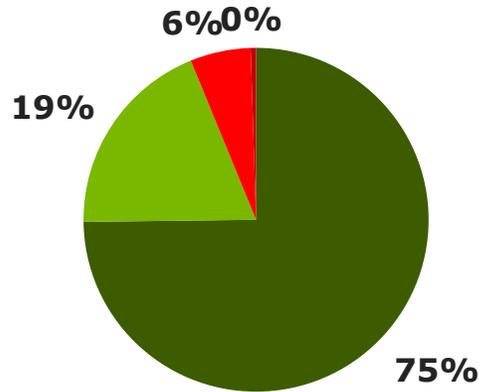




補聴器所有者の75%は補聴器を使用していることをからかわれたり、仲間はずれにされたことが無いと考えている。補聴器非所有者の方が難聴であることをからかわれたり、仲間はずれにされたと考える人が多い。

補聴器所有者:

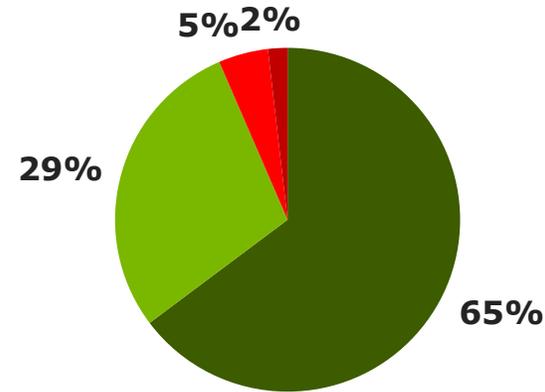
あなたは補聴器を使用していることをからかわれたり、仲間はずれにされたことがありますか？



基数: 430人

補聴器非所有者:

あなたは難聴者であることをからかわれたり、仲間はずれにされたことがありますか？



基数: 上位50%の補聴器非所有者=222人

- まったくない
- ほとんどない
- 時々ある
- 常にある





---

## 補聴器購入の意向と購入に至るきっかけ

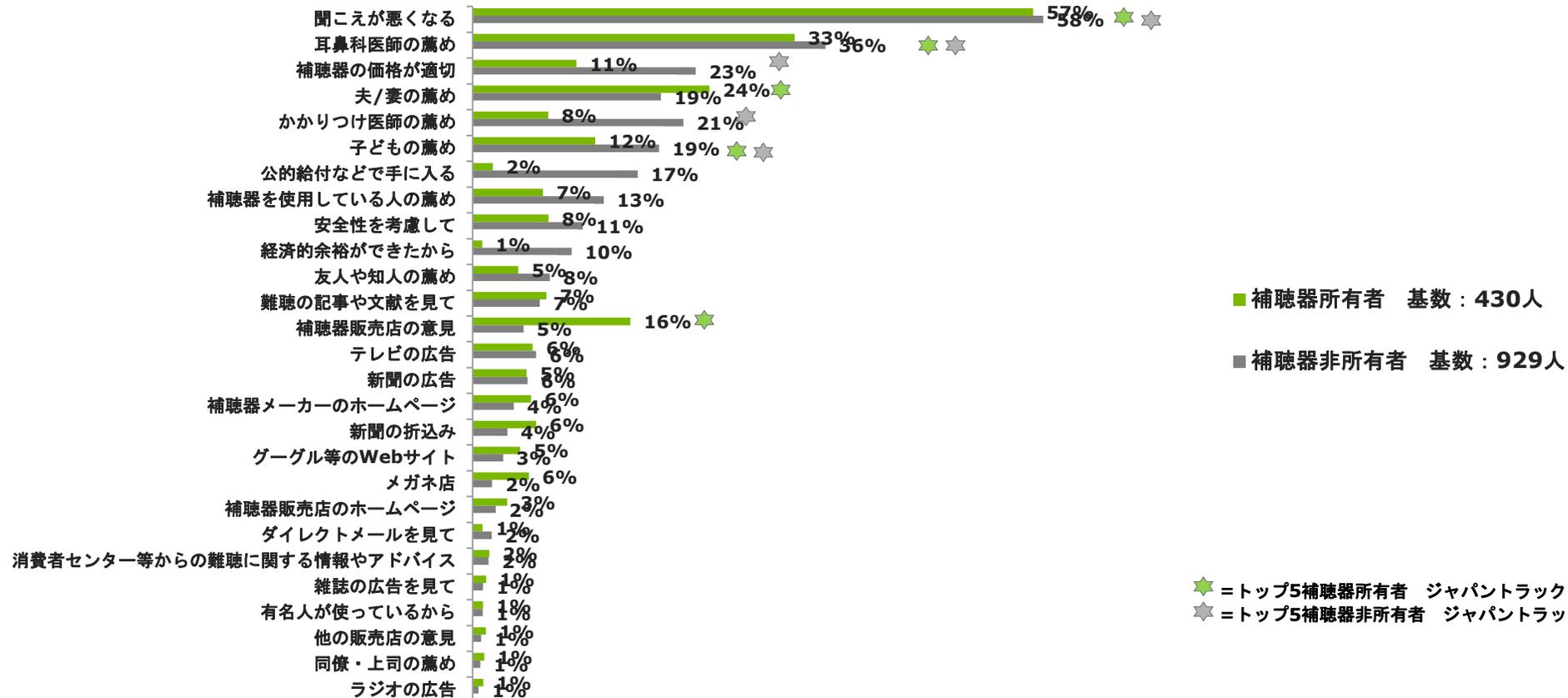




# 補聴器所有者・非所有者が補聴器の使用を考え始める強い動機は、聞こえが悪くなる、耳鼻科医師の薦め、大事な人からの薦め等(補聴器非所有者にとっては価格)

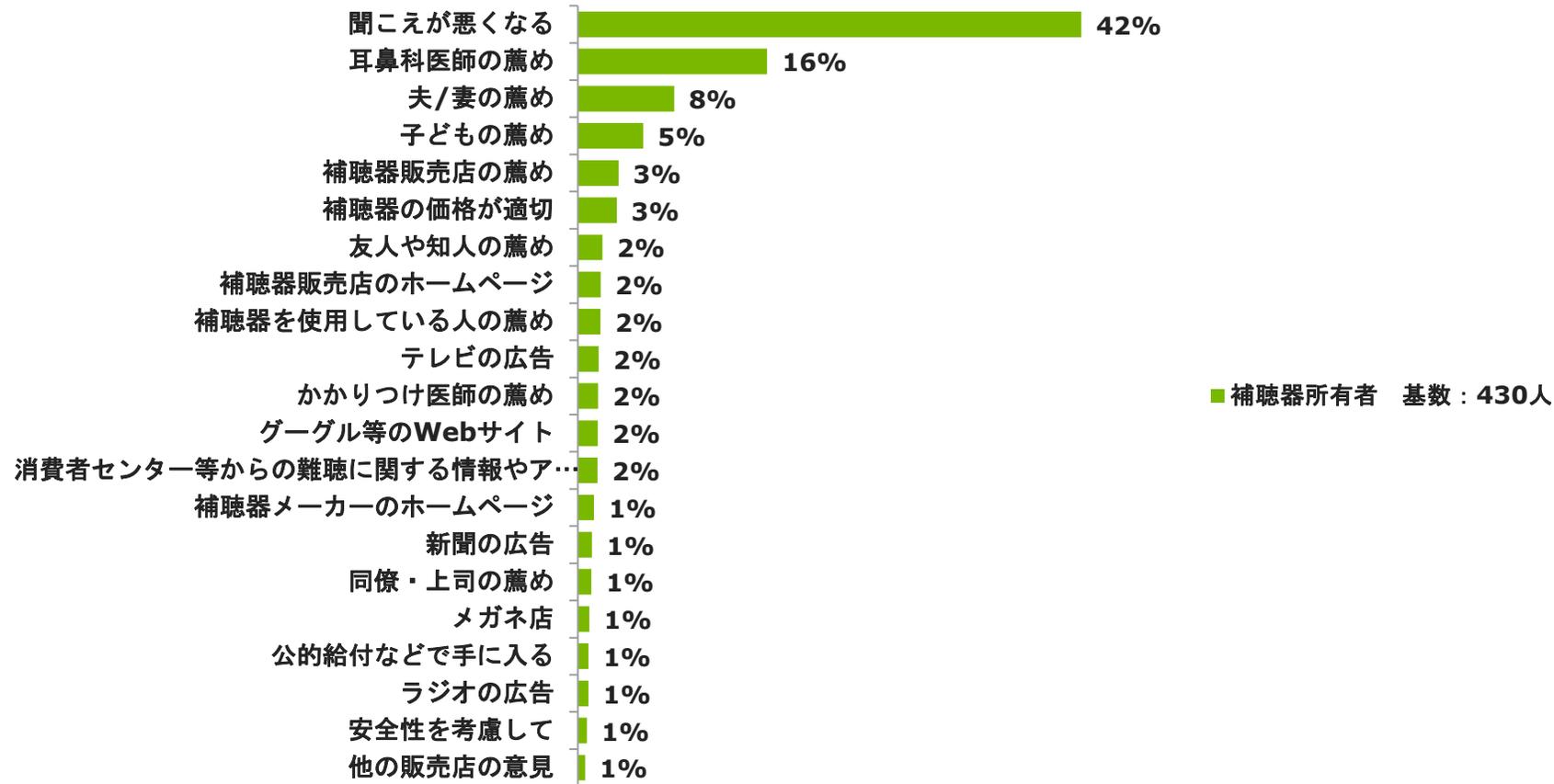
補聴器所有者：あなたが初めて補聴器を購入した時のことを思い出してください。購入の動機は何でしたか？

補聴器非所有者：補聴器を購入することを想像してください。その時の購入動機は何でしょうか？



# 補聴器を購入する最も強い動機は、聞こえがより悪くなること、耳鼻科医師の薦め、夫/妻の薦め

補聴器購入を最終的に決断した動機は何ですか？  
以下の中から1つだけ選んでください。





**Stefan Ruf** lic. rer. pol.

Anovum GmbH  
Sumatrastrasse 25  
CH-8006 Zürich

Telefon +41 (0)44 576 76 77  
Mobil +41 (0)78 717 88 01  
Email stefan.ruf@anovum.com

[www.anovum.com](http://www.anovum.com)



**Dr. Stefan Zimmer** ▪ Secretary General  
**European Hearing Instrument Manufacturers Association**  
Herriotstrasse 1 ▪ 60528 Frankfurt am Main ▪ Germany  
sz@ehima.com ▪ +49-69-664 26 34 10 ▪ [www.ehima.com](http://www.ehima.com)



**Peter Heil**

Anovum GmbH  
Sumatrastrasse 25  
CH-8006 Zürich

Telefon +41 (0)44 576 76 76  
Mobil +41 (0)79 757 57 46  
Email peter.heil@anovum.com

[www.anovum.com](http://www.anovum.com)





# 付属データ

---



# 人口動態 (1): 補聴器使用率と人口

		総数	聴取困難	補聴器使用者% (基数=聴覚障がい者)	健聴者	難聴であるが補聴器 は所有していない	補聴器所有者
性別	男	6,834	9.7%	12.3%	48.8%	48.6%	38.0%
	女	7,229	10.3%	17.8%	51.2%	51.4%	62.0%
年齢	1歳 - 14歳	1,751	0.6%	16.4%	13.8%	0.7%	0.8%
	15歳 - 24歳	1,312	1.8%	4.5%	10.2%	1.9%	0.5%
	25歳 - 34歳	1,417	2.0%	18.2%	11.0%	1.9%	2.4%
	35歳 - 44歳	1,719	2.6%	14.0%	13.2%	3.2%	2.9%
	45歳 - 54歳	2,066	5.5%	7.6%	15.4%	8.9%	4.1%
	55歳 - 64歳	1,717	8.9%	6.0%	12.4%	12.1%	4.3%
	65歳 - 74歳	1,917	14.9%	8.5%	12.9%	21.9%	11.4%
	74歳以上	2,163	34.4%	21.1%	11.2%	49.3%	73.6%
家族構成	一人で暮らしている	1,344	13.1%	19.9%	9.2%	11.9%	16.5%
	夫婦のみで暮らしている	2,972	13.6%	15.3%	20.3%	28.8%	28.9%
	夫婦と子どもで暮らしている	5,123	4.9%	9.2%	38.5%	19.0%	10.7%
	母親または父親と子どもで暮らしている	2,569	11.0%	17.1%	18.0%	19.7%	22.7%
	夫婦と子どもおよび/または孫と暮らしている	309	14.6%	18.3%	2.1%	3.1%	3.9%
	祖父または祖母と子どもおよび/または孫と暮らしている	256	12.0%	19.3%	1.8%	2.1%	2.8%
	老人ホーム、介護施設、病院で暮らしている	178	42.7%	18.5%	0.8%	5.2%	6.6%
	その他	1,312	10.6%	12.1%	9.3%	10.3%	7.9%

\* カテゴリーの中にはサンプル件数が少ないものがある

## 人口動態 (2) : 補聴器使用率と人口

		総数	聴取困難	補聴器使用者% (基数:聴覚障がい者)	健聴者	難聴であるが補聴器 は所有していない	補聴器所有者
<b>身分</b>							
	世帯主	5,511	15.1%	14.9%	37.0%	59.4%	58.1%
	世帯主の配偶者	3,391	9.3%	13.9%	24.3%	22.7%	20.4%
	世帯主の子供	4,120	1.2%	12.2%	32.1%	3.7%	2.8%
	世帯主の親	604	28.8%	19.0%	3.4%	11.8%	15.5%
	その他	437	7.8%	19.3%	3.2%	2.3%	3.1%
<b>仕事</b>							
	常勤者	4,580	5.6%	6.6%	39.9%	20.2%	8.0%
	パートタイマー	1,859	6.8%	12.1%	16.0%	9.4%	7.2%
	無職	2,291	11.4%	20.4%	18.7%	17.6%	25.3%
	年金受給者	2,033	28.3%	17.9%	13.5%	39.9%	48.5%
	早期退職者	72	20.6%	20.0%	0.5%	1.0%	1.4%
	定年退職者	579	25.2%	13.2%	4.0%	10.7%	9.1%
	学生	821	1.7%	7.7%	7.4%	1.1%	0.5%
<b>最終学歴</b>							
	中学校卒業	967	21.8%	17.2%	7.0%	14.7%	17.1%
	高等学校卒業	4,030	13.0%	13.5%	32.3%	38.4%	33.6%
	専門学校卒業	1,103	7.8%	16.9%	9.4%	6.0%	6.9%
	短期大学卒業	930	9.6%	24.9%	7.8%	5.7%	10.5%
	大学卒業	3,800	9.0%	13.7%	31.9%	25.1%	22.3%
	大学院卒業	363	7.7%	5.5%	3.1%	2.3%	0.7%
	その他	176	22.0%	26.5%	1.3%	2.4%	4.8%
	回答を希望しない	866	8.4%	11.8%	7.3%	5.4%	4.1%

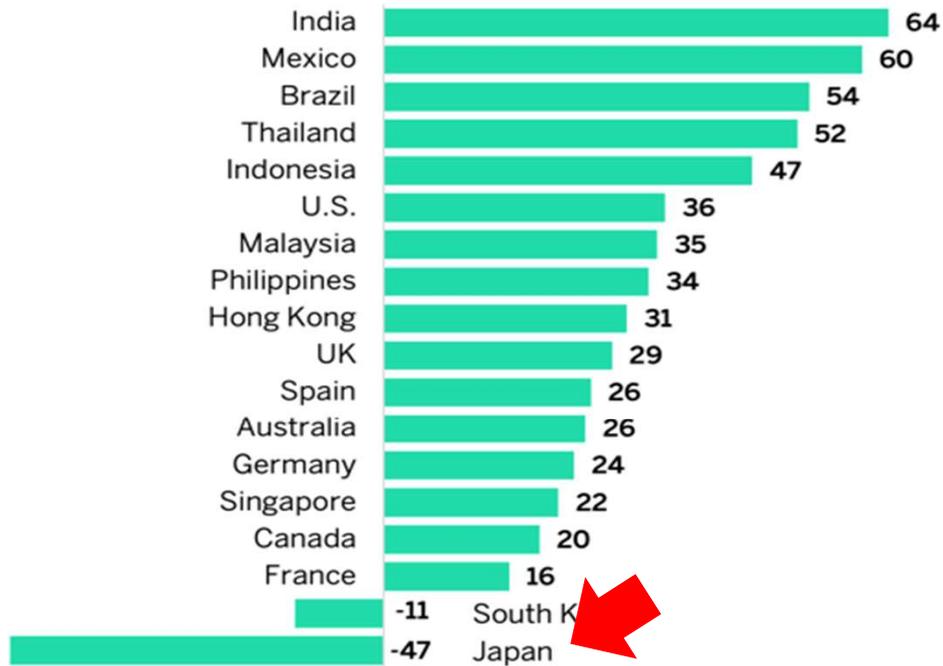
# サンプル数と無作為に抽出したサンプル数との誤差は経験則に従っている

読み取り方法：サンプル件数が500人でその件数が15%の比重を占める場合、間隔差は15%の±3.1の値が実数値と考えられる。つまり、控えめな推定値（95%の信頼レベル）としては11.9%と18.1%となる。

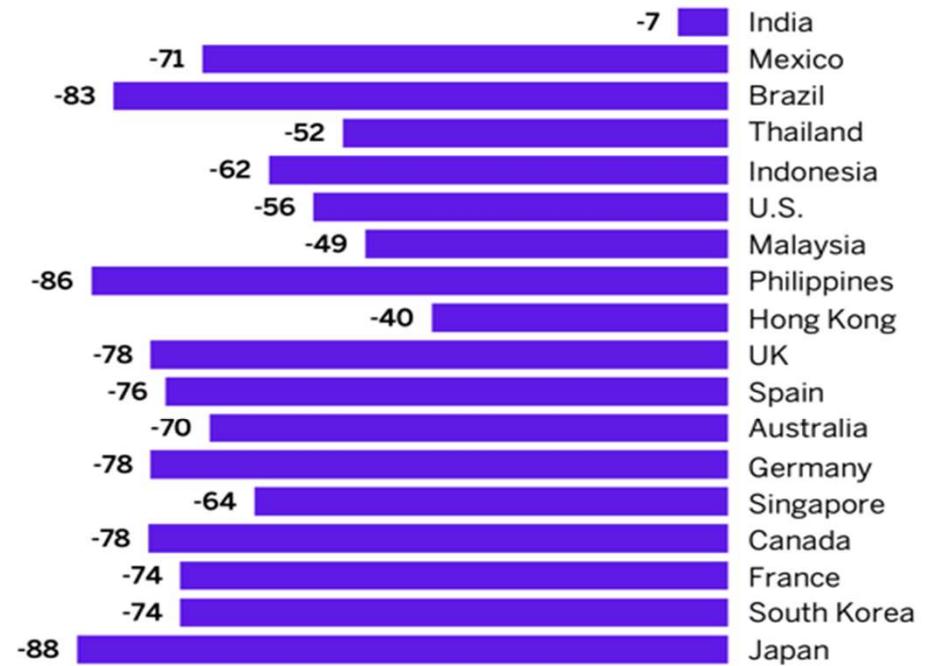
サンプル数	無作為サンプル数誤差	
	実数の間隔差	
	比率レベル: 50%/50%	比率レベル: 15%/85%
50	+ - 13.9	+ - 9.9
100	+ - 9.8	+ - 7.0
250	+ - 6.2	+ - 4.4
500	+ - 4.4	+ - 3.1
1,000	+ - 3.1	+ - 2.2
5,000	+ - 1.4	+ - 1.0
10,000	+ - 1.0	+ - 0.7

# Net Promoter® Score (NPS) Across Countries

NPS when consumers **like** a company



NPS when consumers **dislike** a company

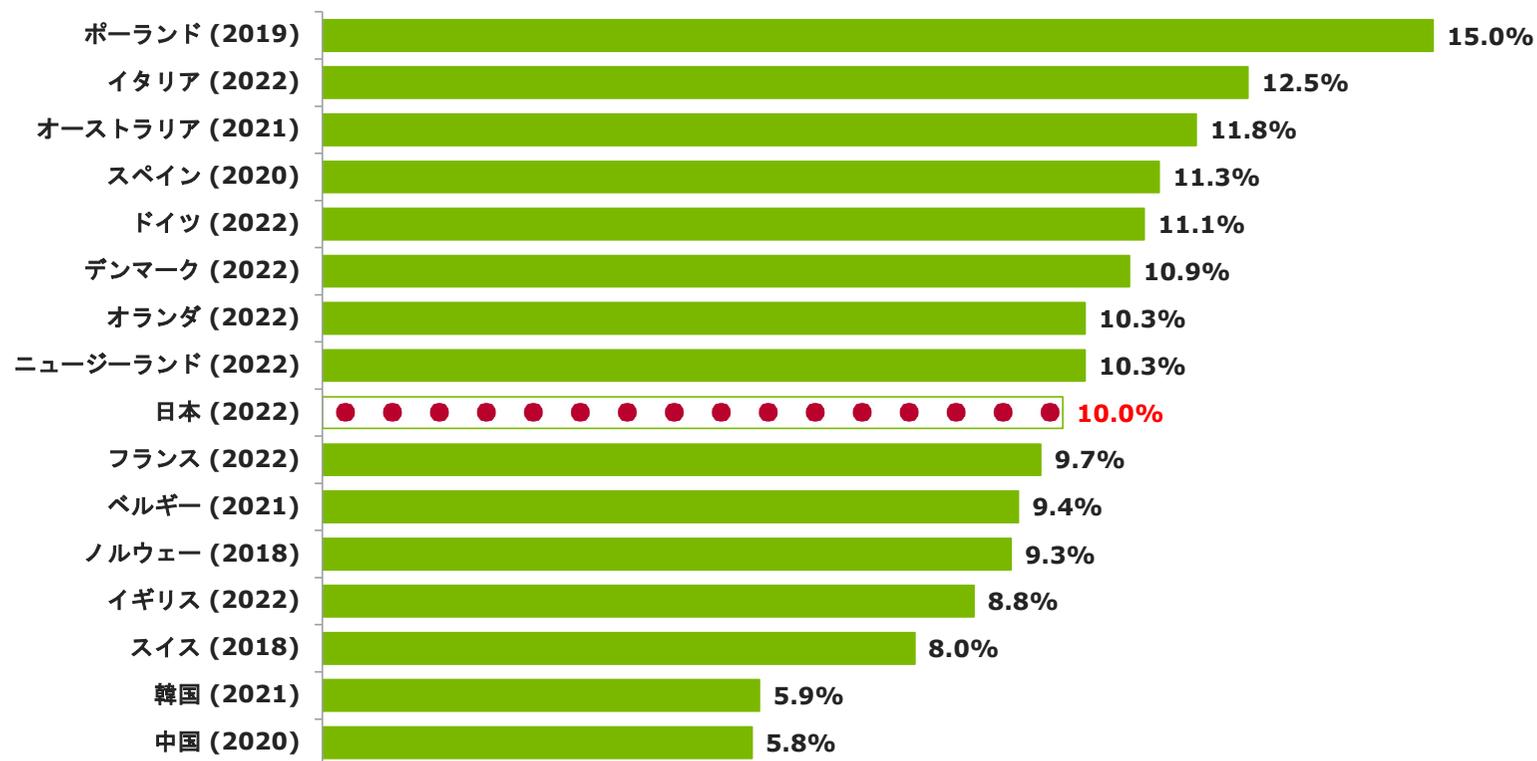


Base: 17,509 consumers from 18 countries  
 Source: Qualtrics XM Institute Q1 2021 Global Consumer Study

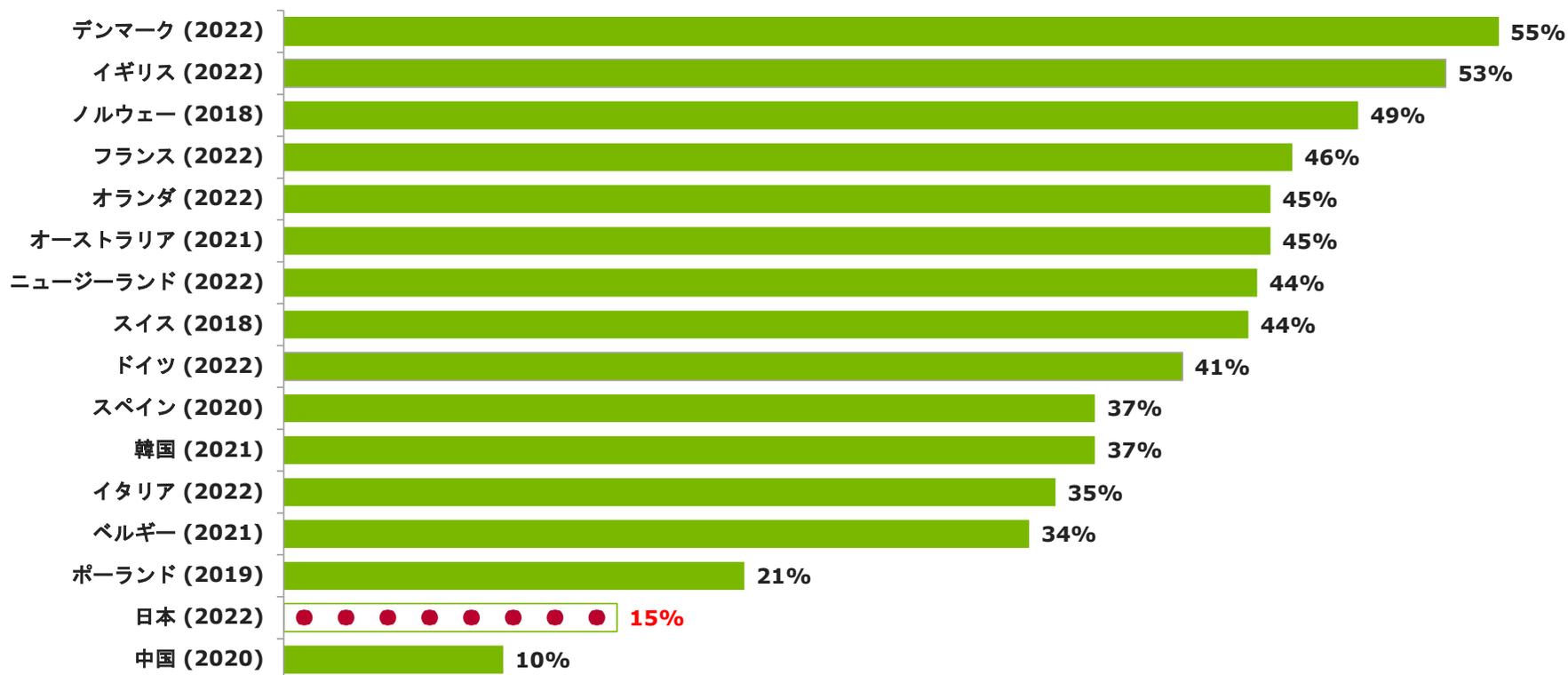
Note: Net Promoter, Net Promoter Score, and NPS are registered trademarks of Bain & Company, Inc., Fred Reichheld, and Satmetrix Systems, Inc.



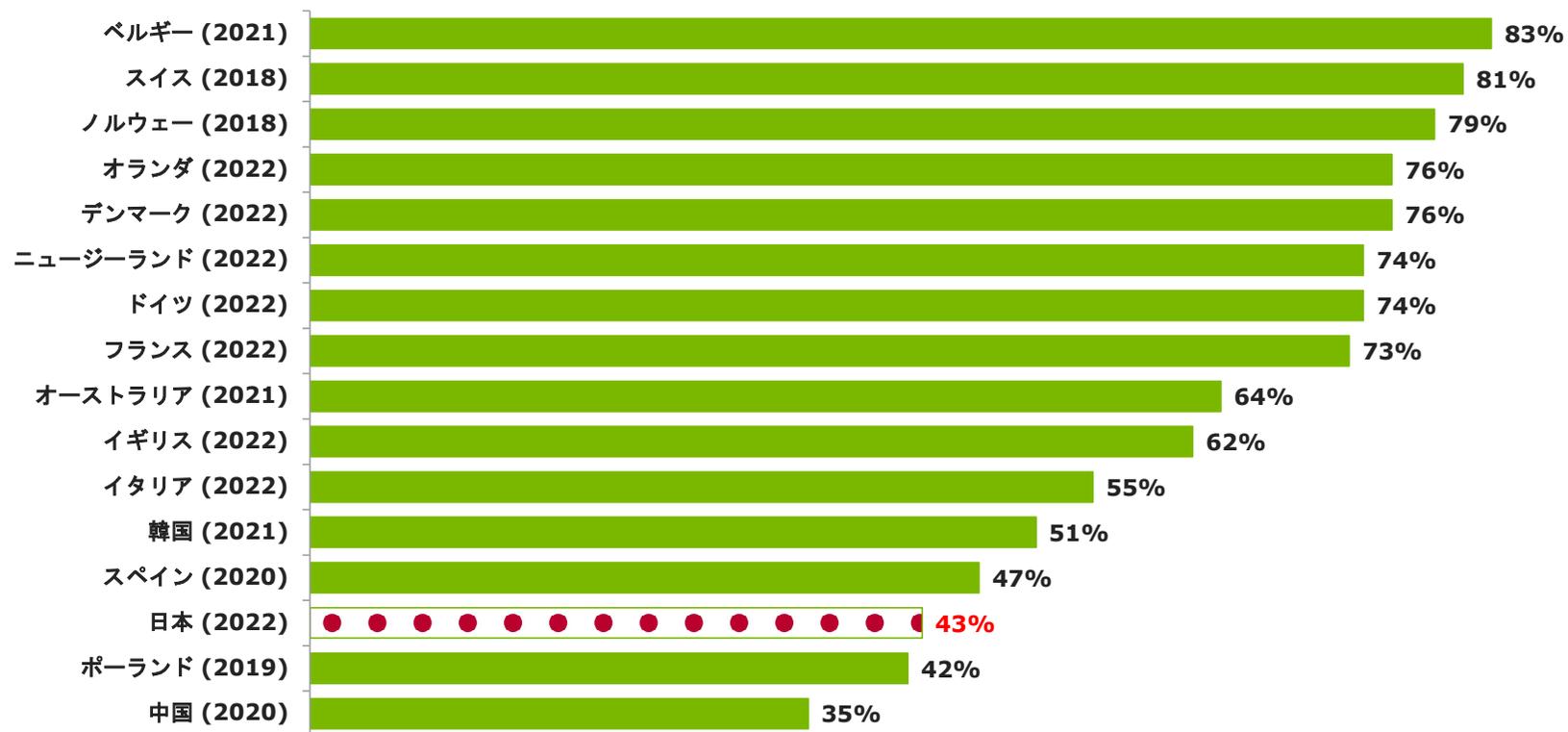
## 各国の難聴者率比較



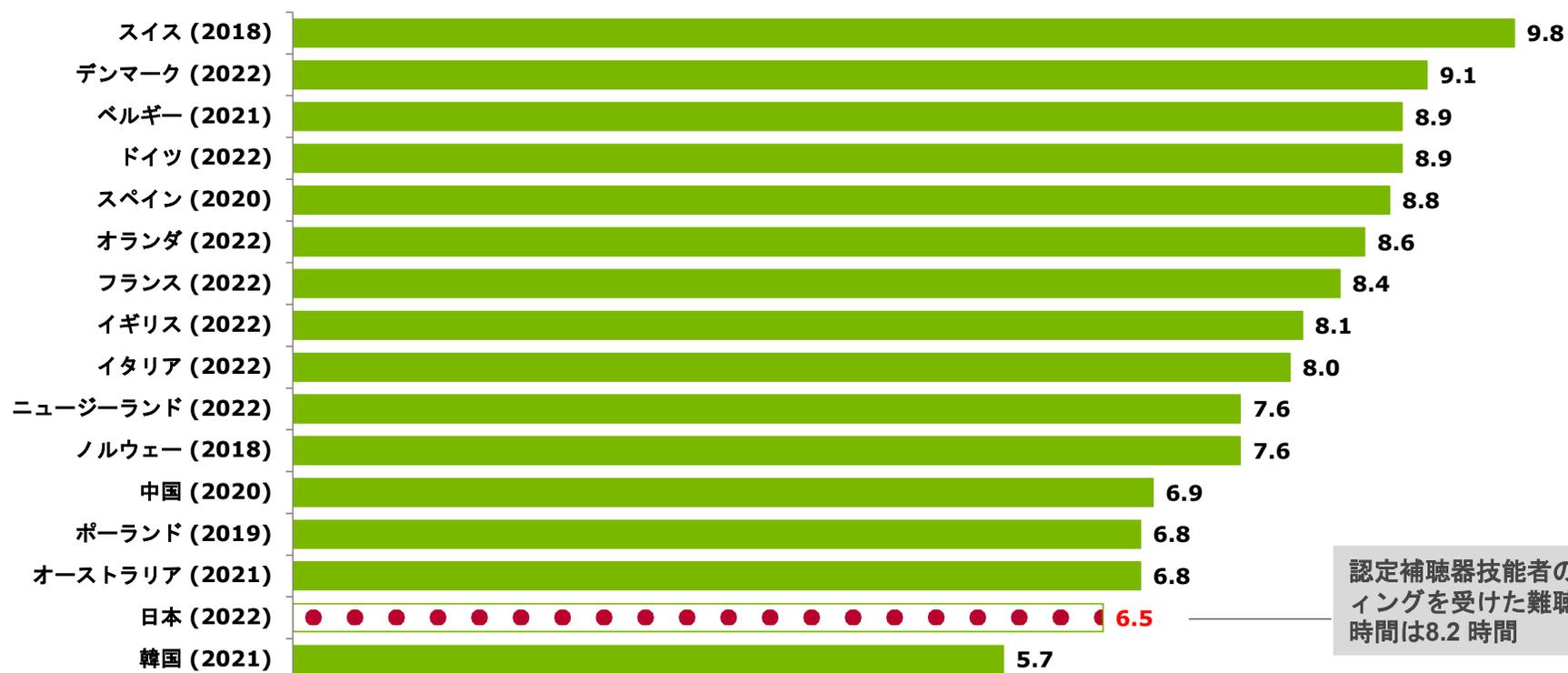
## 各国の補聴器普及率比較（自己申告）



## 各国の両耳装用率比較



## 各国の補聴器装用時間比較（1日の平均時間）



## 各国の補聴器満足度比較

